

2020年度

新入社員

意識調査報告書

一般社団法人 日本能率協会

2020 年度 新入社員意識調査 報告書

目 次 CONTENTS

| | |
|--|----|
| 1. 調査結果のポイント | 1 |
| 2. 調査の目的と方法 | 7 |
| 3. 調査対象者 | 8 |
| 4. 調査結果 | 11 |
| 4. 1 就職活動から入社するまでの意識 | 11 |
| (1) 会社を選ぶ際の情報収集先 | 11 |
| (2) 会社を選ぶ際に信頼していた情報 | 11 |
| (3) 就職活動でアピールした自分の強み | 14 |
| (4) 会社を選ぶ決め手 | 16 |
| 4. 2 仕事・働くことへの考え | 17 |
| (1) 働き方について | 17 |
| (2) 働きたい職場について | 22 |
| (3) コミュニケーションの取り方について | 27 |
| (4) 働く目的 | 30 |
| (6) 働く時の服装について | 32 |
| (5) 働いている会社が社会に役立っているかの重要度 | 33 |
| (7) リモートワークについて | 34 |
| 4. 3 社会人としての生活について | 35 |
| (1) 仕事をしていく上での不安 | 35 |
| (2) 仕事をしていく上で強化したい能力・スキル・資質 | 37 |
| (3) 理想的だと思う上司・先輩 | 40 |
| 4. 4 キャリア形成や将来について | 42 |
| (1) 将来のキャリアのイメージの有無 | 42 |
| (2) 仕事に必要な能力やスキルを身につけるうえでの責任の所在 | 43 |
| (3) 抵抗なくできる事柄について | 44 |
| (4) AIをはじめとするデジタル技術の進化が職業人生にどのような影響を与えるか | 52 |
| (5) 就業した会社が 30 年先も存続しているか | 53 |
| (6) 転職を考えるシチュエーション | 54 |
| (7) 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字 1 文字で表すとしたら何か | 63 |

X. 調査票

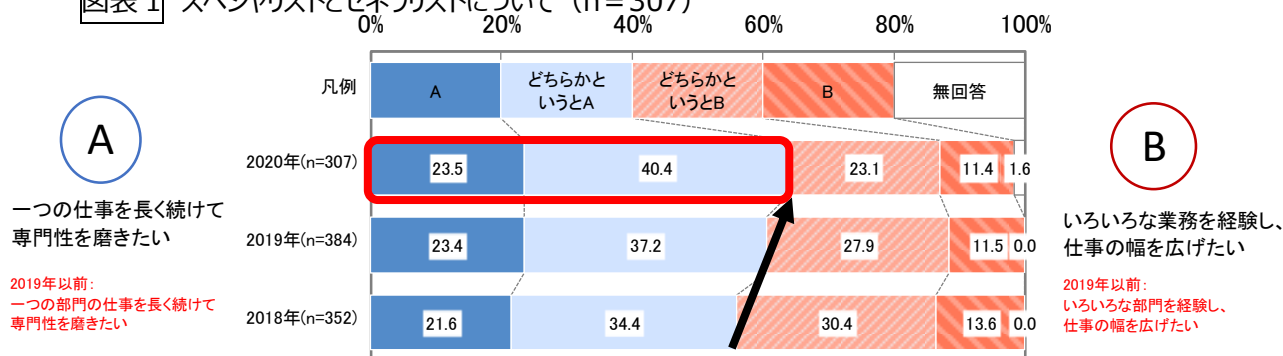
1. 調査結果のポイント

1.1. スペシャリスト志向が6割超と昨年より増加。

「実力・成果主義」志向が高まって、この10年で過去最高に。

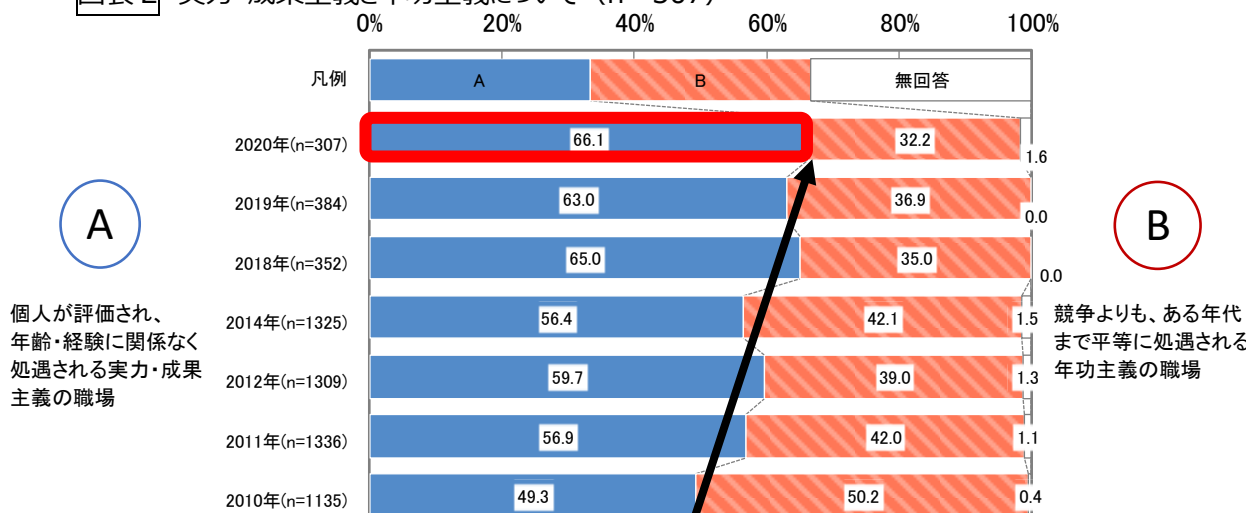
- 働き方について、「A：一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい」、「B：いろいろな業務を経験し、仕事の幅を広げたい」か、を聞いたところ、「A」のスペシャリスト志向が63.9%（「A」「どちらかというA」を合算）となり、昨年よりも増加しました。（図表1）

図表1 スペシャリストとゼネラリストについて (n=307)



- 働きたい職場について、「A：個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場」か、「B：競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場」のどちらで働きたいかを聞いたところ、「A」の実力・成果主義志向が66.1%（「A」「どちらかというA」の合算）となり、この10年で過去最高の結果となりました。（図表2）

図表2 実力・成果主義と年功主義について (n=307)



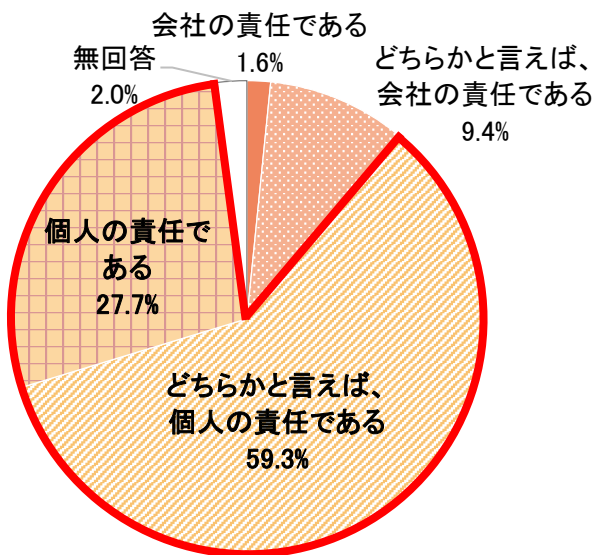
【解説コメント】

A I やデータサイエンス等、デジタル技術の進化などにより、より高度な能力・スキルが求められる時代になるなか、「ジョブ型雇用」を模索する議論が広がっています。加えて、新型コロナ感染拡大により、雇用情勢は不安定になっています。こうしたことが、新入社員のスペシャリスト志向、実力・成果主義志向にも一定程度の影響を及ぼしているものと考えられます。

**2. 仕事に必要な能力・スキルを身に付ける責任は「個人」にあるとの回答が
9割近くに。今の気持ちを表す漢字にも、「学」が昨年より増加し、第3位
にランクイン。**

- ・「仕事に必要な能力やスキルを身に付けること責任はだれにあるか」を聞いたところ、全体では、「個人の責任である」が87.0%（「個人の責任である」「どちらかと言えば、個人の責任である」を合算）となり、9割近くにのびりました。逆に、「会社の責任である」は11.0%（「会社の責任である」「どちらかと言えば、会社の責任である」を合算）となっています。（図表3）
- ・新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表してもらったところ、「学」が昨年より増加し、第3位にランクインしました。（図表4）

図表3 仕事に必要な能力やスキルを身に付けること責任はだれにあると思いますか。（1つだけ選択）（n=307）



図表4 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何ですか。漢字1文字をご記入ください。（n=307）※3人以上から回答があったものを抜粋

| 順位 ※()内は2019年度順位 | 漢字 | 件数 |
|----------------------|----|----|
| 1位 (1位) | 新 | 30 |
| 2位 (2位) | 挑 | 28 |
| 3位 (6位) | 学 | 18 |

【解説コメント】

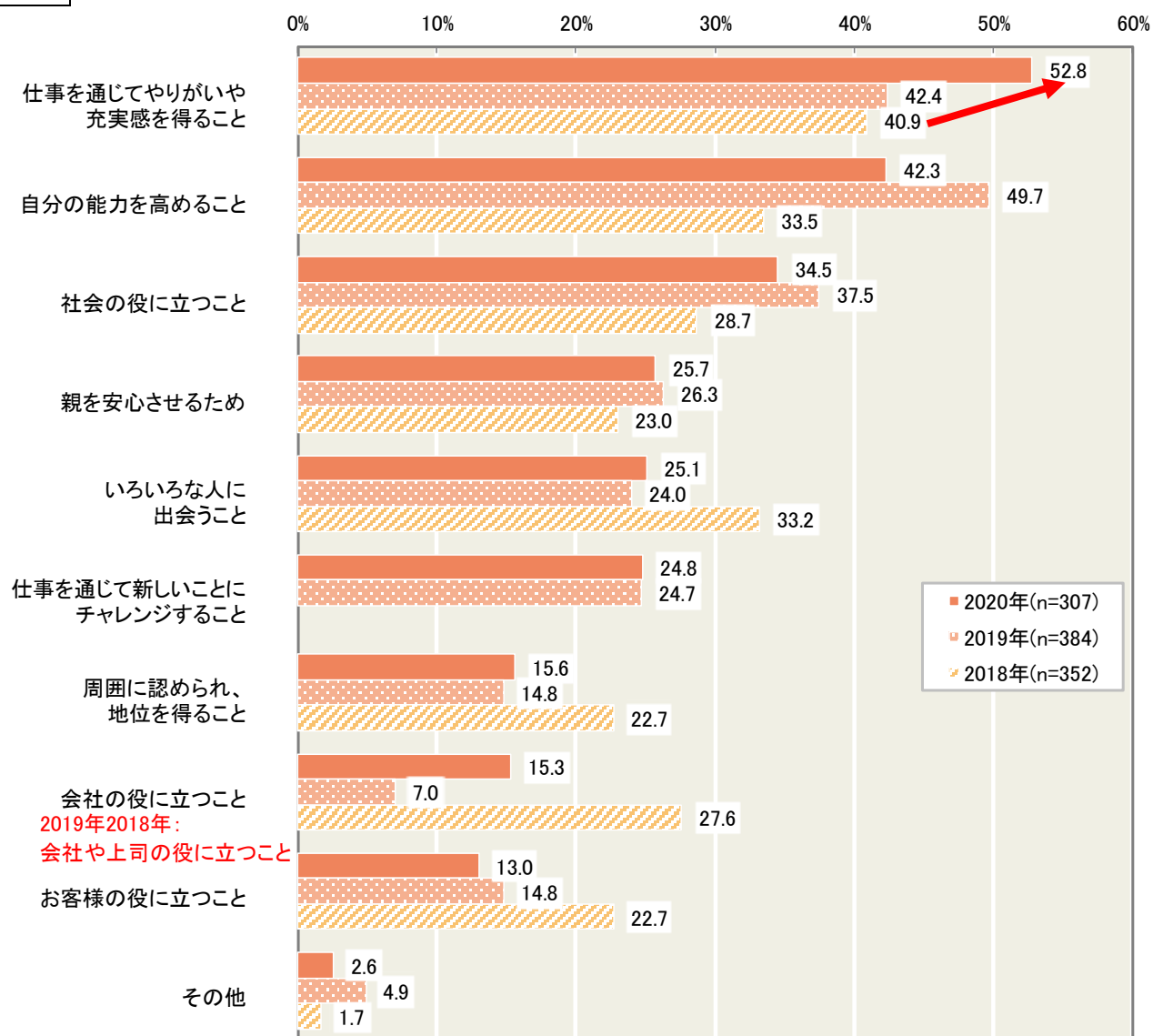
トピックス1で、スペシャリスト志向や実力・成果主義の高まりが見られたのと同様に、自分の責任で仕事に必要な能力・スキルを身に付けるのは、自分の責任と考える新入社員が9割近くに達しています。こうした新入社員の高い学習意欲に対して、しっかりと成長支援をしていくことが、職場におけるマネジメントにおいて重要になってきます。一方で、コロナ禍によってリモートワークが広がるなか、従来の現場でのOJTが難しくなっている状況もあります。日々のコミュニケーションを通じた新たな育成方法を工夫していくことが必要となります。

3. 働く目的：「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」がトップに。

やりがいを求める新入社員が半数超え

- ・自身の働く目的について聞いたところ、「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」（52.8%）がトップとなり、約半数が選ぶ結果になりました。過去3年で比べると元々増加傾向にはありましたが、昨年比で10.4ポイントも上昇しました。また、第2位には「自分の能力を高めること」（42.3%）、第3位には「社会の役に立つこと」（34.5%）が挙げられています。（図表5）

図表5 あなた自身の働く目的は何ですか。お金を得ること以外でお答えください。（3つまで選択）（n=307）



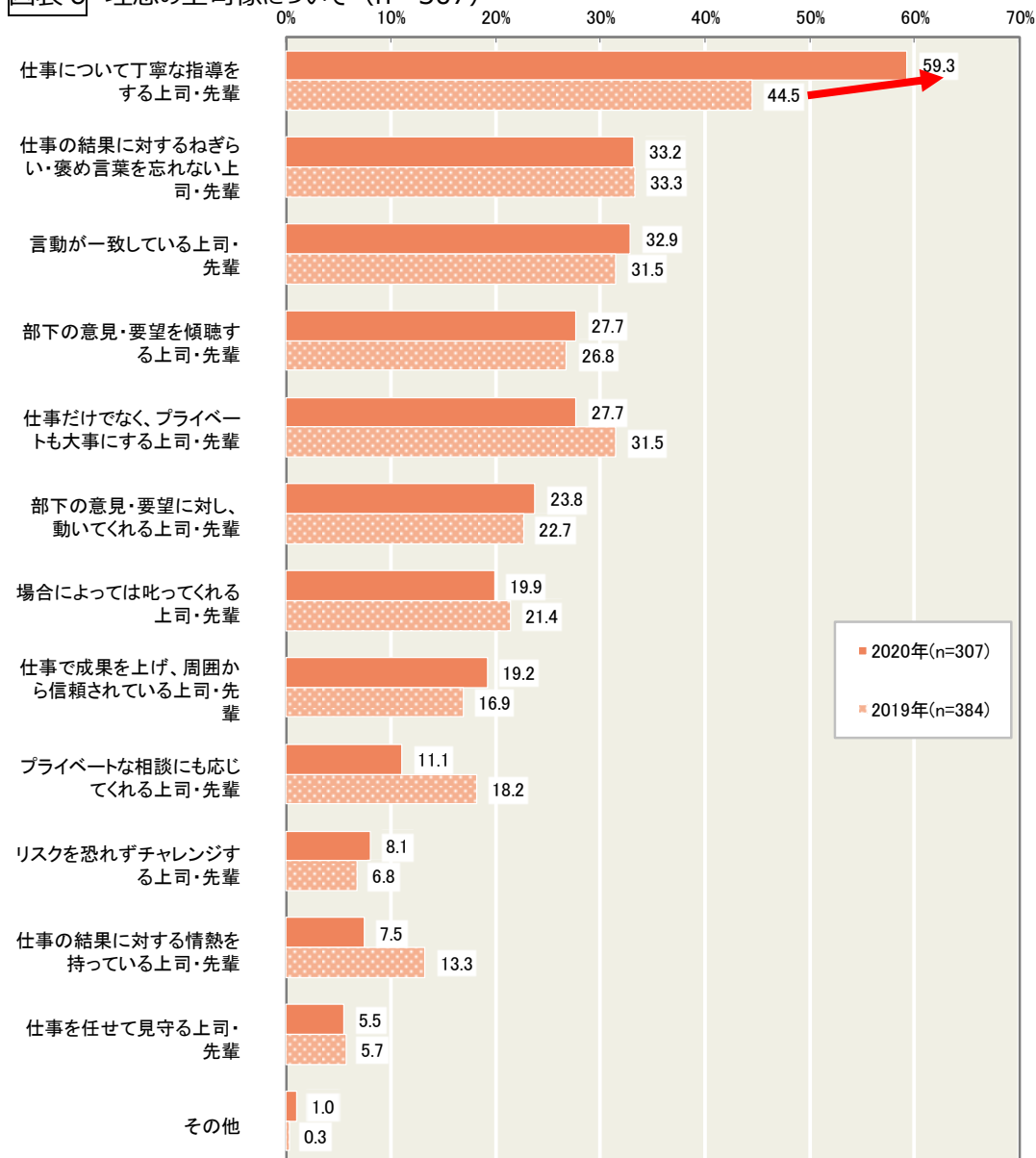
【解説コメント】

「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」を働く目的とする新入社員が半数を超えました。また、「社会の役に立つこと」が第3位に挙げられています。新入社員が定着していくためにも、自社の経営理念や社会的使命を伝えるとともに、担当業務がそうしたこととどう結びついているのか意味付けをし、理解を深めていくことが重要になります。

4. 理想の上司：「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」が6割に。

- ・「理想の上司・先輩像」を聞いたところ、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」（59.3%）、「仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩」（33.2%）、「言動が一致している上司・先輩」（32.9%）の順になりました。上位3つの項目・順番に昨年と違いはないものの、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」が6割近くを占め、昨年より14.8ポイントもあがっています。（図表6）

図表6 理想の上司像について (n=307)



【解説コメント】

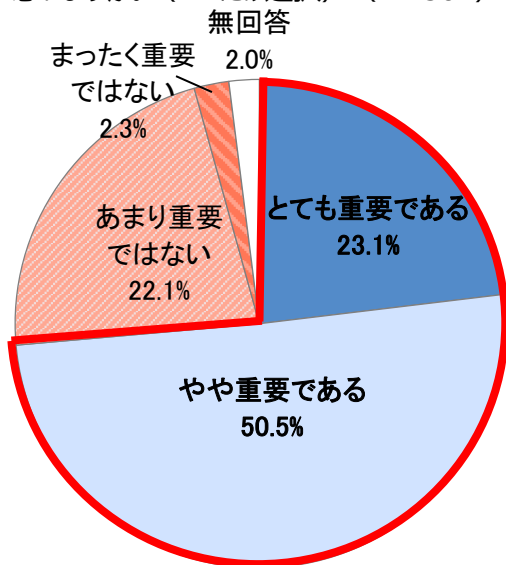
新型コロナウイルスの影響で、今年は入社式を中止、オンラインにするといった対応をとった企業もありました。新入社員にとって、着実に仕事に必要な能力やスキルを身に付けていくうえで、例年とは違って、上司・先輩と接する機会が少なくなるのではないかと戸惑いや不安から、丁寧に指導・フォローして欲しいという思いが強くなったのではないかと推察されます。

5. リモートワーク、カジュアルな服装といった職場環境を重視。

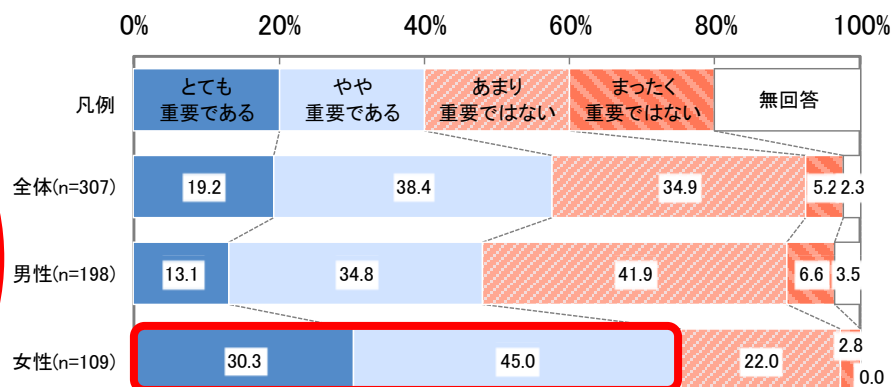
コミュニケーションの取り方に Z 世代の特徴が如実に。

- ・働くときの環境について、リモートな環境で働けることを重視しているのは、73.6%（「とても重要である」「やや重要である」を合算）でした。（図表 7）
- ・働くときの服装について、カジュアルな服装で働けることを重視しているのは、全体では、57.6%（「とても重要である」「やや重要である」を合算）でした。男女別で見たところ、男性は 47.9%、女性は 75.3%でした。（図表 8）
- ・コミュニケーションの取り方について聞いたところ、Z 世代の特徴が如実に表れました。コミュニケーションを取るときに言葉の選び方は、「どちらかというと相手に気を使って言葉を選ぶ」が最も多く、40.7%でした。人との関わりについては、「気心の知れた人と深く付き合う」が、全体で 74.3%（「A」、「どちらかというと A」を合算）を占めました。コミュニケーションの手段については、過半数が「メールやチャットツールなどを使って連絡する」と回答しました。（図表 9）

図表 7 あなたが働くときに、在宅勤務やシェアオフィスなどリモートな環境で働けることは重要だと思いますか。（1つだけ選択）（n=307）



図表 8 あなたが働くときの服装として、ビジネススーツではなく、カジュアルな服装で働けることは重要だと思いますか。（1つだけ選択）（n=307）



図表 9 コミュニケーションの取り方について（各項目 1つずつ選択）（n=307）

(1) コミュニケーションにおける言葉の選び方について

A) 本音を率直に言う

B) 相手に気を使って言葉を選ぶ

(2) 人との関わりについて

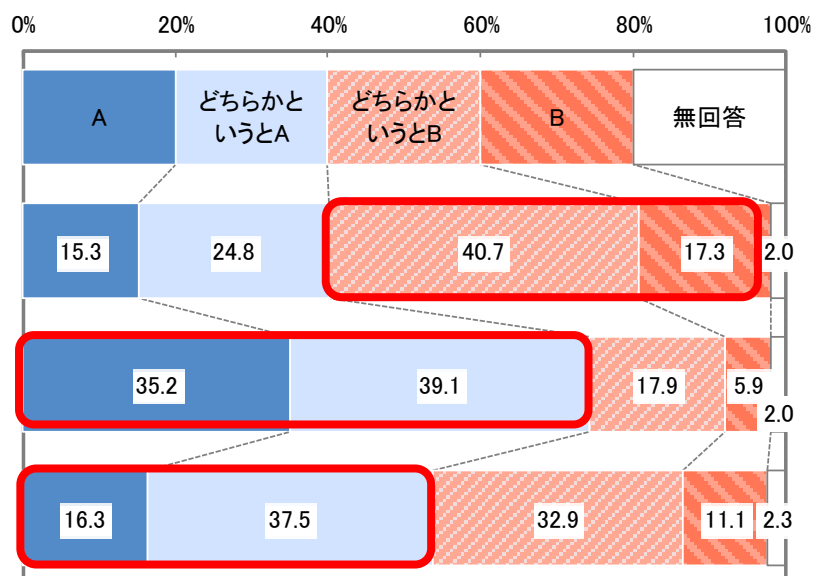
A) 気心の知れた人と深く付き合う

B) 広く様々な人と関わりをもつ

(3) コミュニケーションの手段について

A) メールやチャットツールなどを使って連絡する

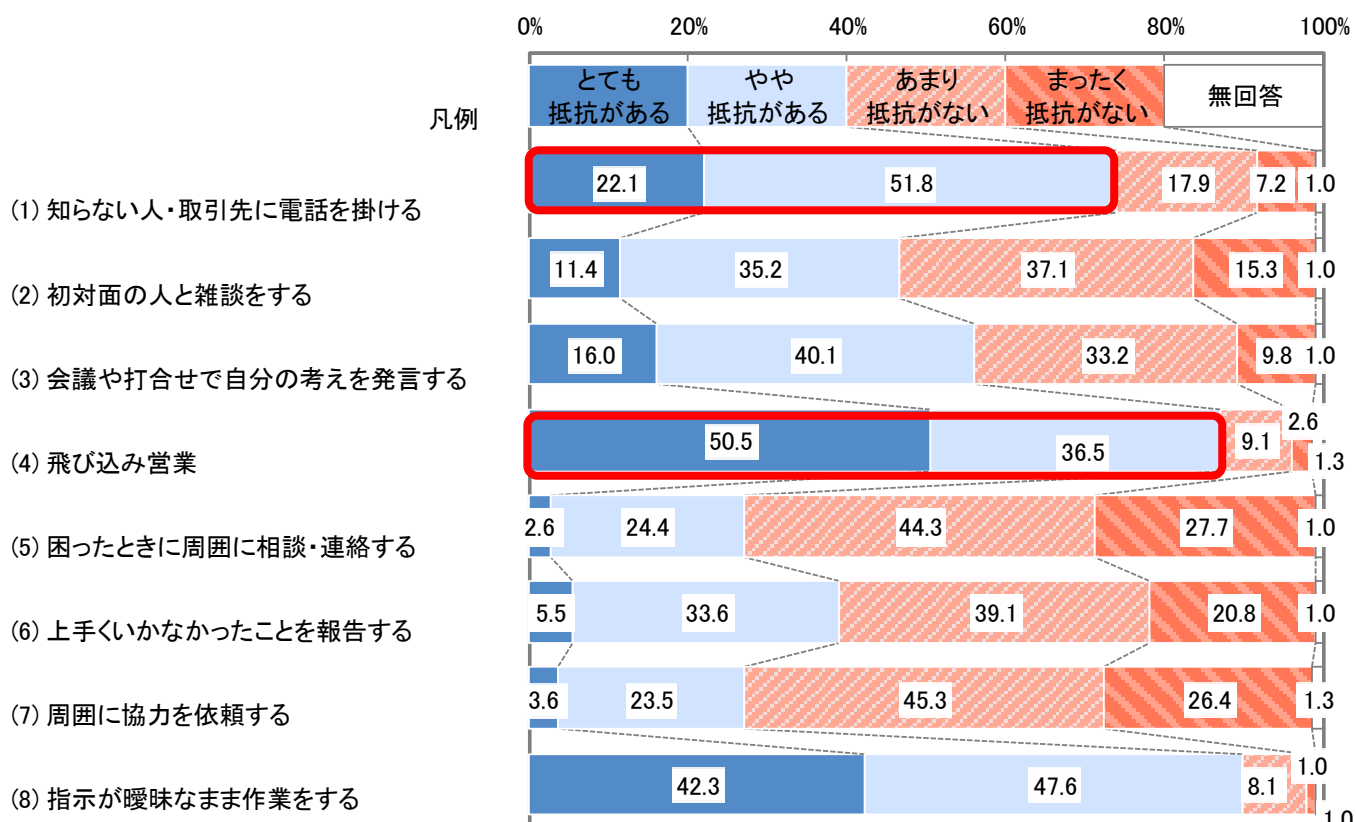
B) 電話や対面で直接話をする



- ・ 抵抗なく出来る事柄について、8項目を挙げて質問しました。その結果、「抵抗があること」に浮かび上がったのは、「指示が曖昧なまま作業をする」(89.9%)、「飛び込み営業」(87%)、「知らない人・取引先に電話を掛ける」(73.9%)の順でした。(図表 10)

「知らない人・取引先に電話を掛ける」ことは、コミュニケーションの手段で過半数が「メールやチャットツールなどを使って連絡する」(図表 9)と回答していることから、電話への不慣れさ、苦手意識が見受けられます。

図表 10 抵抗なく出来る事柄について (各項目 1 つずつ選択) (n=307)



【解説コメント】

働き方改革に加え、新型コロナウイルスの影響により、在宅勤務やシェアオフィスの利用など、リモートワークの導入が進んでいます。また、カジュアルな服装への志向も高まっていますが、女性へのハイヒールの強制を非難する「#KuToo」運動が巻き起こったのも記憶が新しいところです。こうしたニーズを受け止めていくことが、若い社員をひきつけていくうえで、ますます重要になってくるものと思われます。一方で、デジタルネイティブとも言われ、価値観やコミュニケーションスタイルも従来と異なる「ジェネレーション Z」と呼ばれる世代が職場に加わるようになり、上司・先輩の間に戸惑いが生じています。一方的に従来的な方法を押し付けるのではなく、多様な価値観を包摂していくという観点から対応していくことが求められています。

2. 調査の目的と方法

2.1 調査の目的

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、小会が提供する新入社員向け公開教育セミナーの参加者を対象に、仕事や働くことに対しどのような意識を持っているか調査を行いました。

本調査は1982年度から継続して実施しており、共通の質問項目については時系列比較を行っています。

2.2 調査の対象

日本能率協会が実施している新入社員向け公開教育セミナーの参加者

2.3 調査方法

紙+Web アンケート調査

2.4 調査期間

2020年4月2日～4月7日

2.5 調査票回収状況

| | 2020年度 | |
|-----|--------|--------|
| 男性 | 198人 | 64.5% |
| 女性 | 109人 | 35.5% |
| 無回答 | 0人 | 0.0% |
| 合計 | 307人 | 100.0% |

<参考>

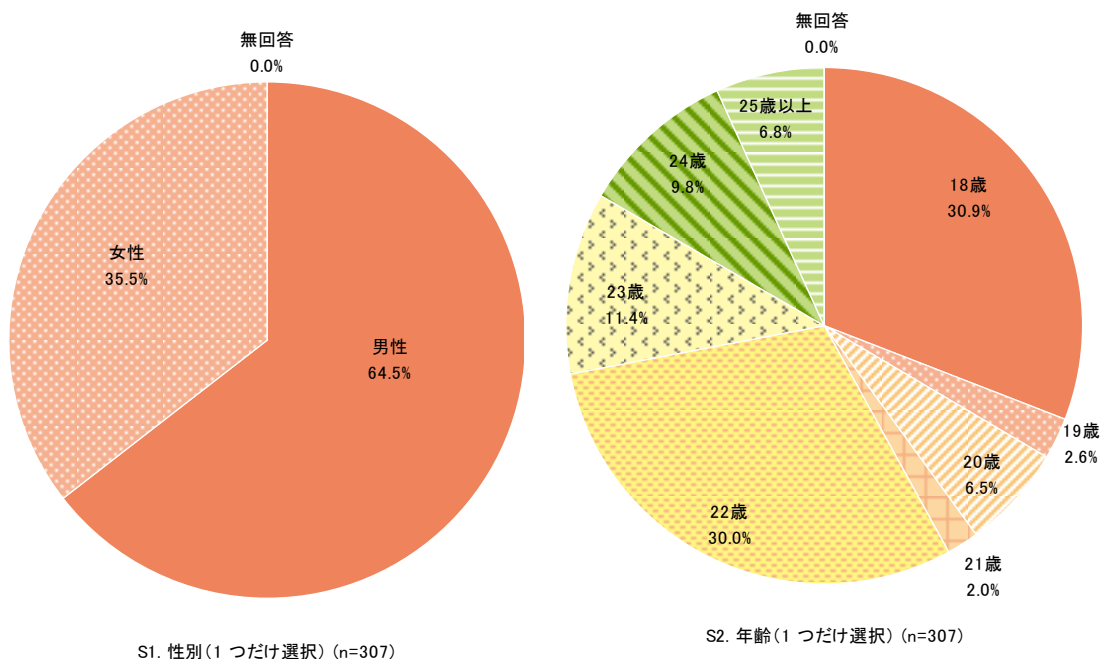
| | 2019年度 | | 2018年度 | |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 男性 | 260人 | 67.7% | 241人 | 68.5% |
| 女性 | 124人 | 32.3% | 111人 | 31.5% |
| 無回答 | 0人 | 0% | 0人 | 0.0% |
| 合計 | 384人 | 100.0% | 352人 | 100.0% |

2.6 調査項目

巻末の調査票を参照ください。

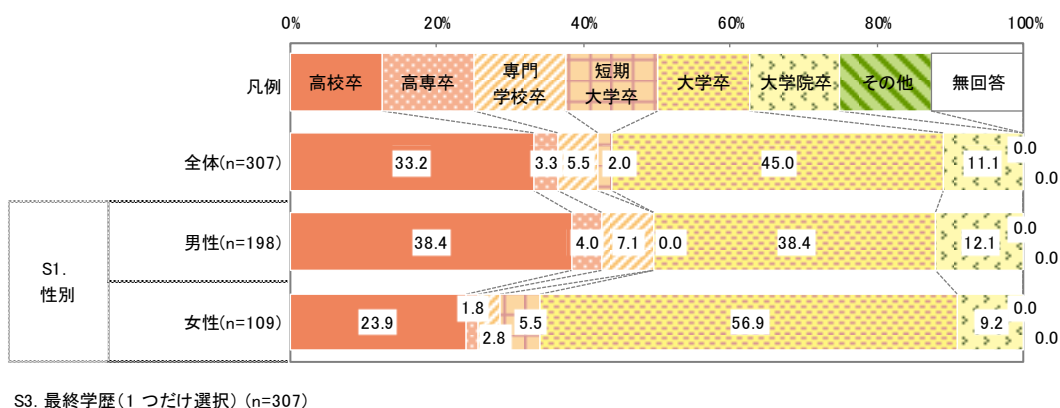
3. 調査対象者

※小数点第2位を四捨五入

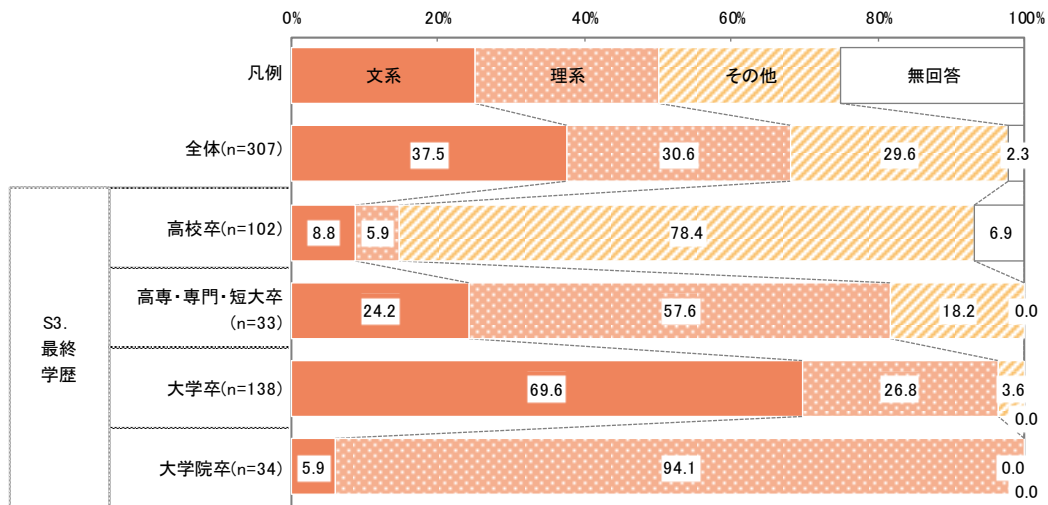


回答者の性別は、
男性 64.5%、女性 35.5%

年齢は、「18歳」が 30.9%と最も高く、
「22歳」が 30.0%と続く。

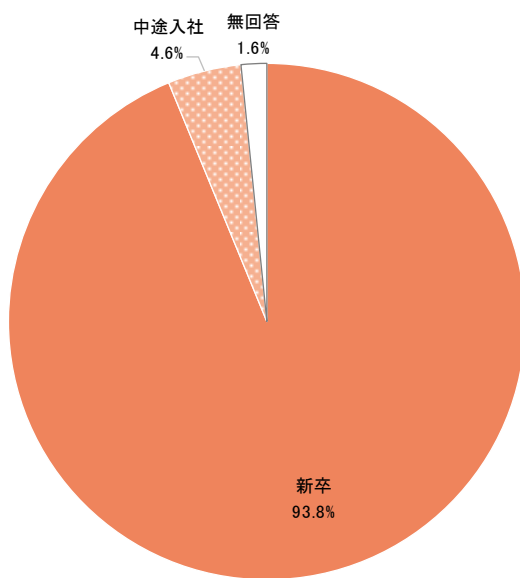


最終学歴は、「大学卒」が 45.0%を占め、「高校卒」(33.2%)、「大学院卒」(11.1%)と続く。性別では『男性』が「高校卒」「大学卒」が共に 38.4%であったが、『女性』では「大学卒」(56.9%)で「高校卒」(23.9%)であった。



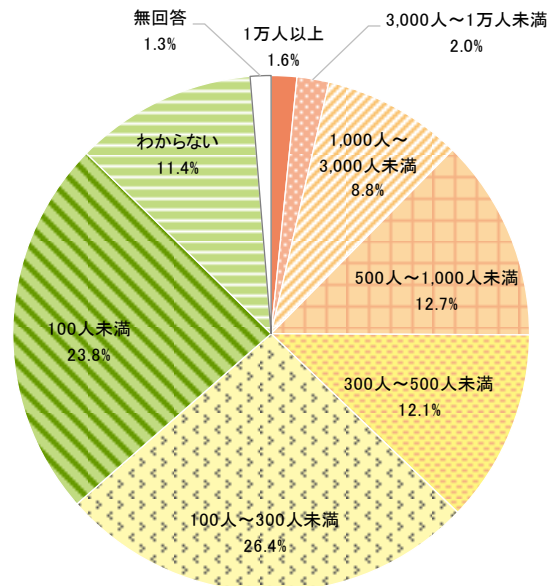
S4. 出身の学部・学科 (1 つだけ選択) (n=307)

出身の学部・学科は「文系」が 37.5%、「理系」が 30.6%であった。
最終学歴でみると、『大学卒』では「文系」が 69.6%、「理系」が 26.8%で、
『大学院卒』では「理系」が 94.1%、「文系」が 5.9%となっている。



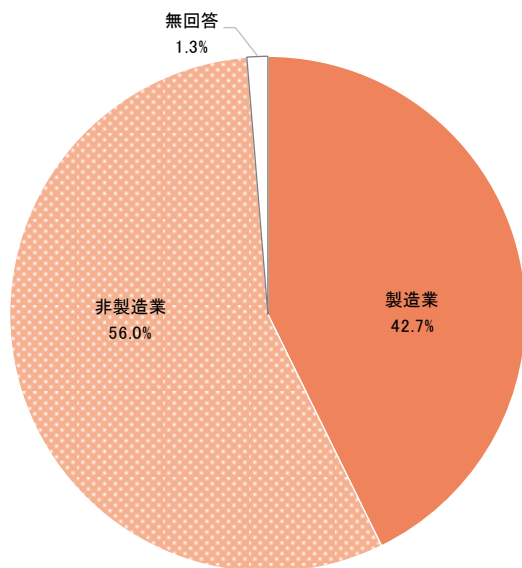
S5. 入社形態 (1 つだけ選択) (n=307)

入社形態は、「新卒」が 93.8%を占める。



S7. 従業員数 (会社全体) (1 つだけ選択) (n=307)

勤務先の従業員数は、
「100人～300人未満」が 26.4%と最も高く、
「100人未満」が 23.8%と続く。



勤務先の業種は「製造業」が 42.7%、「非製造業」は 56.0%となっている。

S6. 業種(1 つだけ選択) (n=307)

| | 回答者数 | % |
|------------|------|------|
| 合計 | 307 | 100 |
| 農林水産業 | 0 | 0 |
| 建設業 | 30 | 9.8 |
| 製造業 | 131 | 42.7 |
| 電気・ガス・水道供給 | 13 | 4.2 |
| 情報通信業 | 23 | 7.5 |
| 運輸業 | 12 | 3.9 |
| 商社・卸売業 | 16 | 5.2 |
| 小売業 | 1 | 0.3 |
| 金融・保険業・証券 | 1 | 0.3 |
| 不動産業 | 5 | 1.6 |
| 飲食・宿泊業 | 1 | 0.3 |
| 医療・福祉 | 3 | 1 |
| 教育・学習支援 | 0 | 0 |
| 広告・マスコミ | 6 | 2 |
| 官公庁・団体 | 15 | 4.9 |
| サービス業 | 25 | 8.1 |
| その他 | 21 | 6.8 |

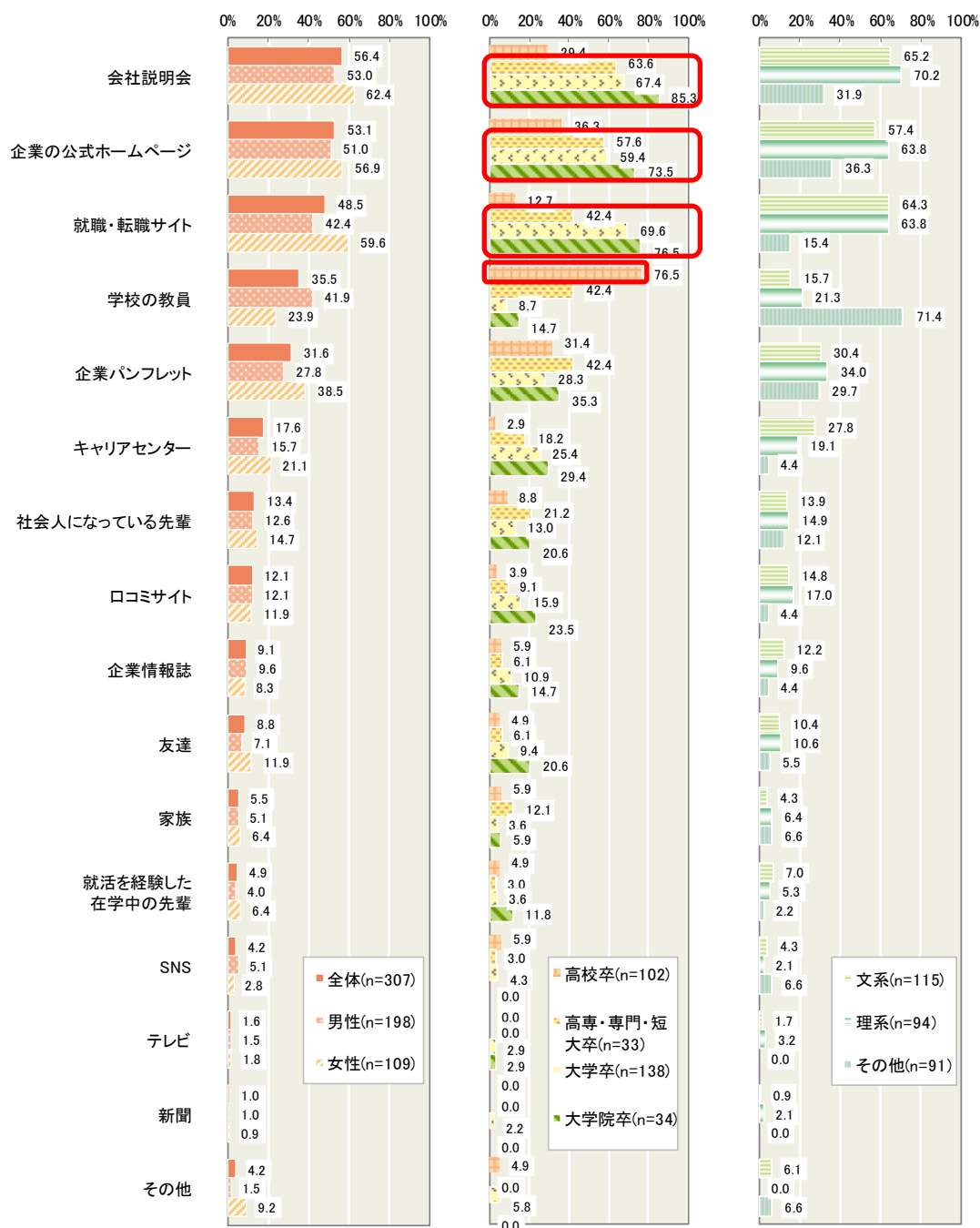
4. 調査結果

4. 1 就職活動から入社するまでの意識

(1) 会社を選ぶ際の情報収集先

全体では、「会社説明会」が56.4%と最も高く、「企業の公式ホームページ」が53.1%、「就職・転職サイト」が48.5%と続く。

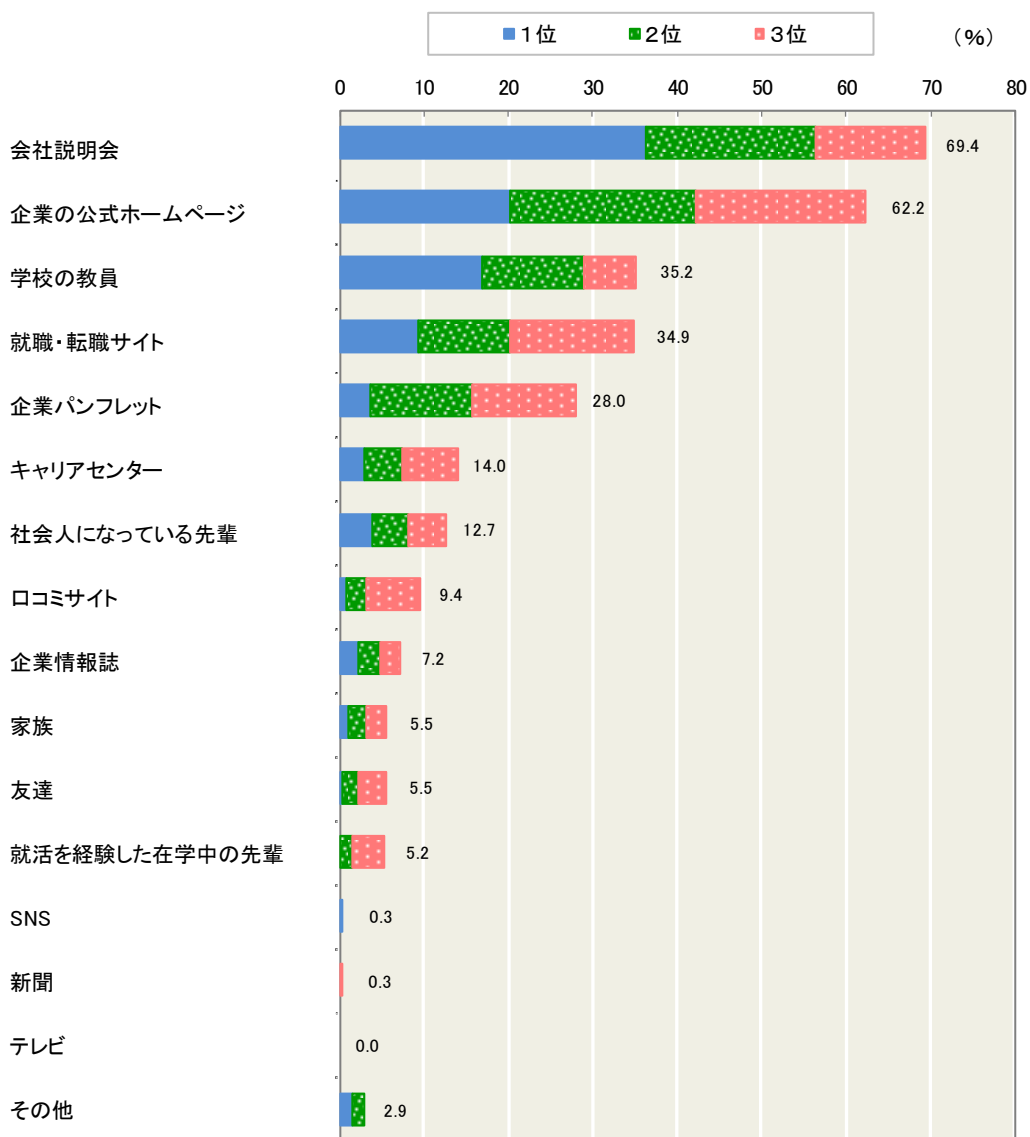
属性別にみると、最終学歴では『高校卒』においては「学校の教員」が主要な情報収集先となっているが、『高専・専門・短大卒』『大学卒』『大学院卒』においては「会社説明会」「企業の公式ホームページ」「就職・転職サイト」が主要な情報収集先となっている。



Q1. 会社を選ぶ際に、どこから情報を収集していましたか。(あてはまるものを全て選択) (n=307)

(2) 会社を選ぶ際に信頼していた情報

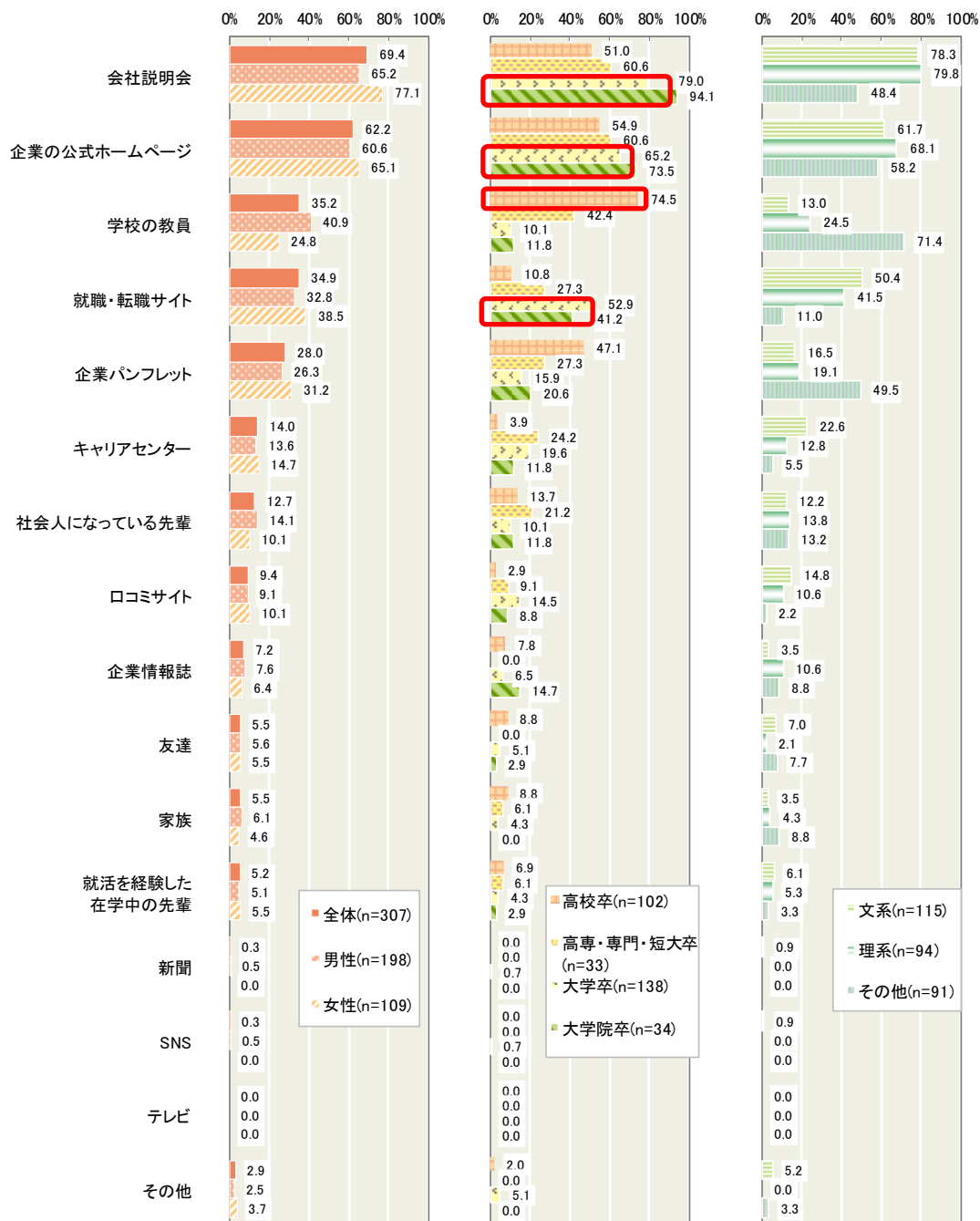
全体では、「会社説明会」が69.4%と最も高く、「企業の公式ホームページ」が62.2%、「学校の教員」が35.2%、「就職・転職サイト」が34.9%と続く。



Q2. 会社を選ぶ際に、どこからの情報を信頼していましたか。(n=307)

※1 「1~3位の合計」でソート

属性別にみると、最終学歴では、『高校卒』においては「学校の教員」が信頼していた情報源となっているが、特に『大学卒』『大学院卒』においては「会社説明会」「企業の公式ホームページ」「就職・転職サイト」が信頼していた情報源となっている。

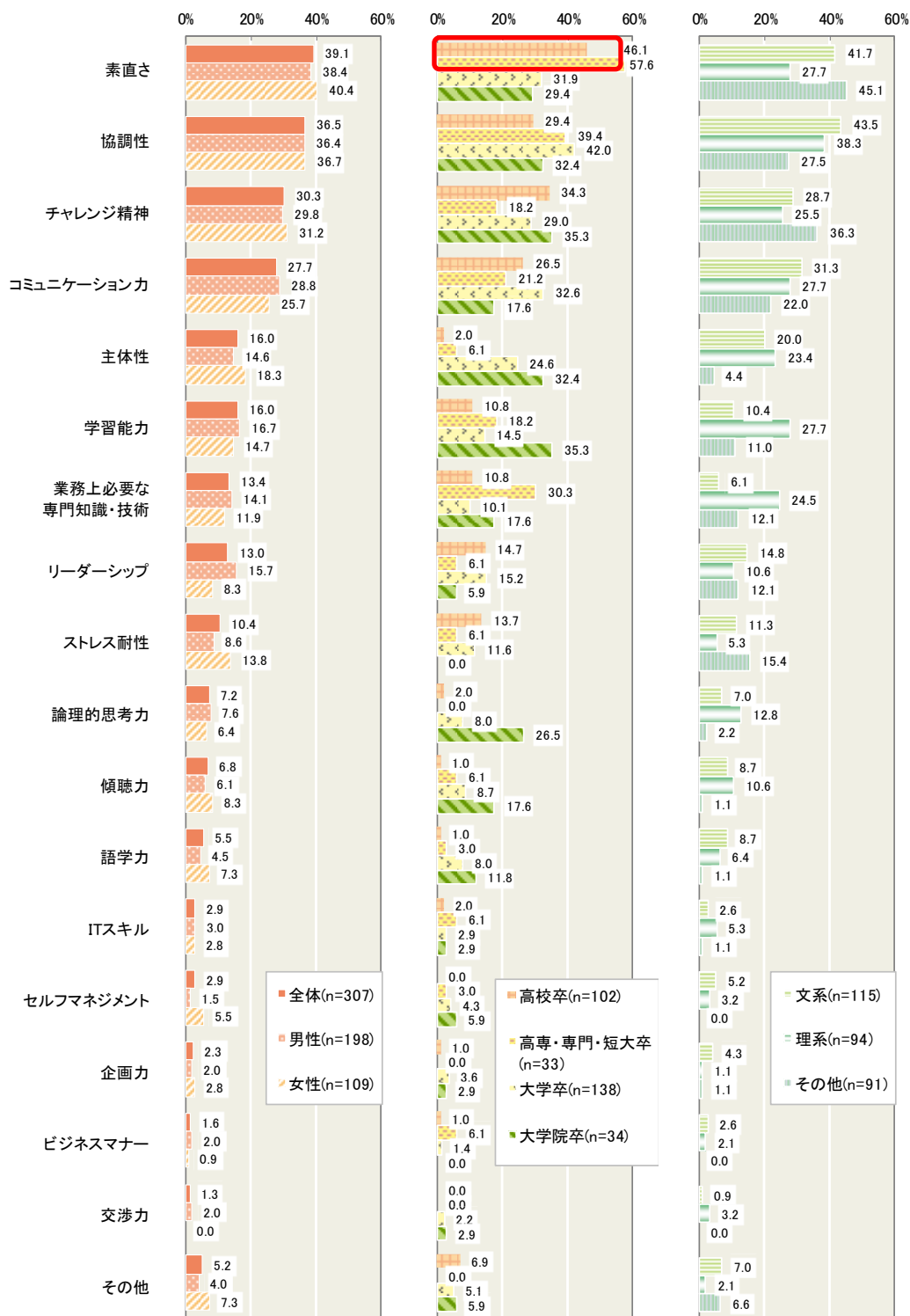


Q2. 会社を選ぶ際に、どこからの情報を信頼していましたか。(合計) (n=307)

(3) 就職活動でアピールした自分の強み

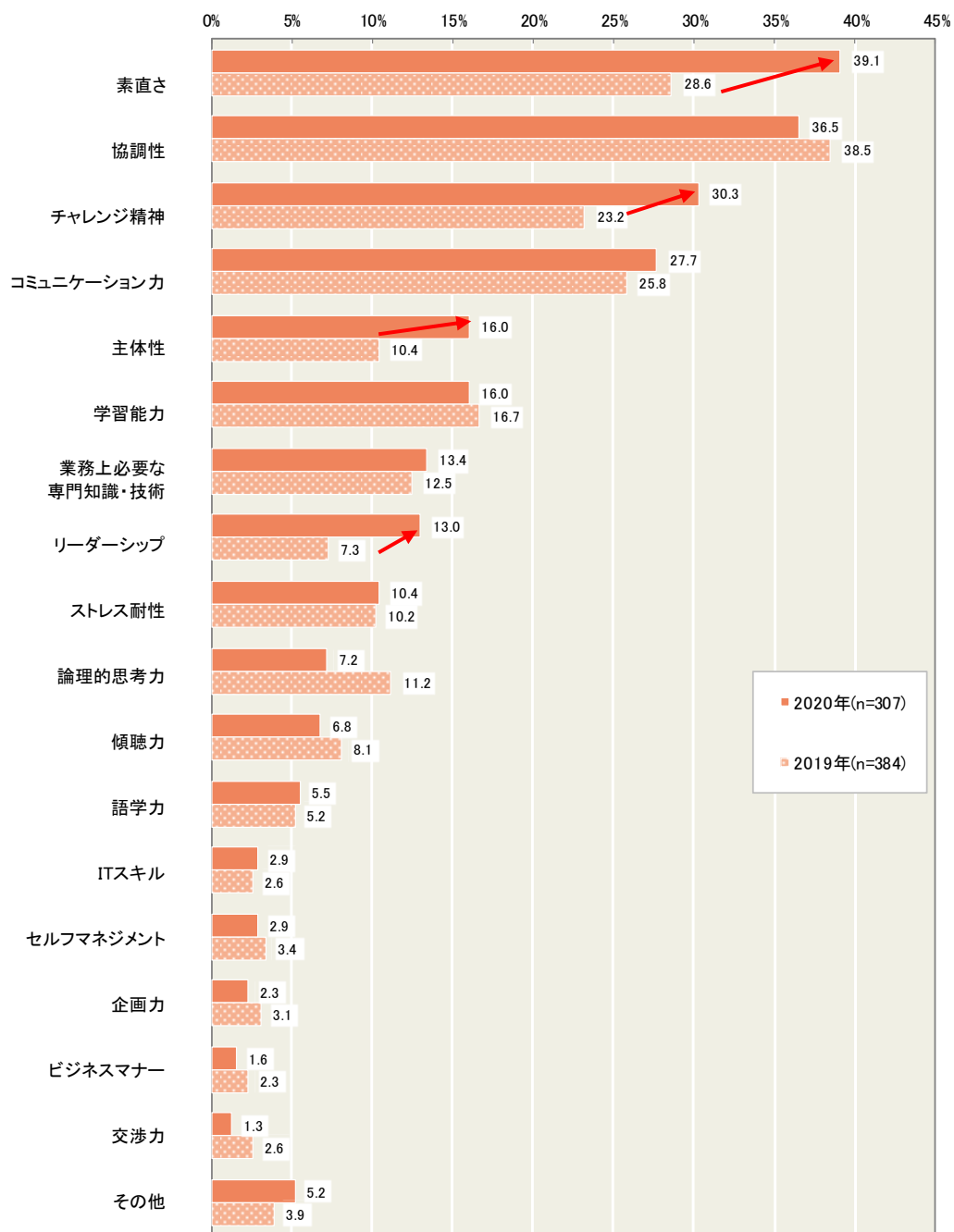
全体では、「素直さ」が39.1%と最も高く、「協調性」が36.5%、「チャレンジ精神」が30.3%、「コミュニケーション力」が27.7%と続く。

新入社員調査の属性別にみると、『高校卒』『高専・専門・短大卒』では「素直さ」が5割程度と最も高くなっている。



Q3. 就職活動でアピールした自分の強みは何ですか。(3 つまで選択) (n=307)

時系列でみると、「素直さ」「チャレンジ精神」「主体性」「リーダーシップ」が高くなっている。



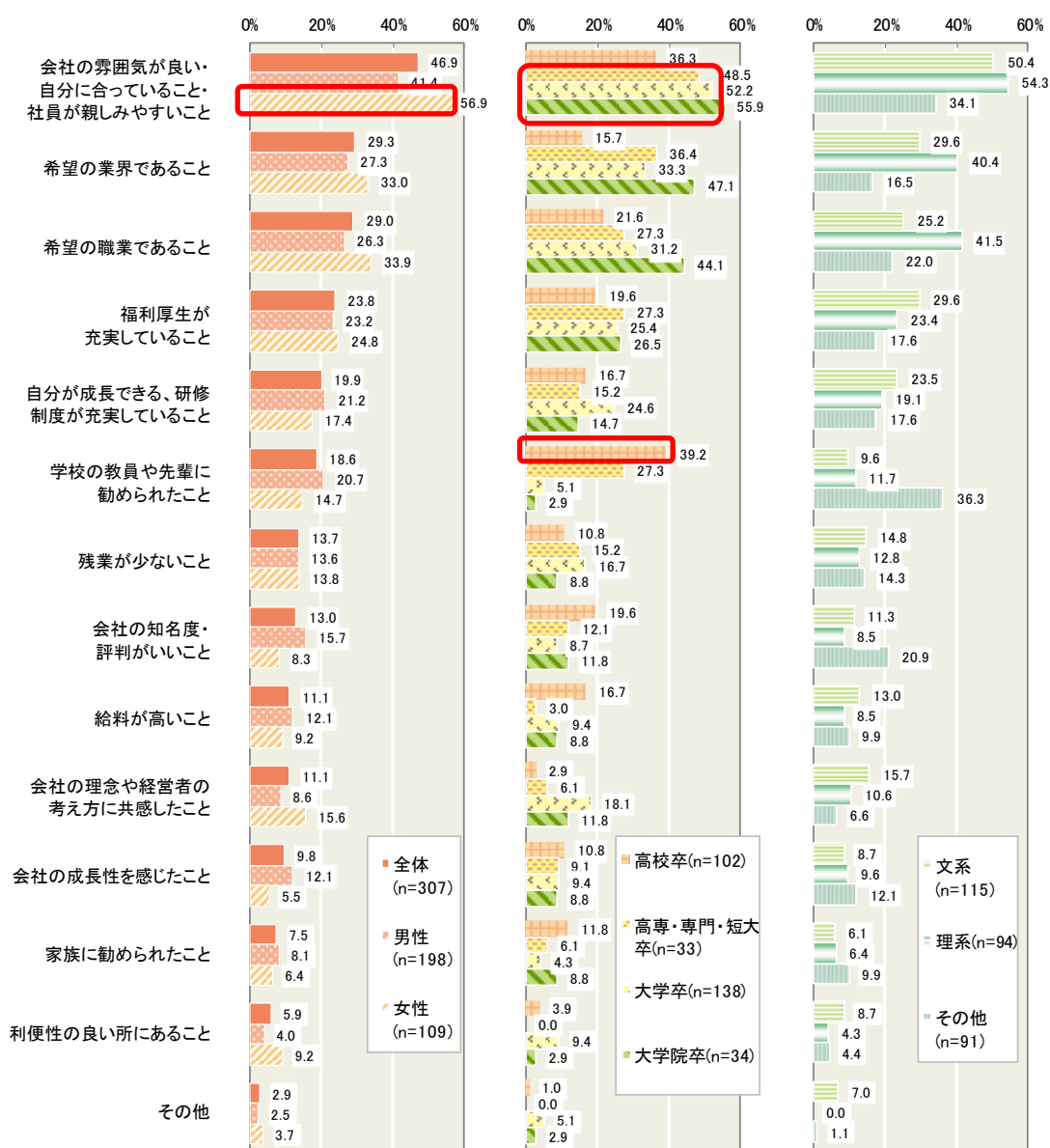
Q3. 就職活動でアピールした自分の強みは何ですか。(3 つまで選択)

(4) 会社を選ぶ決め手

全体では、「会社の雰囲気が良い・自分に合っていること・社員が親しみやすいこと」が46.9%と最も高く、「希望の業界であること」が29.3%、「希望の職業であること」が29.0%と続く。

性別でみると、『女性』の方が『男性』よりも「会社の雰囲気が良い・自分に合っていること・社員が親しみやすいこと」が高くなっている。

また最終学歴でみると、『高校卒』では「学校の教員や先輩に勧められたこと」が最も高いが、他は「会社の雰囲気が良い・自分に合っていること・社員が親しみやすいこと」が最も高い。



Q4. 就職先として今の会社を選ぶ決め手になったことは何ですか。(3 つまで選択) (n=307)

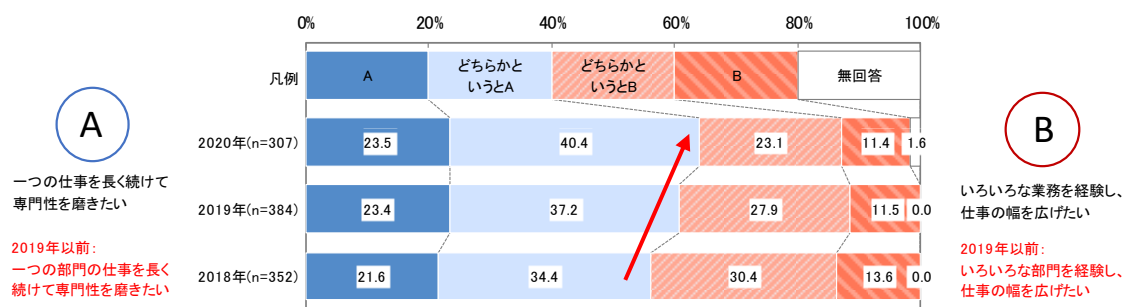
4. 2 仕事・働くことへの考え

(1) 働き方について

(1-1) スペシャリストとゼネラリストについて

【A】の「一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい」が63.9%（「A」「どちらかという」とA」の合算）で、【B】の「いろいろな業務を経験し、仕事の幅を広げたい」を上回っている。

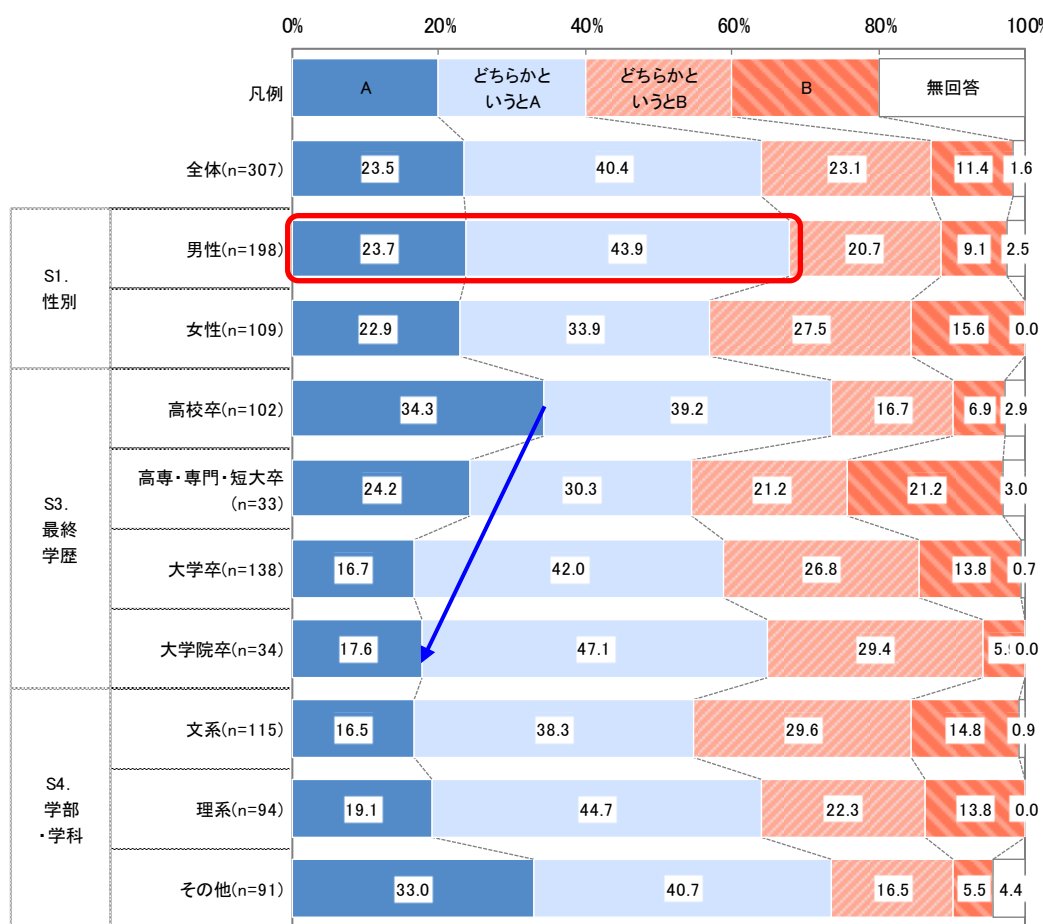
時系列で見ると、「一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい」と回答する割合が高くなっている。



Q5.(1)スペシャリストとゼネラリストについて

属性別でみると、性別では『男性』の方が『女性』に比べて「一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい」を挙げる割合が高い。

最終学歴が上がるにつれて「A」を挙げる割合が低くなっている。



Q5.(1)スペシャリストとゼネラリストについて(n=307)

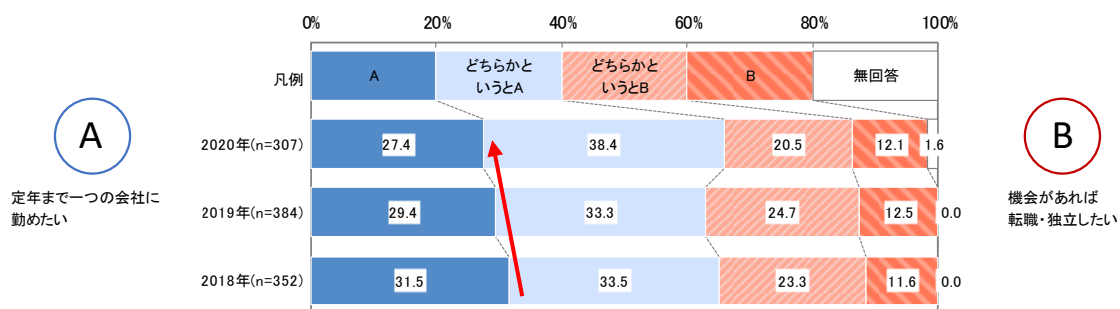
A) 一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい

B) いろいろな業務を経験し、仕事の幅を広げたい

(1-2) 定年退職と転職・独立について

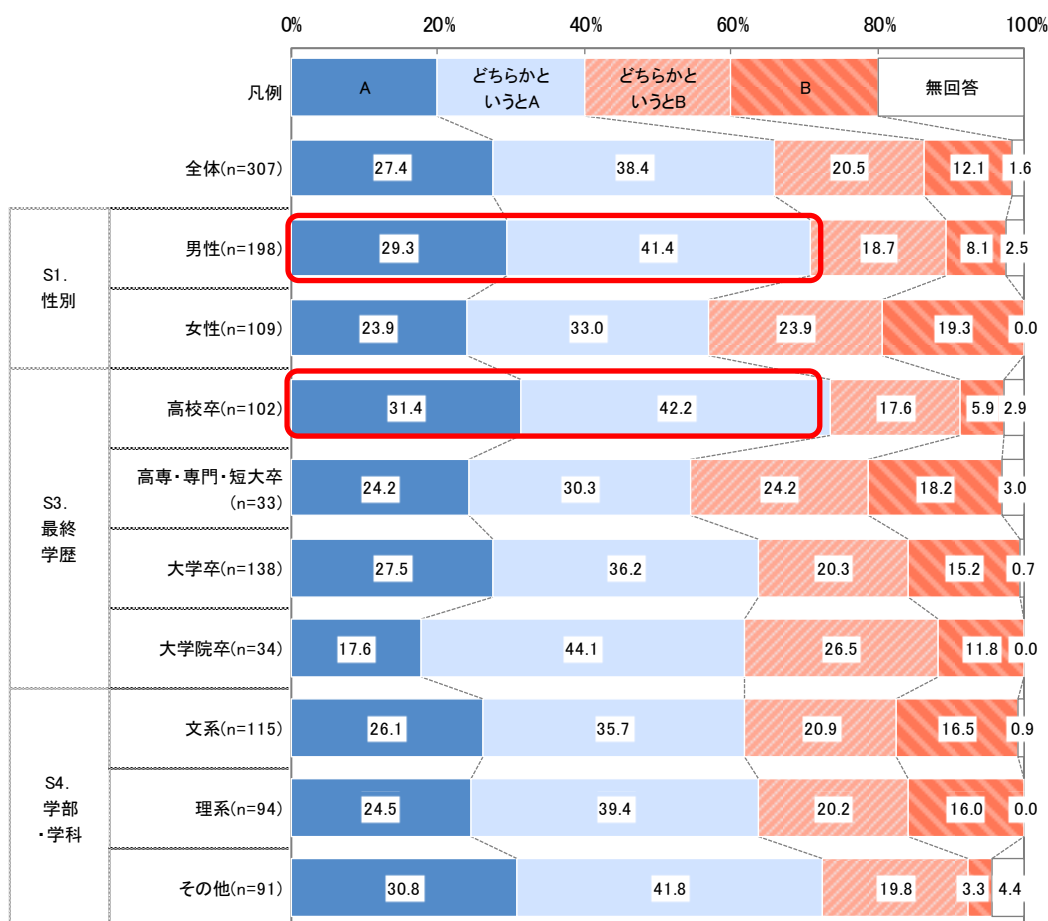
【A】の「定年まで一つの会社に勤めたい」が65.8%（「A」「どちらかというA」の合算）となっており、【B】の「機会があれば転職・独立したい」を上回っている。

時系列でみると、「A」を挙げる割合がやや低くなっている。



Q5.(2)定年退職と転職・独立について

属性別でみると、性別では『男性』、最終学歴では『高校卒』が「定年まで一つの会社に勤めたい」と回答する割合が高い。



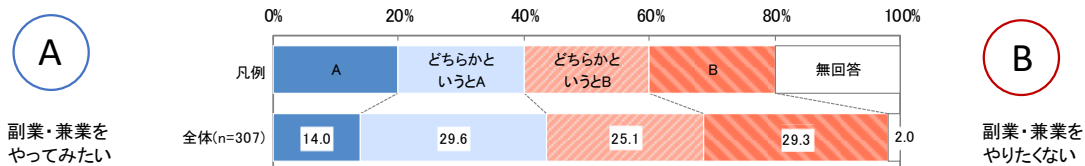
Q5.(2)定年退職と転職・独立について (n=307)

A) 定年まで一つの会社に勤めたい

B) 機会があれば転職・独立したい

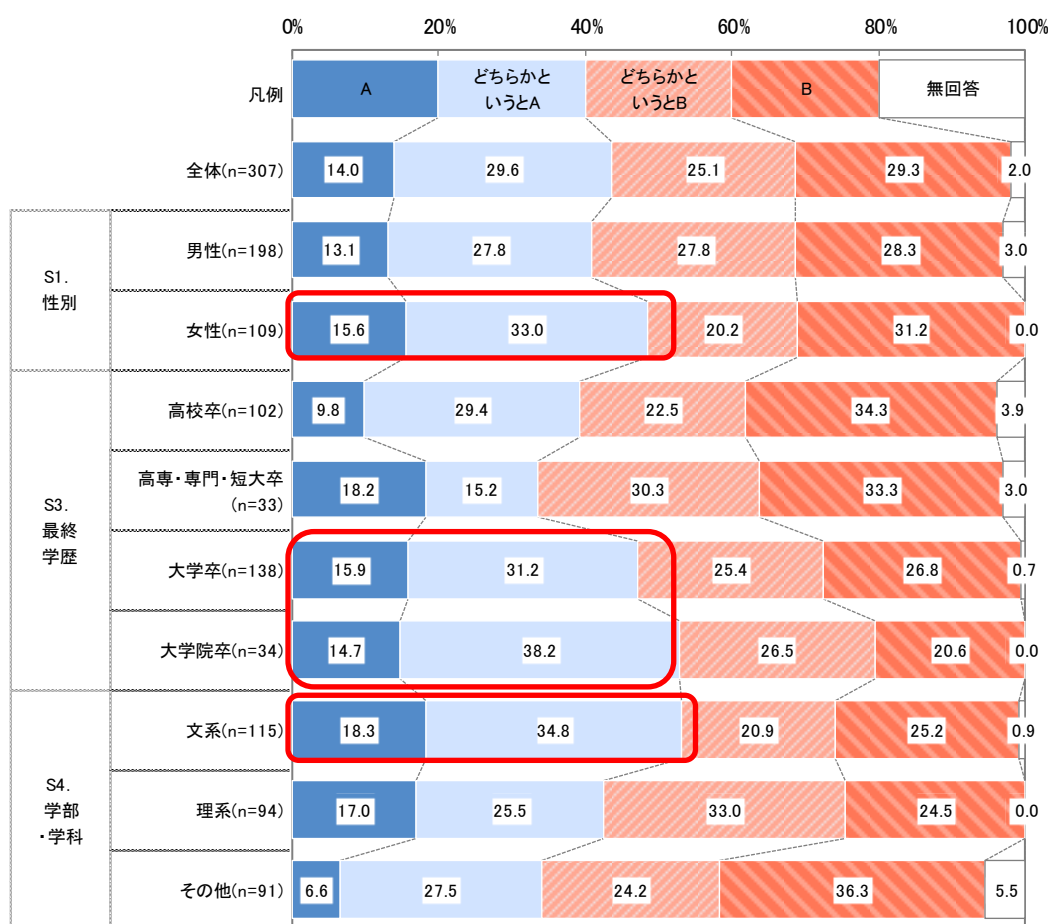
(1-3) 副業や兼業について

【B】の「副業・兼業をやりたくない」が54.4%（「B」「どちらかというともB」の合算）となっており、【A】の「副業・兼業をやってみたい」を上回っている。



Q5.(3)副業・兼業について:

属性別で見ると、性別では『女性』、最終学歴では『大学卒』『大学院卒』、学部・学科では『文系』が「副業・兼業をやってみたい」と回答する割合が高い。



Q5.(3)副業・兼業について (n=307)

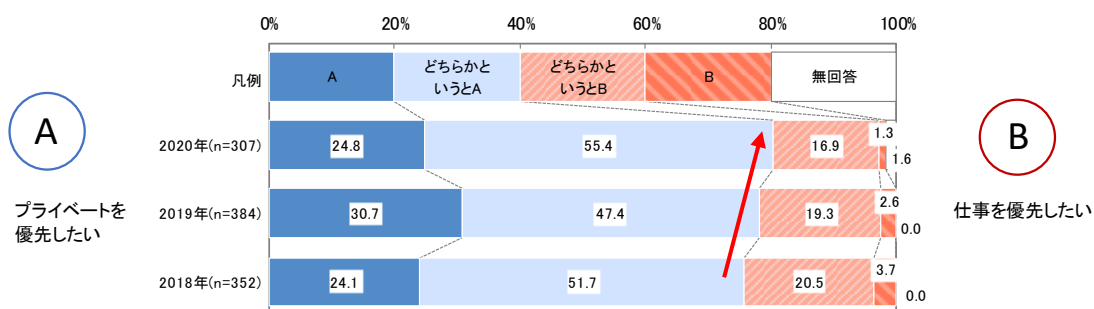
A) 副業・兼業をやってみたい

B) 副業・兼業をやりたくない

(1-4) プライベートと仕事について

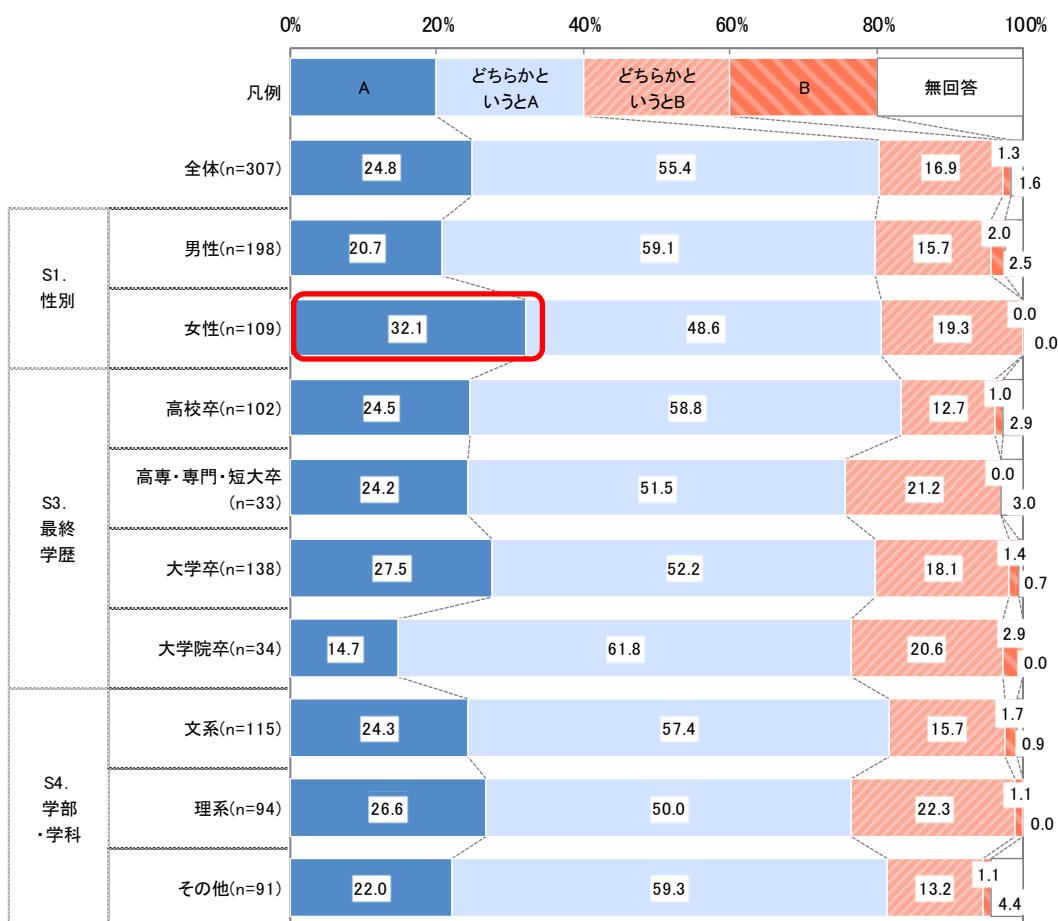
【A】の「プライベートを優先したい」が80.2%（「A」「どちらかというA」の合算）となっており、【B】の「仕事を優先したい」を大幅に上回っている。

時系列でみると、「プライベートを優先したい」と回答する割合が年々高まっている。



Q5.(4)プライベートと仕事について：A) プライベートを優先したい B) 仕事を優先したい

属性別でみると、性別では『女性』の方が『男性』に比べて「A」を挙げる割合が高い。



Q5.(4)プライベートと仕事について (n=307)

A) プライベートを優先したい

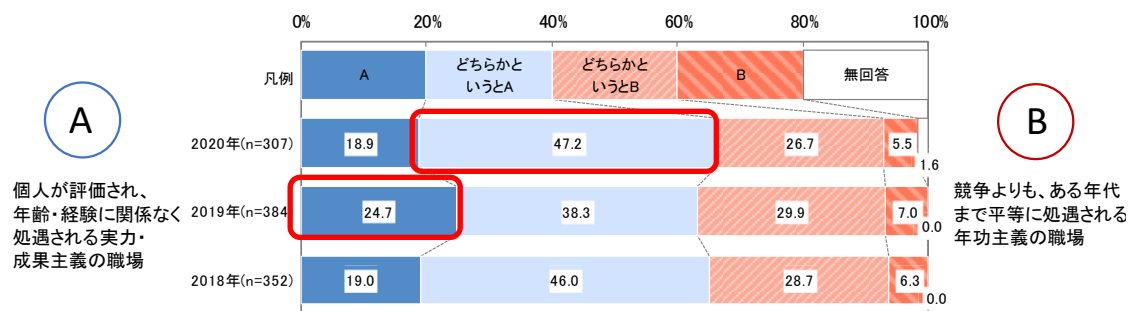
B) 仕事を優先したい

(2) 働きたい職場について

(2-1) 成果主義と年功主義について

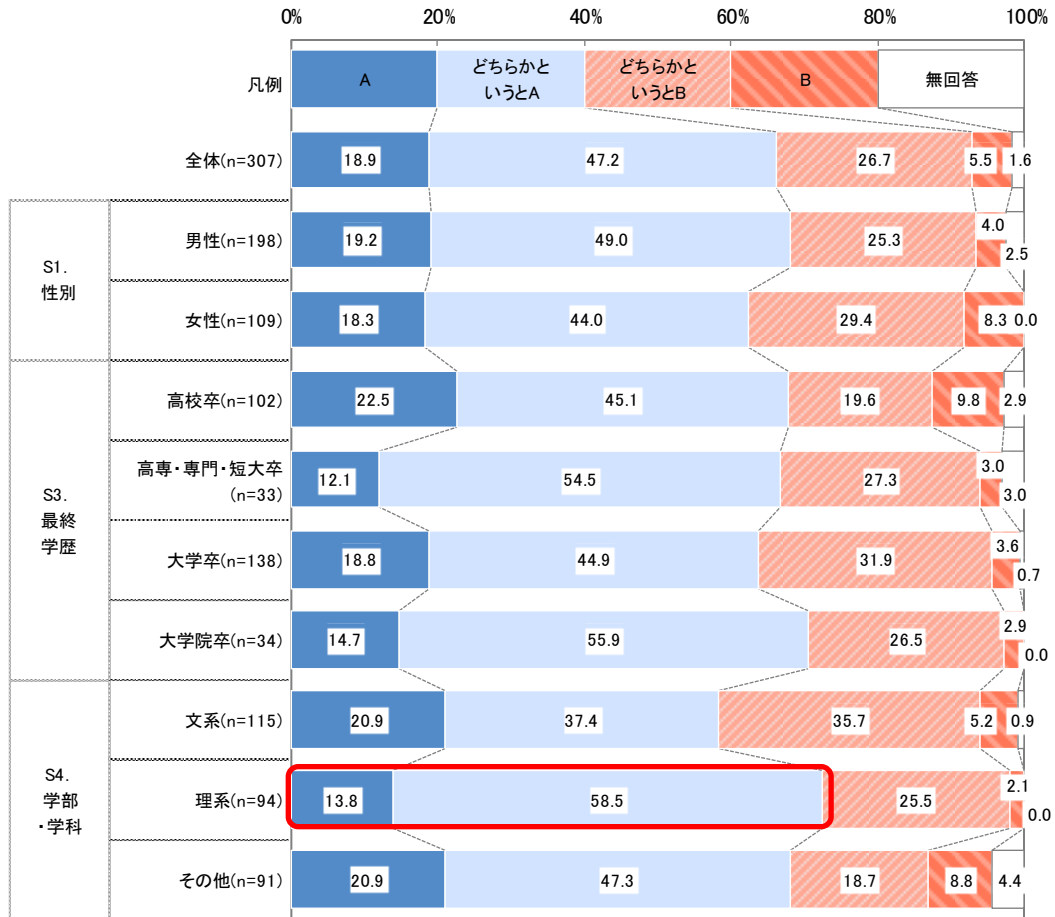
【A】の「個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場」が66.1%（「A」「どちらかというA」の合算）となっており、【B】の「競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場」を大幅に上回っている。

時系列でみると、2019年調査より「A」を挙げる割合が減り、「どちらかというA」を挙げる割合が増えた。



Q6.(1)成果主義と年功主義について

属性別でみると、学部・学科の『理系』で「個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場」と回答する割合が高い。



Q6.(1)成果主義と年功主義について (n=307)

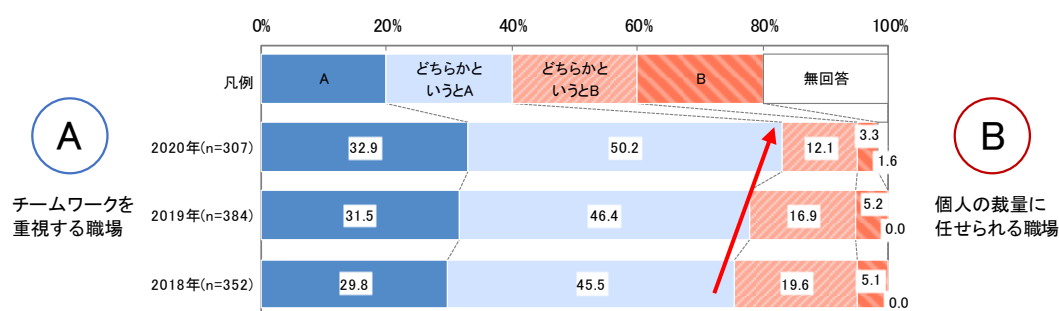
A) 個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場

B) 競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場

(2-2) チームワークと個人裁量について

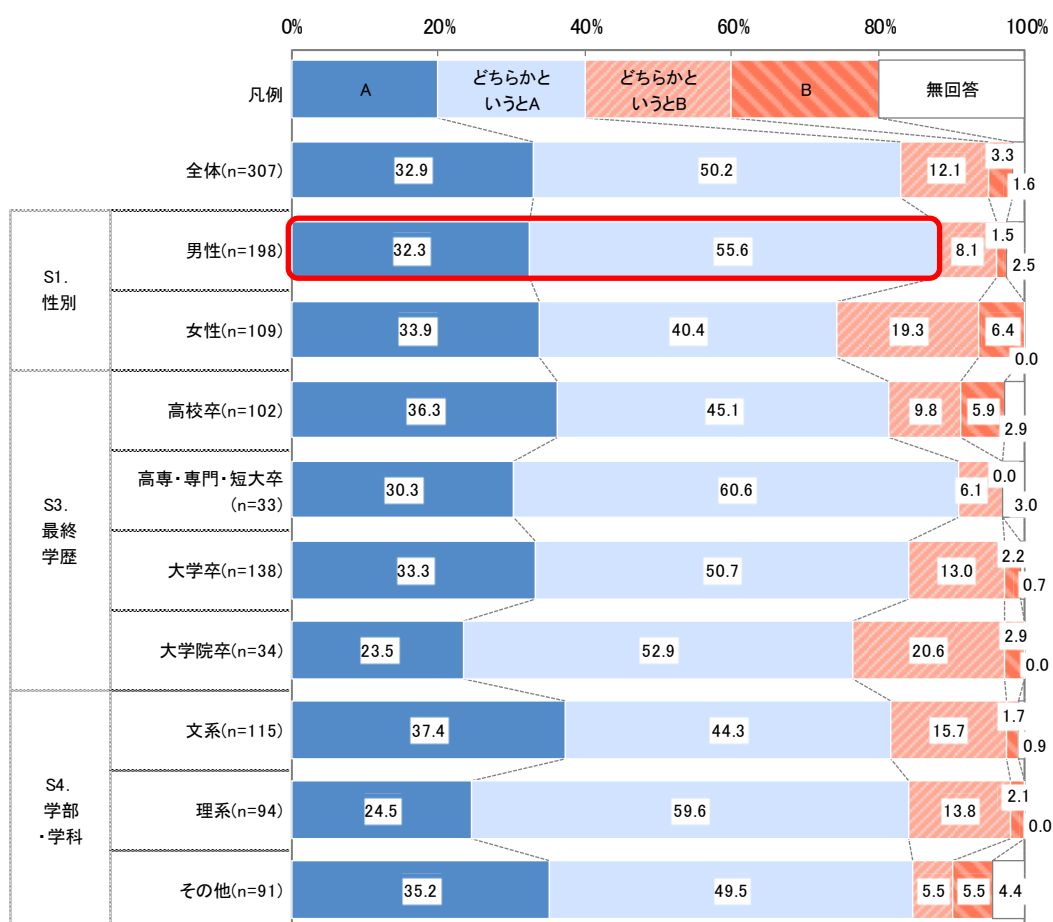
全体では【A】の「チームワークを重視する職場」が83.1%（「A」「どちらかというA」の合算）となっており、【B】の「個人の裁量に任せられる職場」を大幅に上回っている。

時系列でみると、「A」と「どちらかというA」のどちらかを挙げる割合が年々高まっている。



Q6.(2)チームワークと個人裁量について

属性別でみると、性別では『男性』の方が『女性』に比べて「チームワークを重視する職場」と回答する割合が高い。



Q6.(2)チームワークと個人裁量について (n=307)

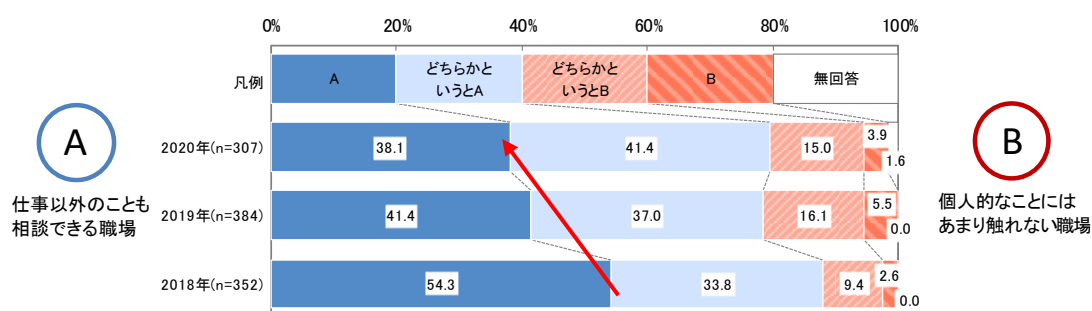
A) チームワークを重視する職場

B) 個人の裁量に任せられる職場

(2-3) 職場とプライバシーについて

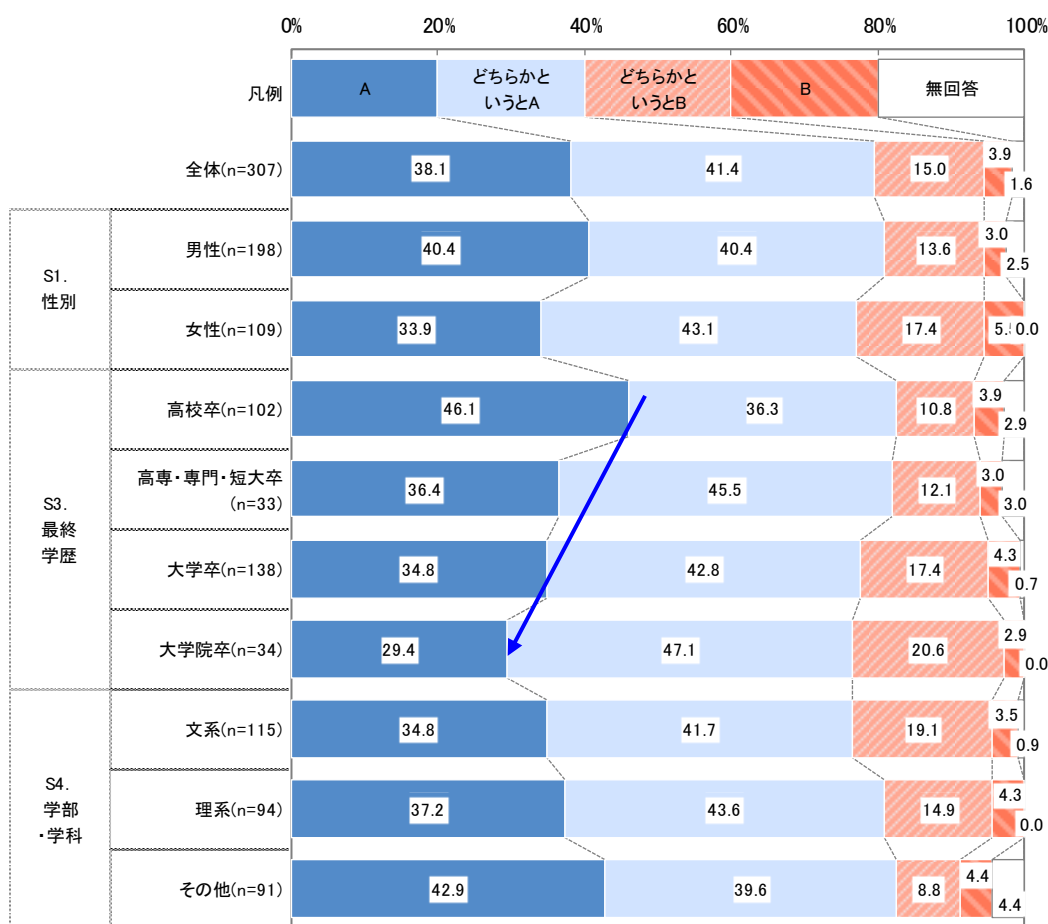
全体では【A】の「仕事以外のことも相談できる職場」が79.5%（「A」「どちらかというA」の合算）となっており、【B】の「個人的なことにはあまり触れない職場」を大幅に上回っている。

時系列でみると、「A」を挙げる割合が低くなっている。



Q6.(3)職場とプライバシーについて

属性別でみると、最終学歴において学歴が高くなるにつれて「A」を挙げる割合が低くなっている。



Q6.(3)職場とプライバシーについて (n=307)

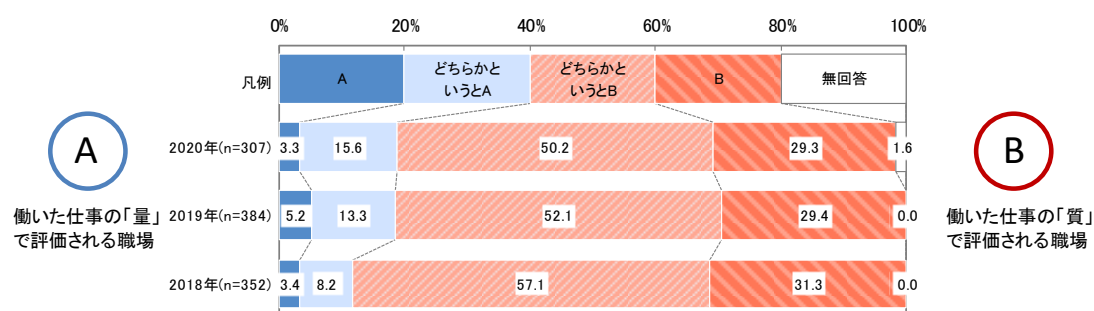
A) 仕事以外のことも相談できる職場

B) 個人的なことにはあまり触れない職場

(2-4) 仕事の量と仕事の質について

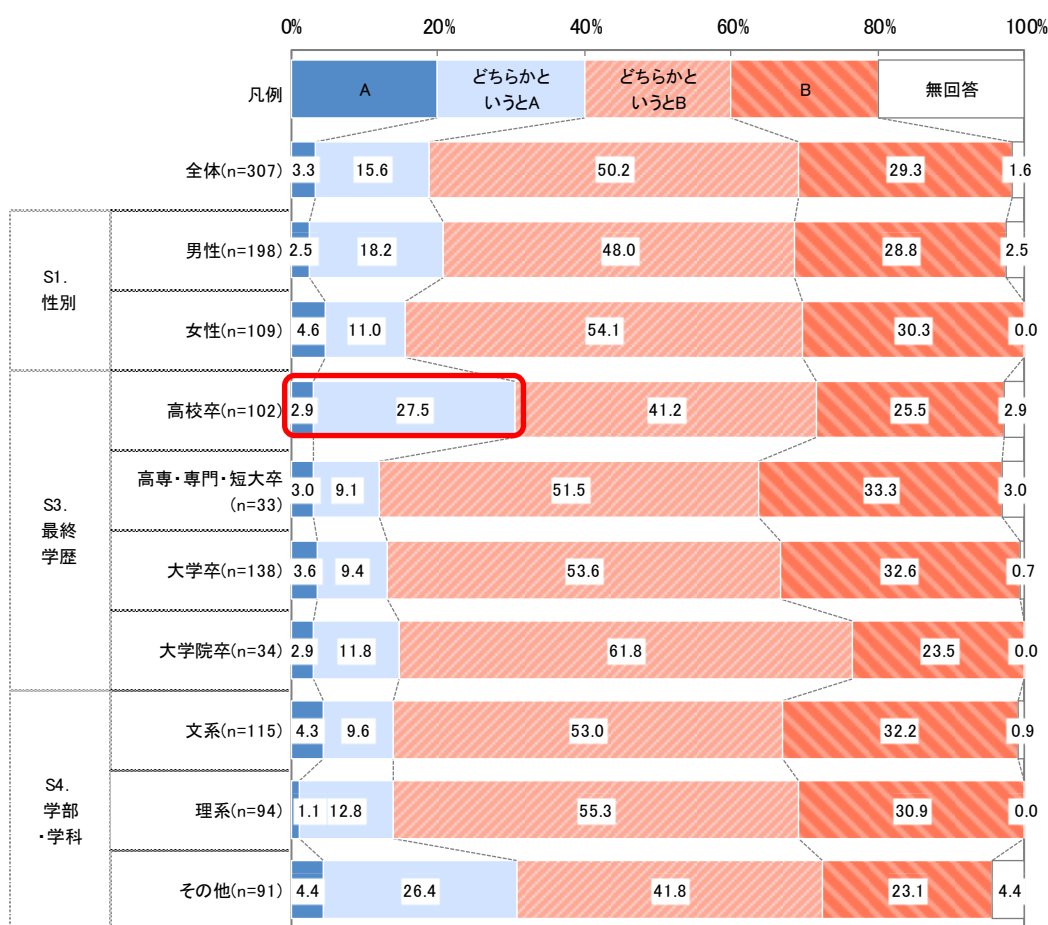
全体では【B】の「働いた仕事の「質」で評価される職場」が79.5%（「B」「どちらかという」とB）の合算）となっており、【A】の「働いた仕事の「量」で評価される職場」を大幅に上回っている。

時系列でみると、2019年調査からは大きく変化していない。



Q6.(4)仕事の量と仕事の質について

属性別でみると、最終学歴では『高校卒』において「働いた仕事の「量」で評価される職場」と回答する割合が高い。



Q6.(4)仕事の量と仕事の質について (n=307)

A) 働いた仕事の「量」で評価される職場

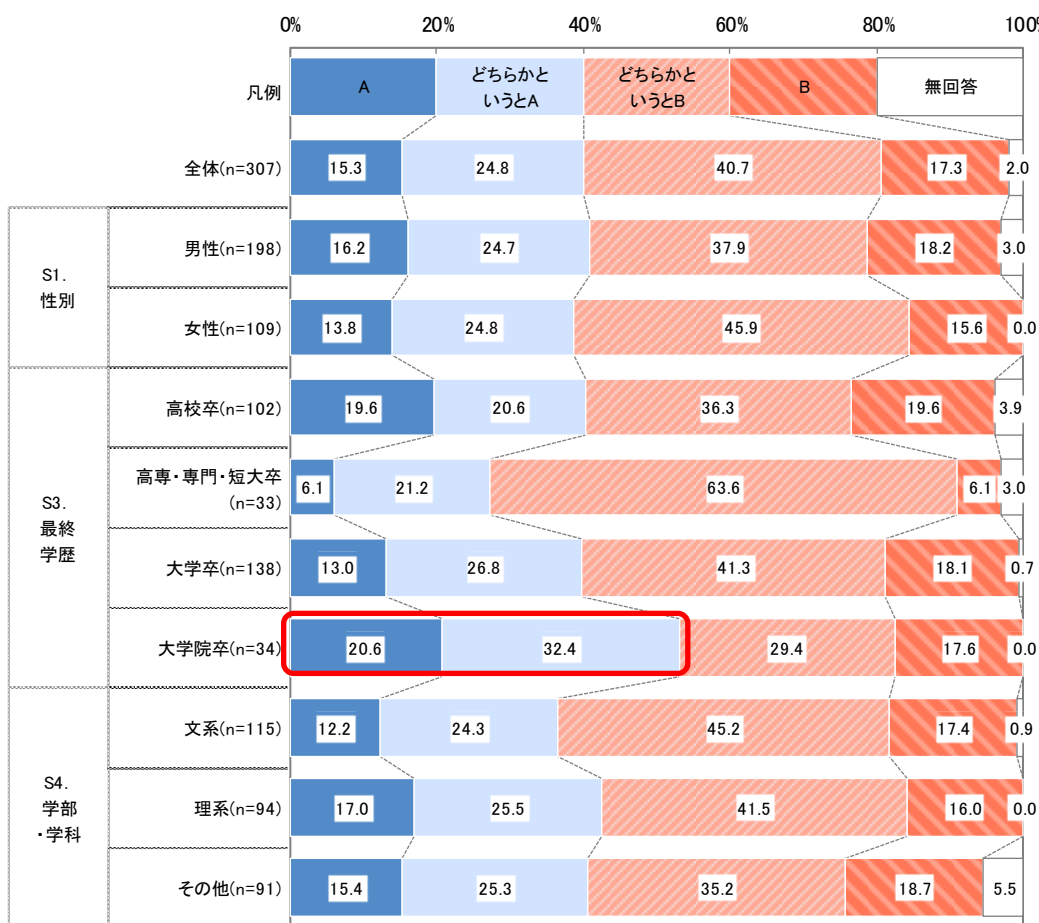
B) 働いた仕事の「質」で評価される職場

(3) コミュニケーションの取り方について

(3-1) 言葉の選び方について

【B】の「相手に気を遣って言葉を選ぶ」が58.0%（「B」「どちらかというともB」の合算）となっており、【A】の「本音を率直に言う」を上回っている。

属性別でみると、最終学歴の『大学院卒』で「本音を率直に言う」と回答する割合が高い。



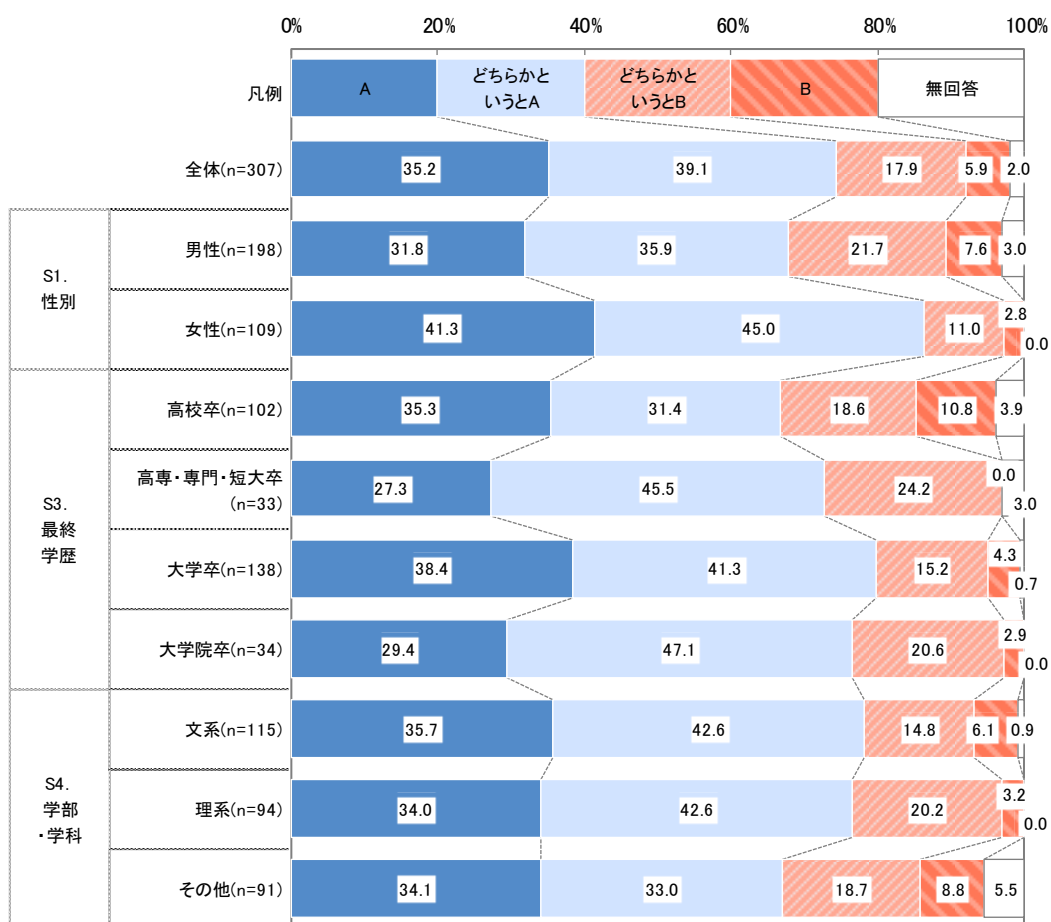
Q7.(1)コミュニケーションにおける言葉の選び方について (n=307)

A) 本音を率直に言う

B) 相手に気を遣って言葉を選ぶ

(3-2) 人との関わりについて

【A】の「気心の知れた人と深く付き合う」が74.3%（「A」「どちらかというA」の合算）となっており、【B】の「広く様々な人と関わりをもつ」を大幅に上回っている。



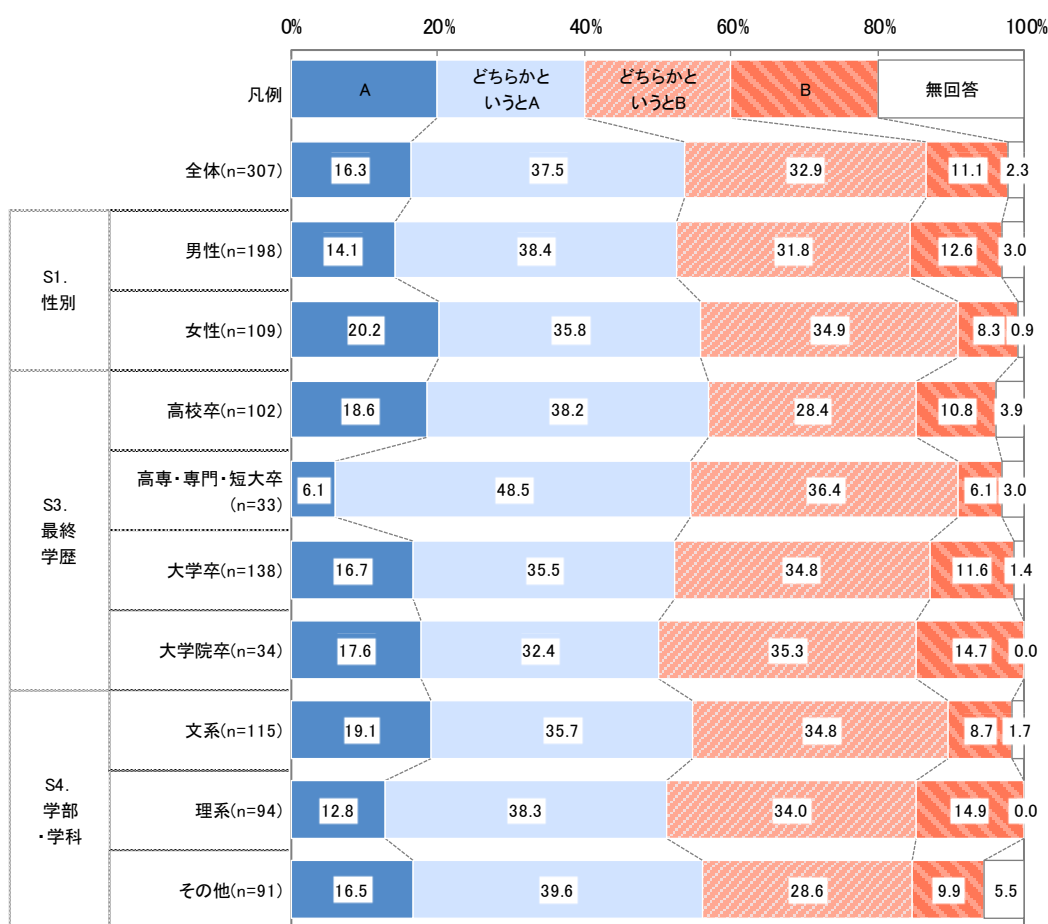
Q7.(2)人との関わりについて (n=307)

A) 気心の知れた人と深く付き合う

B) 広く様々な人と関わりをもつ

(3-3) コミュニケーションの手段について

【A】の「メールやチャットツールなどを使って連絡する」が53.8%（「A」「どちらかという」とA」の合算）となっており、【B】の「電話や対面で直接話をする」の44.0%（「B」「どちらかという」とB」の合算）をやや上回っている。



Q7.(3)コミュニケーションの手段について (n=307)

A) メールやチャットツールなどを使って連絡する

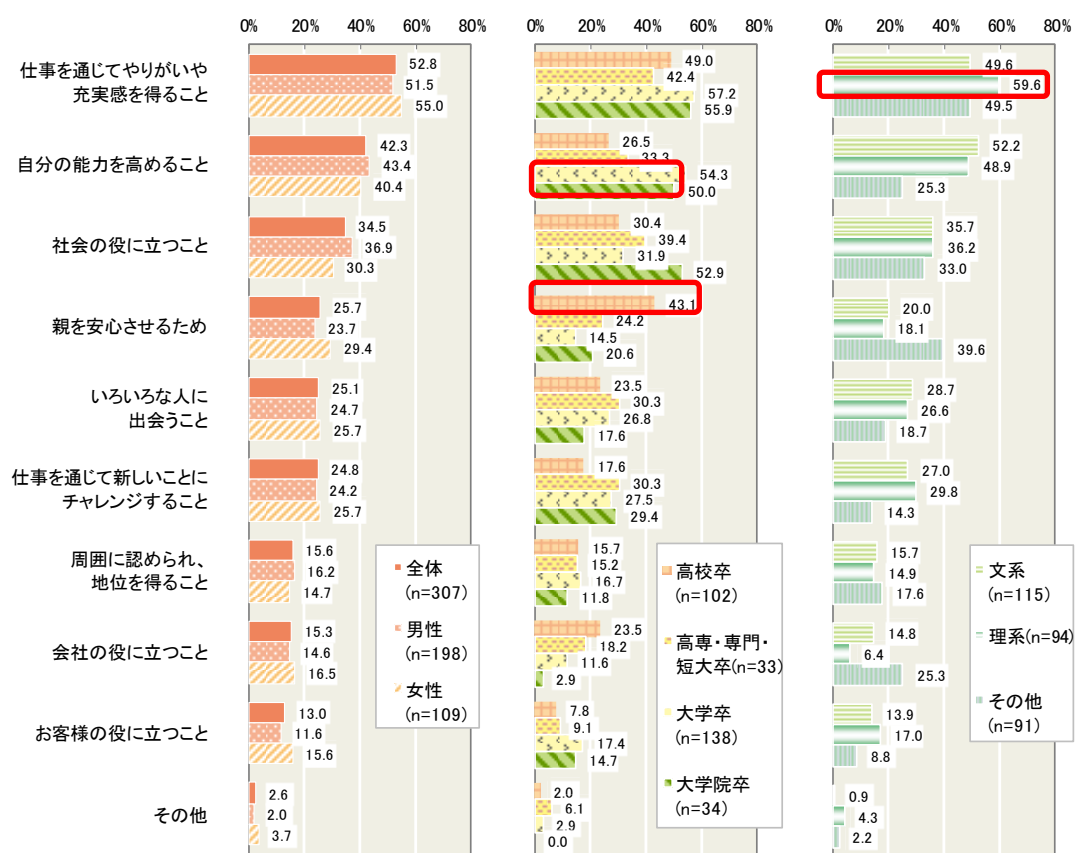
B) 電話や対面で直接話をする

(4) 働く目的

全体では、「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」が 52.8%と最も高く、「自分の能力を高めること」が 42.3%、「社会の役に立つこと」が 34.5%と続く。

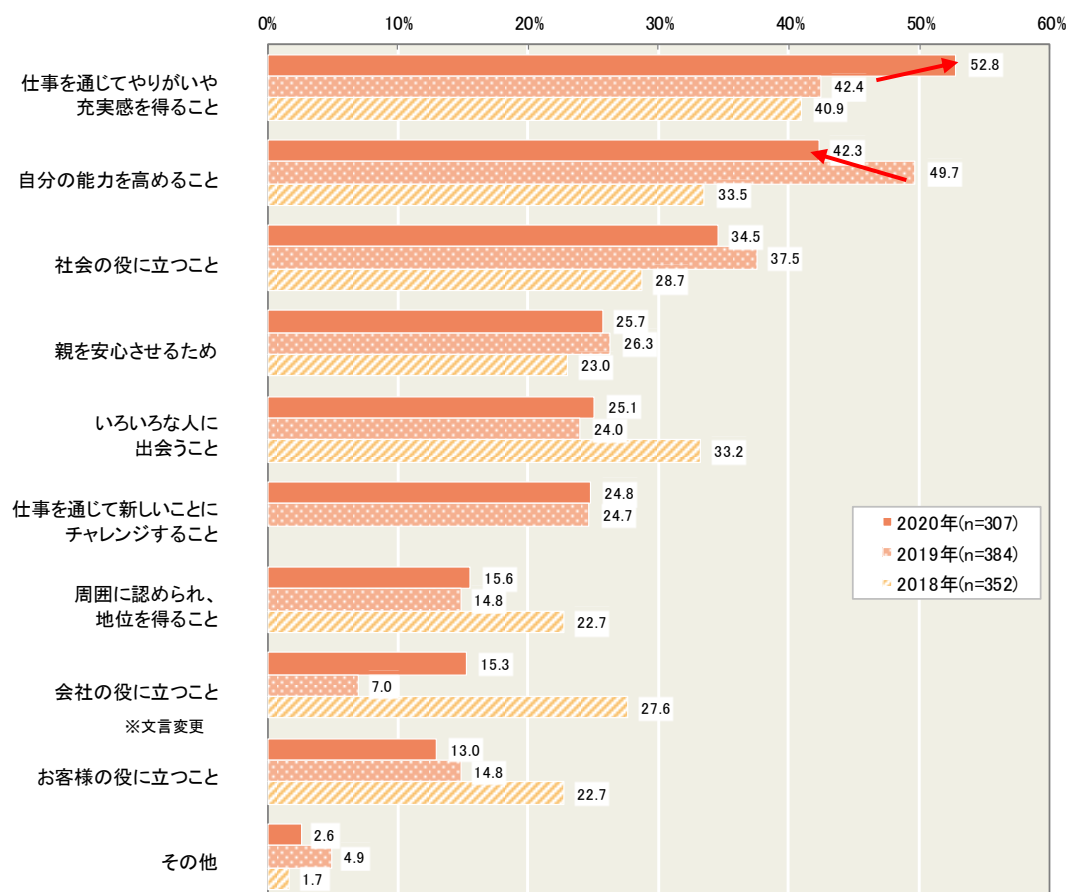
属性別にみると、最終学歴の『高校卒』では「親を安心させるため」を挙げる割合が他に比べて高い。『大学卒』『大学院卒』は『高校卒』『高専・専門・短大卒』に比べて「自分の能力を高めること」を挙げる割合が高い。

また、学部・学科では『理系』の方が『文系』よりも、「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」を挙げる割合が高くなっている。



Q8. あなた自身の働く目的は何ですか。(3 つまで選択) (n=307)

時系列でみると、全体でTOP3項目のうち「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」が42.4%から52.8%と高くなっている。逆に、「自分の能力を高めること」は低くなっている。



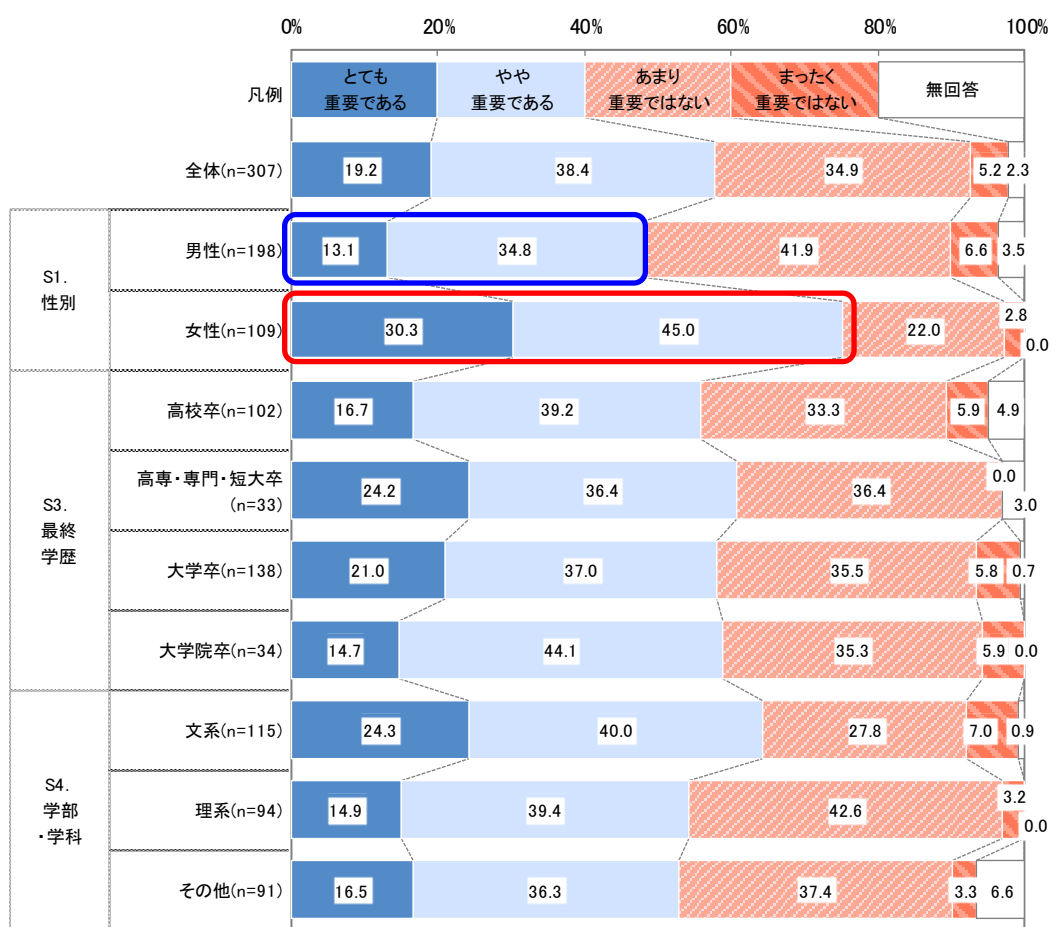
Q8. あなた自身の働く目的は何ですか。(3つまで選択)

※2019年2018年：会社や上司の役に立つこと

(6) 働く時の服装について

全体では、ビジネススーツではなく、カジュアルな服装で働けることが【重要である】とする回答が57.6%（「とても重要である」(19.2%)+「やや重要である」(38.4%)を合算）で【重要ではない】とする回答の40.1%（「まったく重要ではない」(5.2%)+「あまり重要ではない」(34.9%)を合算）を上回っている。

属性別でみると、性別では、『女性』が『男性』に比べて【重要である】を挙げる割合が高い。

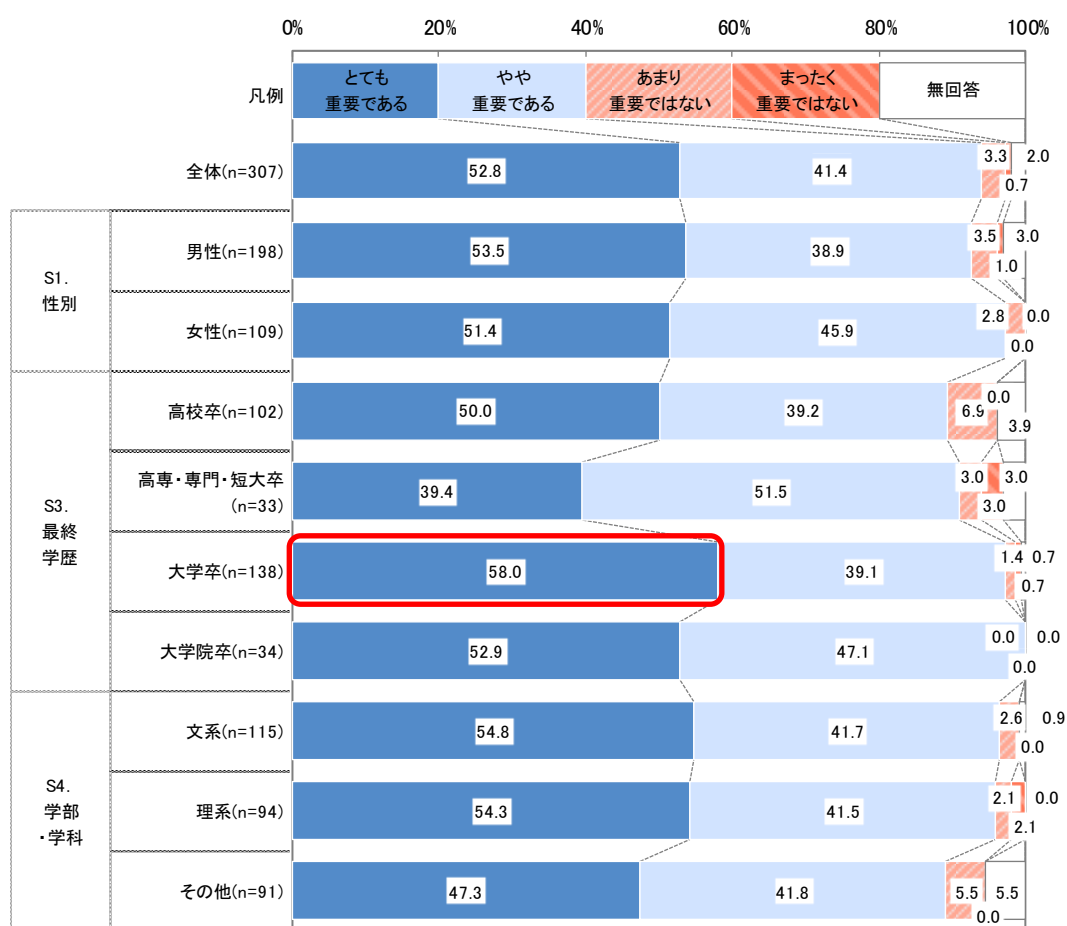


Q10.ビジネススーツではなく、カジュアルな服装で働けることは重要であると感じますか。(1つだけ選択) (n=307)

(5) 働いている会社が社会に役立っているかの重要度

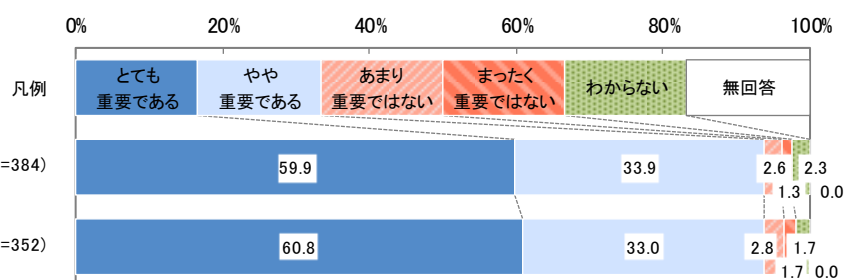
全体では、社会に役立っているかどうか【重要である】とする回答が94.2%（「とても重要である」(52.8%)+「やや重要である」(41.4%)を合算）と、大半を占める。

属性別でみると、最終学歴では『大学卒』において「とても重要である」を挙げる割合が他に比べて高い。



Q9. 働いている会社が社会の役に立っているかどうか、どの程度重要と思いますか。(1つだけ選択) (n=307)

時系列でみると、2019年以前の調査では「わからない」が含まれているため参考値となるが、「とても重要である」と回答する割合がやや減り、「やや重要である」と回答する割合が増えている。

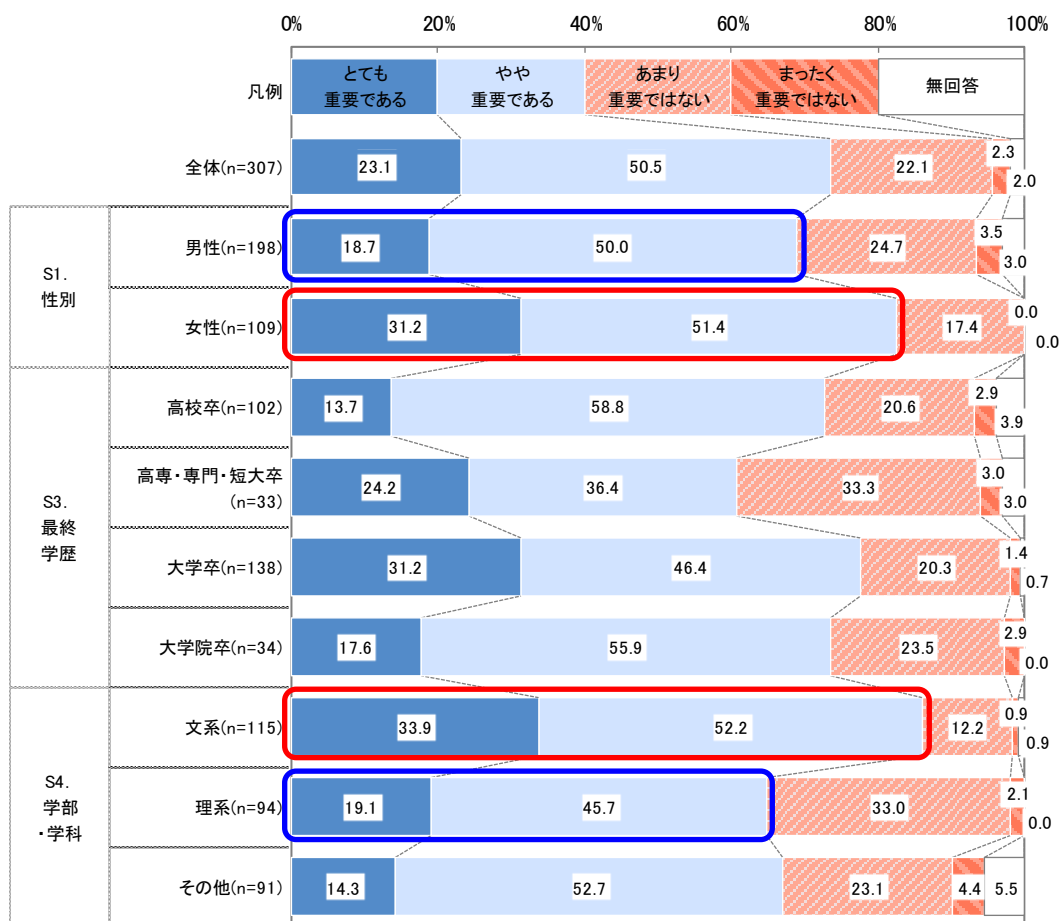


Q9. 働いている会社が社会の役に立っているかどうか、どの程度重要と思いますか。(1つだけ選択) (n=307)

(7) リモートワークについて

全体では、在宅勤務やシェアオフィスなどリモート環境で働けることが【重要である】とする回答が73.6%（「とても重要である」(23.1%)+「やや重要である」(50.5%)を合算）となっている。

属性別でみると、性別では、『女性』が『男性』に比べて【重要である】を挙げる割合が高い。また学部・学科では『文系』が『理系』に比べて【重要である】を挙げる割合が高い。



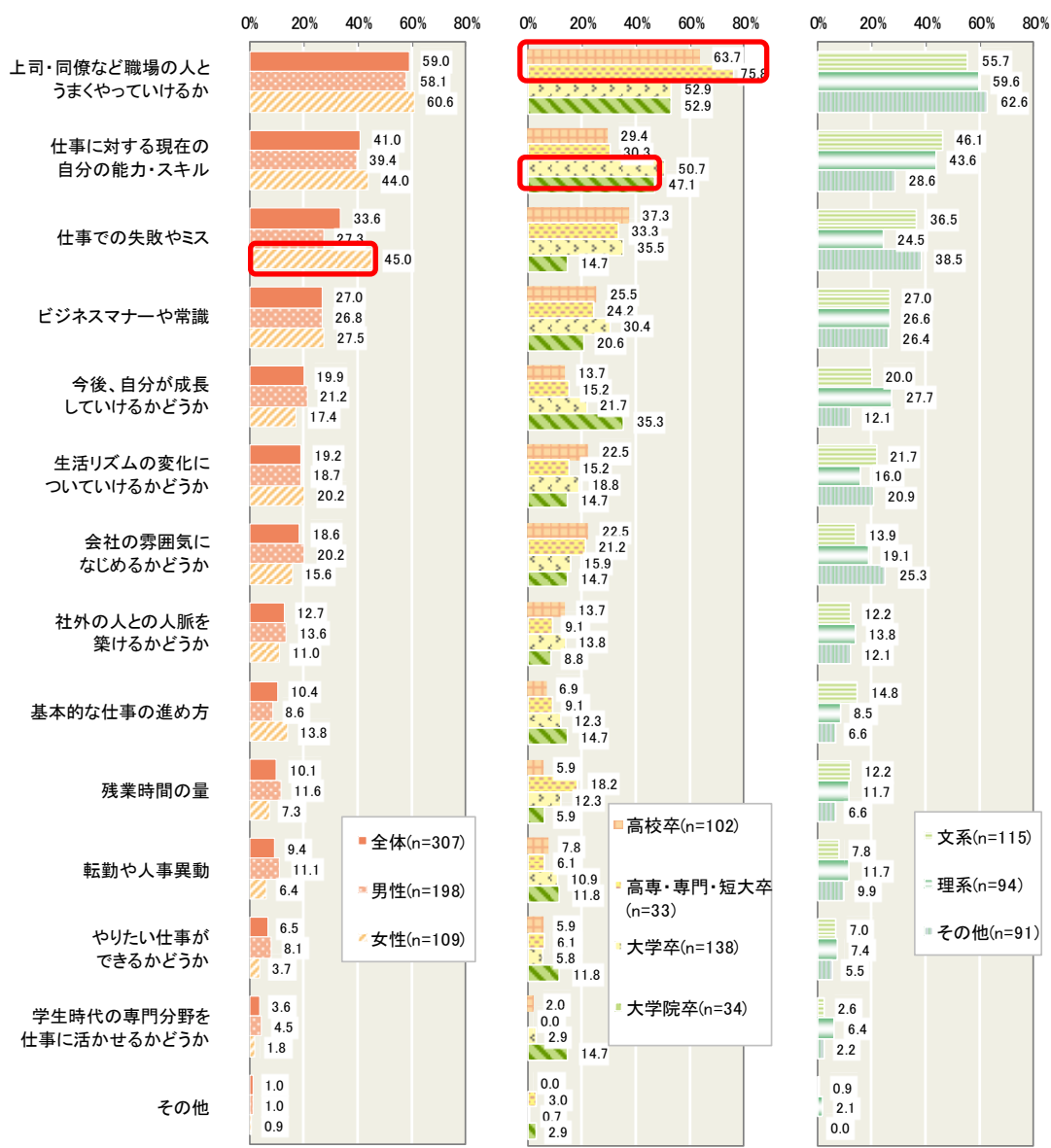
Q11.在宅勤務やシェアオフィスなどリモートな環境で働けることは重要だと思いますか。(1つだけ選択) (n=307)

4. 3 社会人としての生活について

(1) 仕事をしていく上での不安

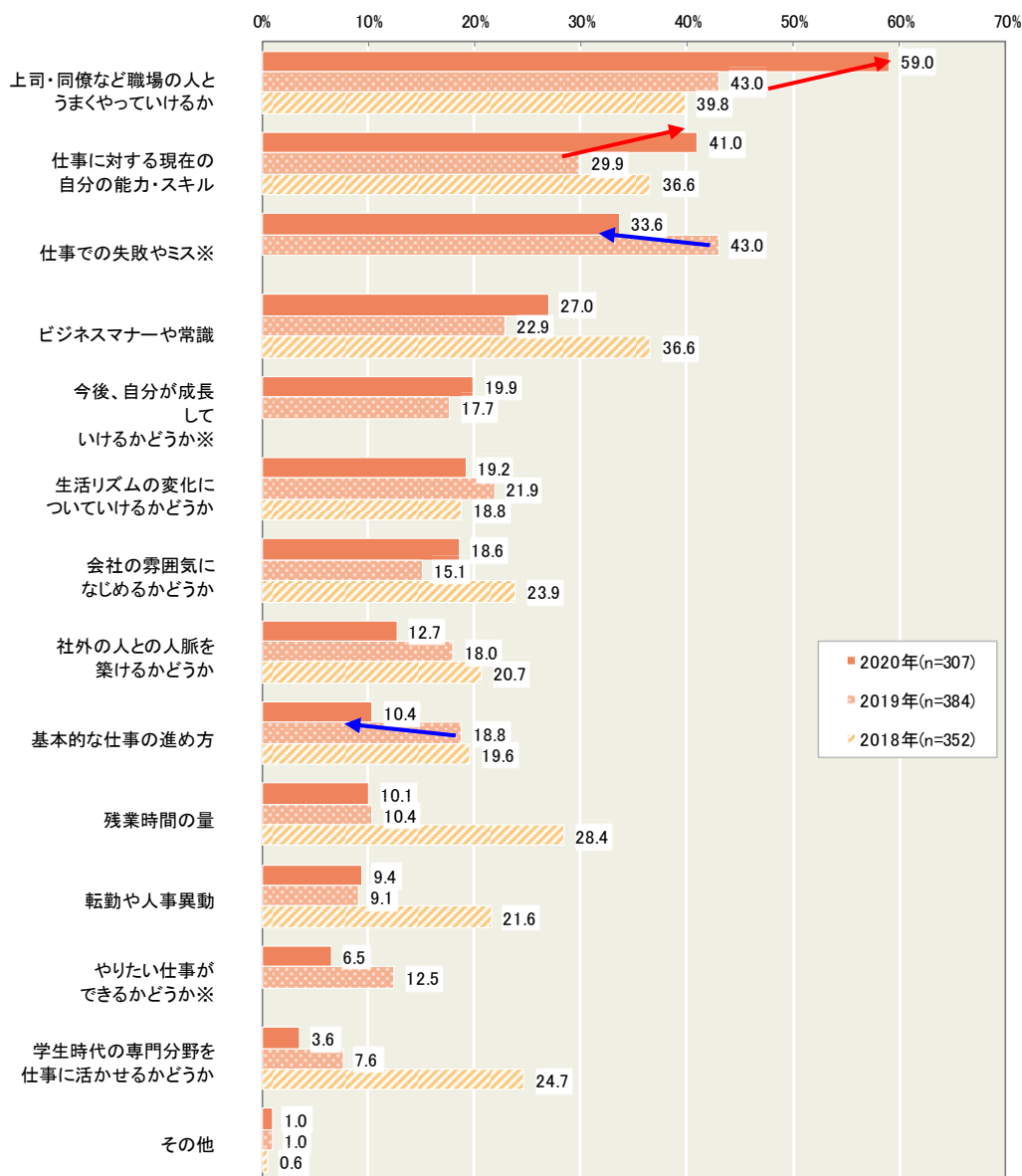
全体では、「上司・同僚など職場の人とうまくやれていけるか」が 59.0%と最も高く、「仕事に対する現在の自分の能力・スキル」が 41.0%、「仕事での失敗やミス」が 33.6%、「ビジネスマナーや常識」が 27.0%と続く。

属性別でみると、性別では、『女性』が『男性』に比べて「仕事での失敗やミス」を挙げる割合が高い。最終学歴では、『高校卒』『高専・専門・短大卒』において「上司・同僚など職場の人とうまくやれていけるか」を挙げる割合が高い。『大学卒』『大学院卒』では「仕事に対する現在の自分の能力・スキル」を挙げる割合が他と比べて高い。



Q12.これから仕事をしていく上で、どのようなことに不安がありますか。(3 つまで選択) (n=307)

時系列でみると、2019年度調査から「上司・同僚など職場の人とうまくやطيعけるか」、「仕事に対する現在の自分の能力・スキル」が高くなっている。逆に「仕事での失敗やミス」「基本的な仕事の進め方」が低くなっている。



Q12.これから仕事をしていく上で、どのようなことに不安がありますか。(3 つまで選択)

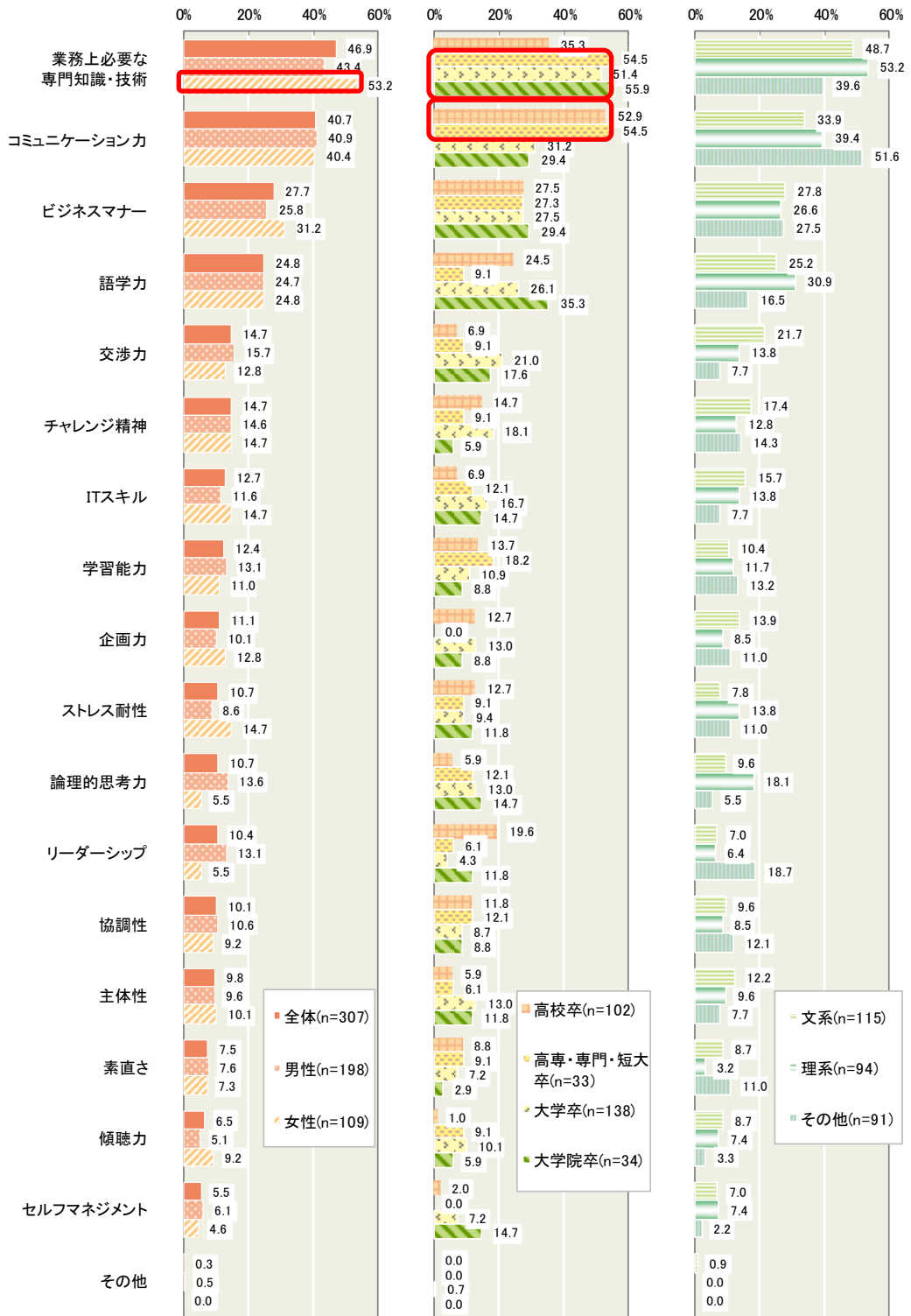
※2019年より追加した選択肢

(2) 仕事をしていく上で強化したい能力・スキル・資質

全体では、「業務上必要な専門知識・技術」が 46.9%と最も高く、「コミュニケーション力」が 40.7%、「ビジネスマナー」が 27.7%、「語学力」が 24.8%と続く。

属性別でみると、性別では『女性』が『男性』に比べて「業務上必要な専門知識・技術」を挙げる割合が高い。

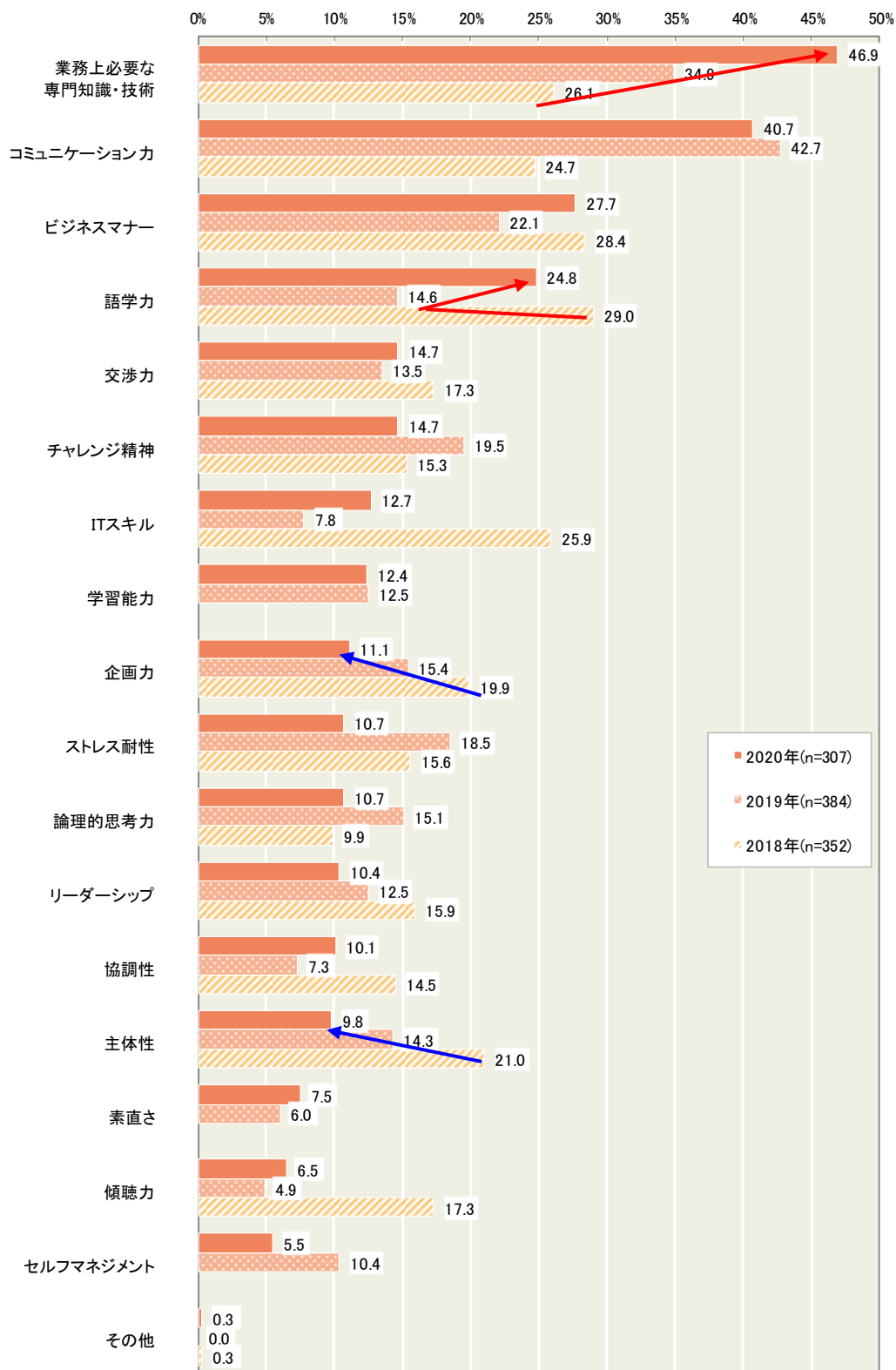
最終学歴では『高校卒』以外では「業務上必要な専門知識・技術」が TOP1 項目となっている。また『高校卒』『専門・短大卒』では、全体の TOP2 項目である「コミュニケーション力」を挙げる割合が高い。



Q13.これから仕事をしていく上で、強化したいと思う点は何ですか。(3 つまで選択) (n=307)

時系列でみると、「業務上必要な専門知識・技術」を挙げる割合が高くなっている。「語学力」については、2019年調査より増加し2018年調査と同程度となった。

逆に「企画力」「主体性」を挙げる割合が低くなっている。



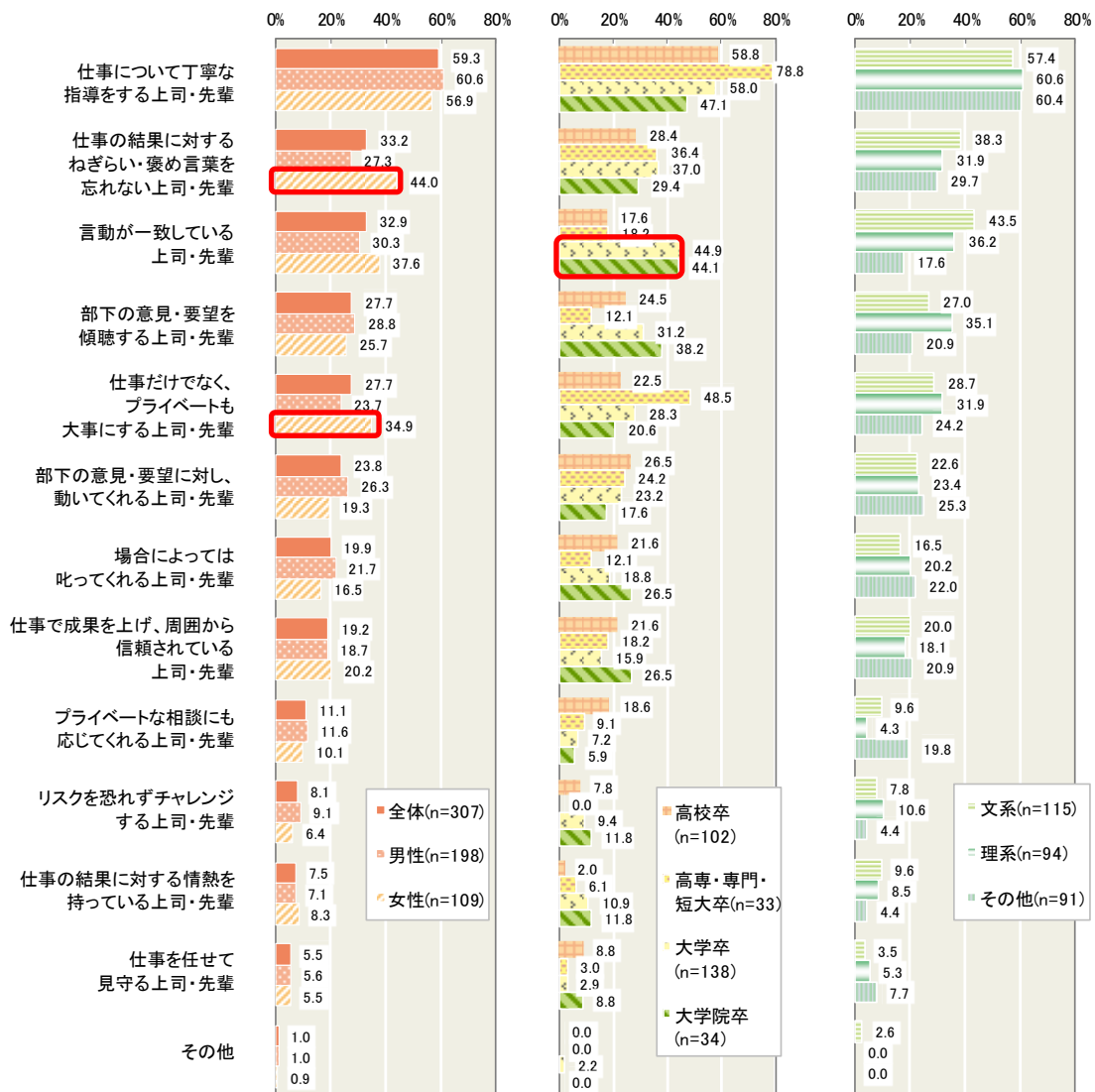
Q13.これから仕事をしていく上で、強化したいと思う点は何ですか。(3 つまで選択)

(3) 理想的だと思う上司・先輩

全体では、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」が59.3%と最も高く、「仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩」が33.2%、「言動が一致している上司・先輩」が32.9%、「部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩」と「仕事だけでなく、プライベートも大事にする上司・先輩」が27.7%と続く。

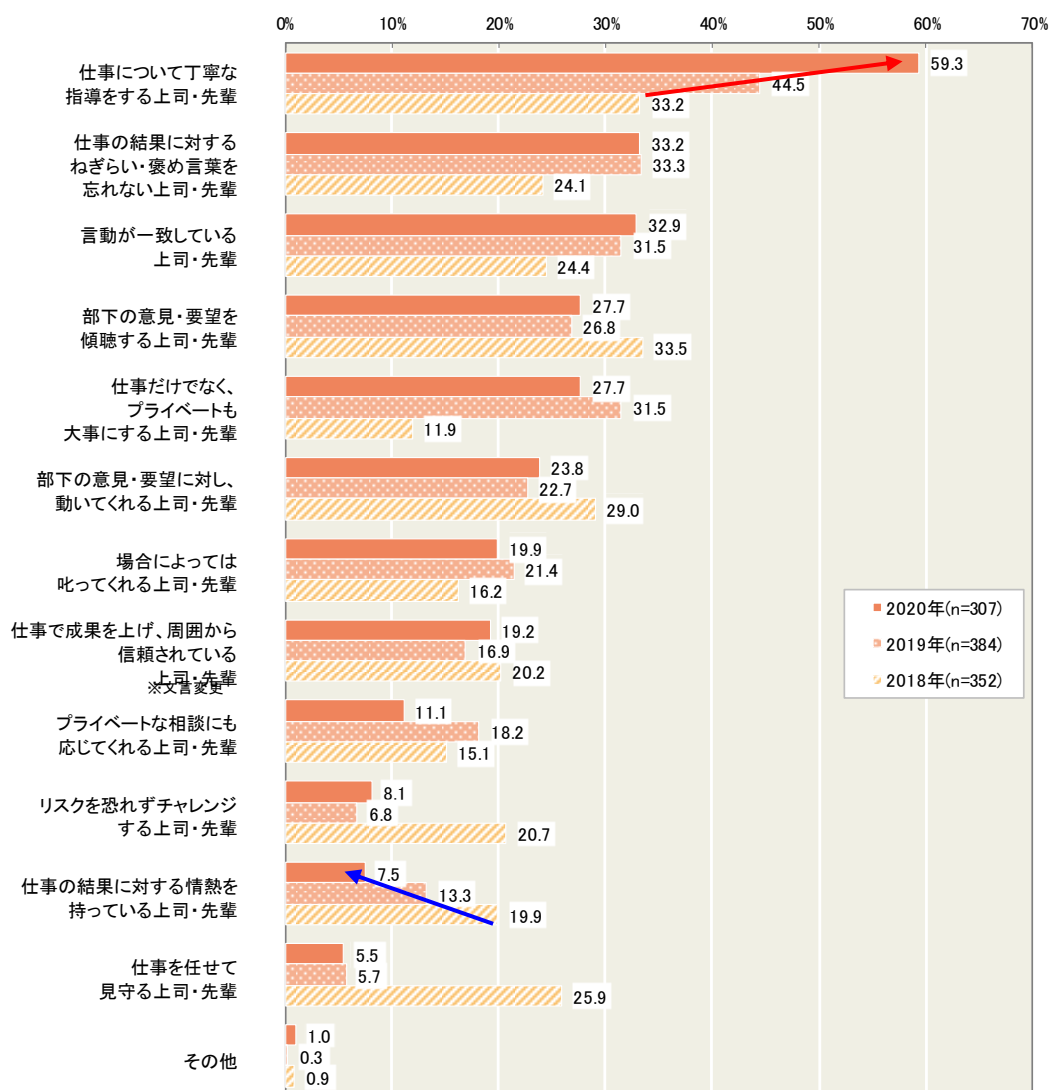
属性別でみると、性別では、『女性』が『男性』に比べて「仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩」や「仕事だけでなく、プライベートも大事にする上司・先輩」を挙げる割合が高い。

最終学歴でみると、『大学卒』『大学院卒』が『高校卒』『高専・専門・短大卒』に比べて「言動が一致している上司・先輩」を挙げる割合が高い。



Q14. 理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか。(3 つまで選択) (n=307)

時系列でみると、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」を挙げる割合が高くなった。逆に「仕事の結果に対する情熱を持っている上司・先輩」を挙げる割合は低くなっている。



Q14. 理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか。(3 つまで選択)

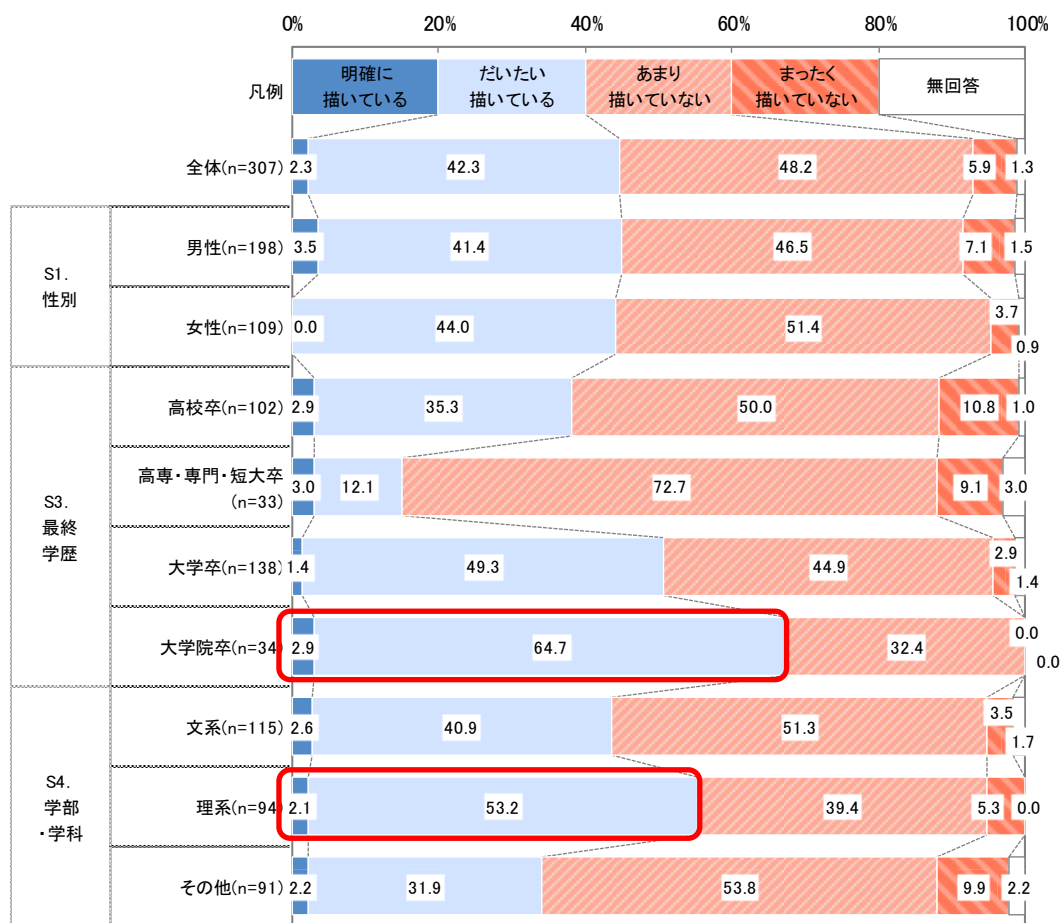
※ 2019年2018年：仕事で成果を上げ、上司から信頼されている上司・先輩

4. 4 キャリア形成や将来について

(1) 将来のキャリアのイメージの有無

全体では、将来のキャリアのイメージを【描いている】が 44.6%（「明確に描いている」(2.3%)+「だいたい描いている」(42.3%)を合算）であった。逆に、【描いていない】は 54.1%（「まったく描いていない」(5.9%)+「あまり描いていない」(48.2%)の合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『大学院卒』で【描いている】と回答する割合が 7 割弱と高くなっている。また学部・学科でも、『理系』の方が『文系』に比べて【描いている】と回答する割合が高い。

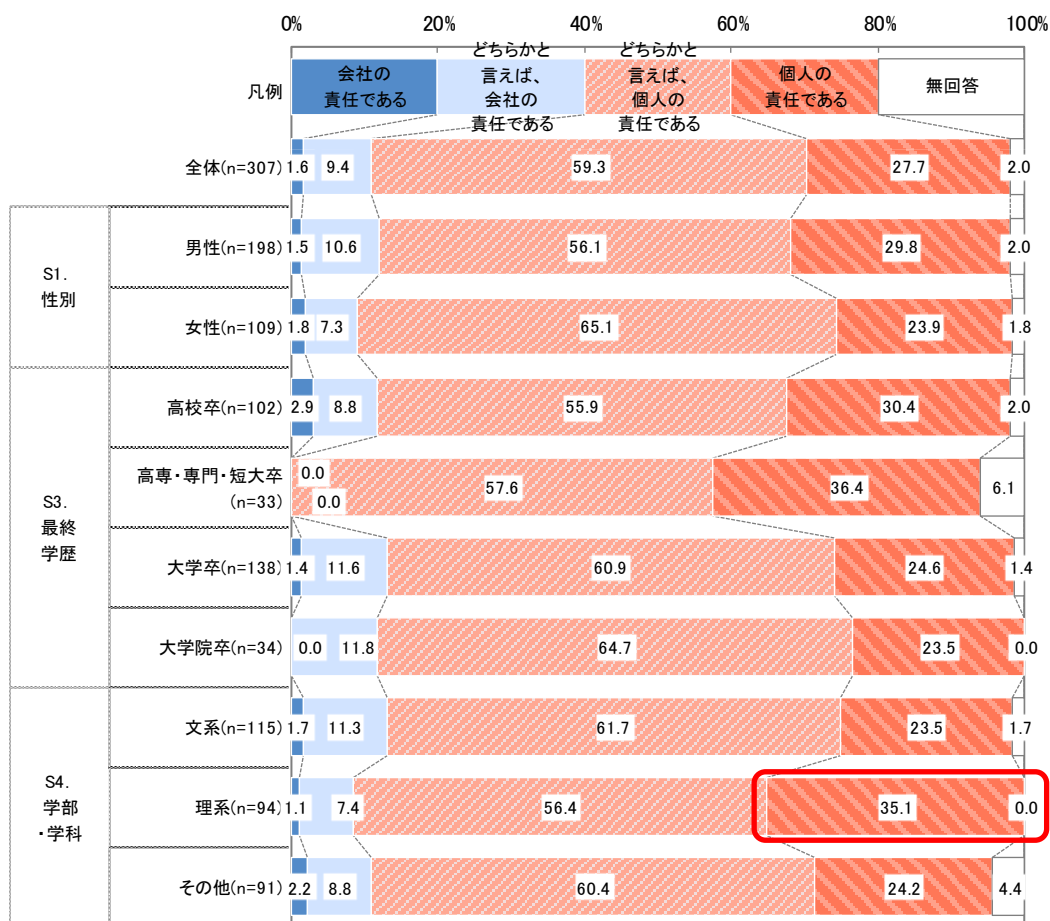


Q15.現時点において、将来のキャリアのイメージを描いていますか。(1 つだけ選択) (n=307)

(2) 仕事に必要な能力やスキルを身につけるうえでの責任の所在

全体では、仕事に必要な能力やスキルを身につけるうえでの責任の所在は【個人の責任である】が 87.0%（「個人の責任である」(27.7%)+「どちらかと言えば、個人の責任である」(59.3%)を合算）であった。

属性別でみると、学部・学科では『理系』の方が『文系』に比べて「個人の責任である」と回答する割合が高くなっている。



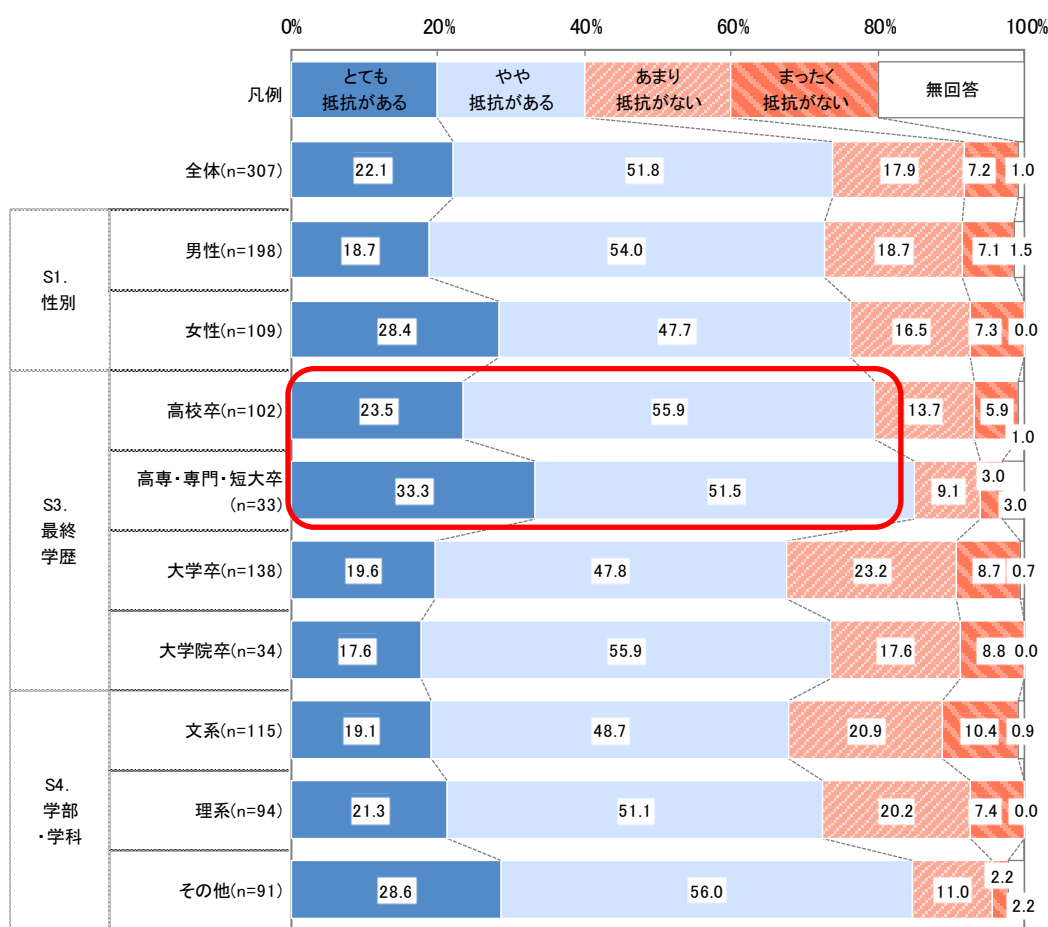
Q16.仕事に必要な能力やスキルを身につけることの責任は誰にあると思いますか。(1つだけ選択) (n=307)

(3) 抵抗なくできる事柄について

(3-1) 知らない人・取引先に電話を掛ける

全体では、知らない人・取引先に電話を掛けることに【抵抗がある】が73.9%（「とても抵抗がある」(22.1%)+「やや抵抗がある」(51.8%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『高校卒』『高専・専門・短大卒』において【抵抗がある】と回答する割合が高くなっている。

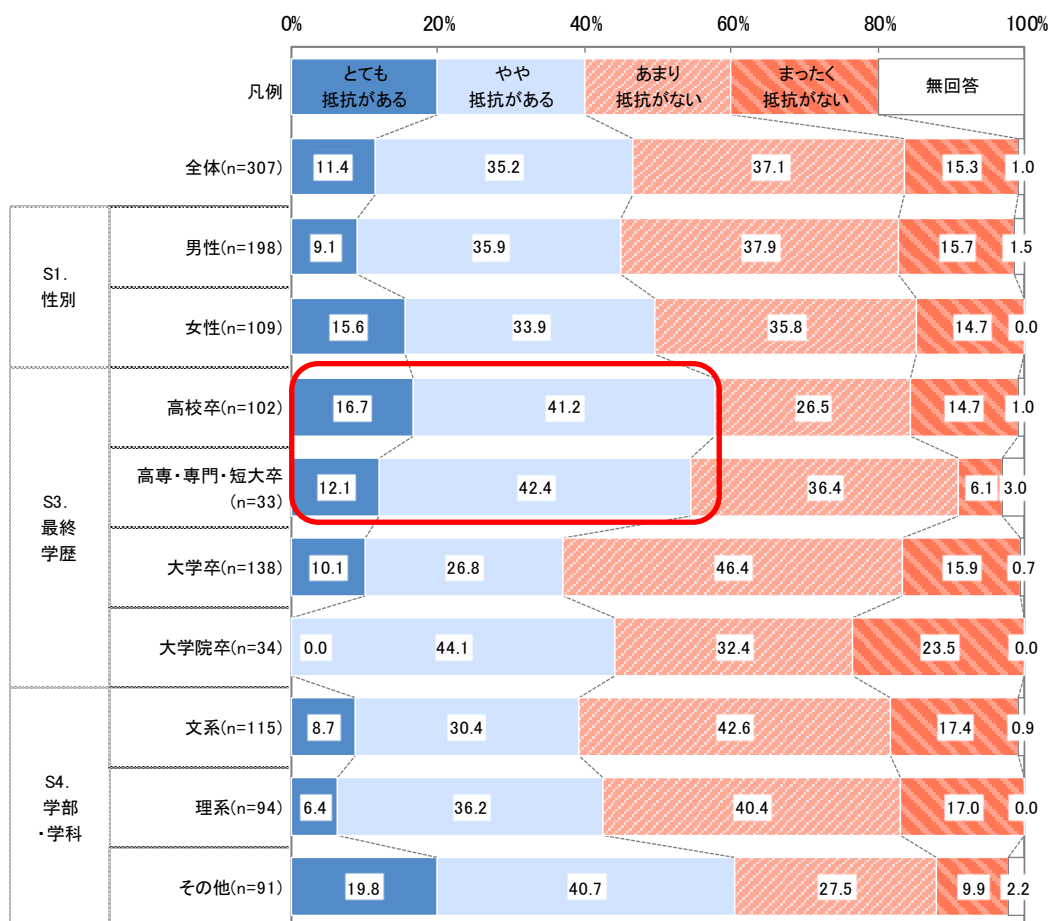


Q17.抵抗なくできる事柄について:(1) 知らない人・取引先に電話を掛ける (n=307)

(3-2) 初対面の人と雑談をする

全体では、初対面の人と雑談をすることに【抵抗がある】が46.6%（「とても抵抗がある」(11.4%)+「やや抵抗がある」(35.2%)を合算）で、【抵抗がない】が52.4%（「まったく抵抗がない」(15.3%)+「あまり抵抗がない」(37.1%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『高校卒』『高専・専門・短大卒』において【抵抗がある】と回答する割合が高くなっている。

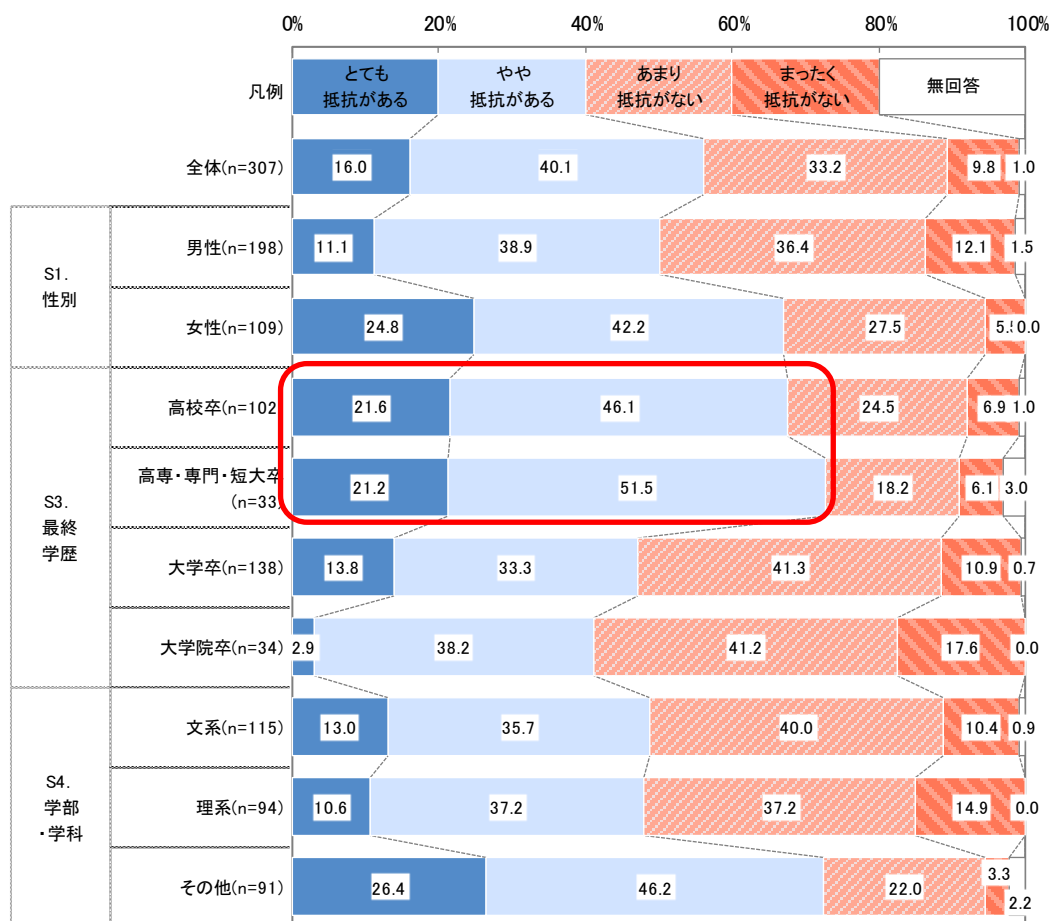


Q17.抵抗なくできる事柄について:(2) 初対面の人と雑談をする (n=307)

(3-3) 会議や打合せで自分の考えを発言する

全体では、会議や打合せで自分の考えを発言することに【抵抗がある】が56.1%（「とても抵抗がある」(16.0%)+「やや抵抗がある」(40.1%)を合算）で、【抵抗がない】が43.0%（「まったく抵抗がない」(9.8%)+「あまり抵抗がない」(33.2%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『高校卒』『高専・専門・短大卒』において【抵抗がある】と回答する割合が高い。

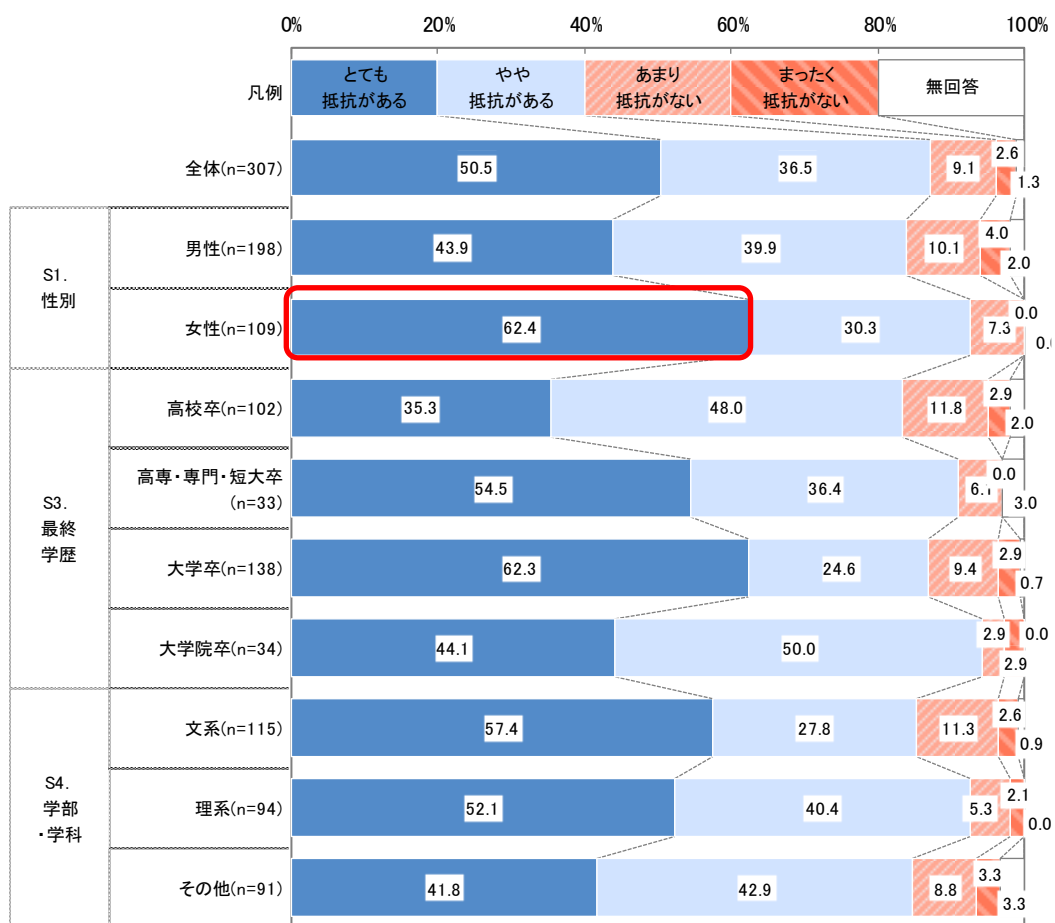


Q17. 抵抗なくできる事柄について: (3) 会議や打合せで自分の考えを発言する (n=307)

(3-4) 飛び込み営業

全体では、飛び込み営業をすることに【抵抗がある】が 87.0%（「とても抵抗がある」(50.5%)+「やや抵抗がある」(36.5%)を合算）であった。

属性別でみると、性別では『女性』が『男性』に比べて「とても抵抗がある」を挙げる割合が高い。

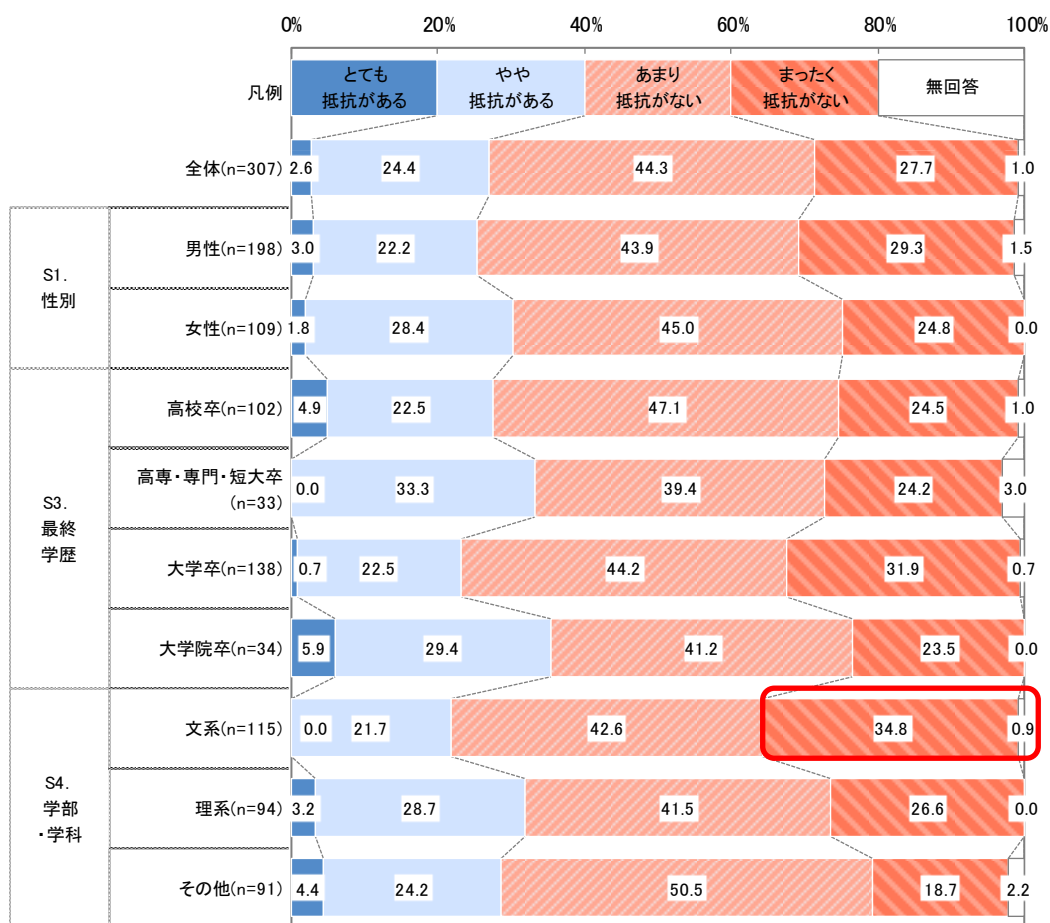


Q17.抵抗なくできる事柄について:(4) 飛び込み営業 (n=307)

(3-5) 困ったときに周囲に相談・連絡する

全体では、困ったときに周囲に相談・連絡することに【抵抗がない】が72.0%「まったく抵抗がない」(27.7%)+「あまり抵抗がない」(44.3%)を合算)であった。

属性別でみると、学部・学科では『文系』の方が『理系』に比べて「まったく抵抗がない」を挙げる割合が高い。

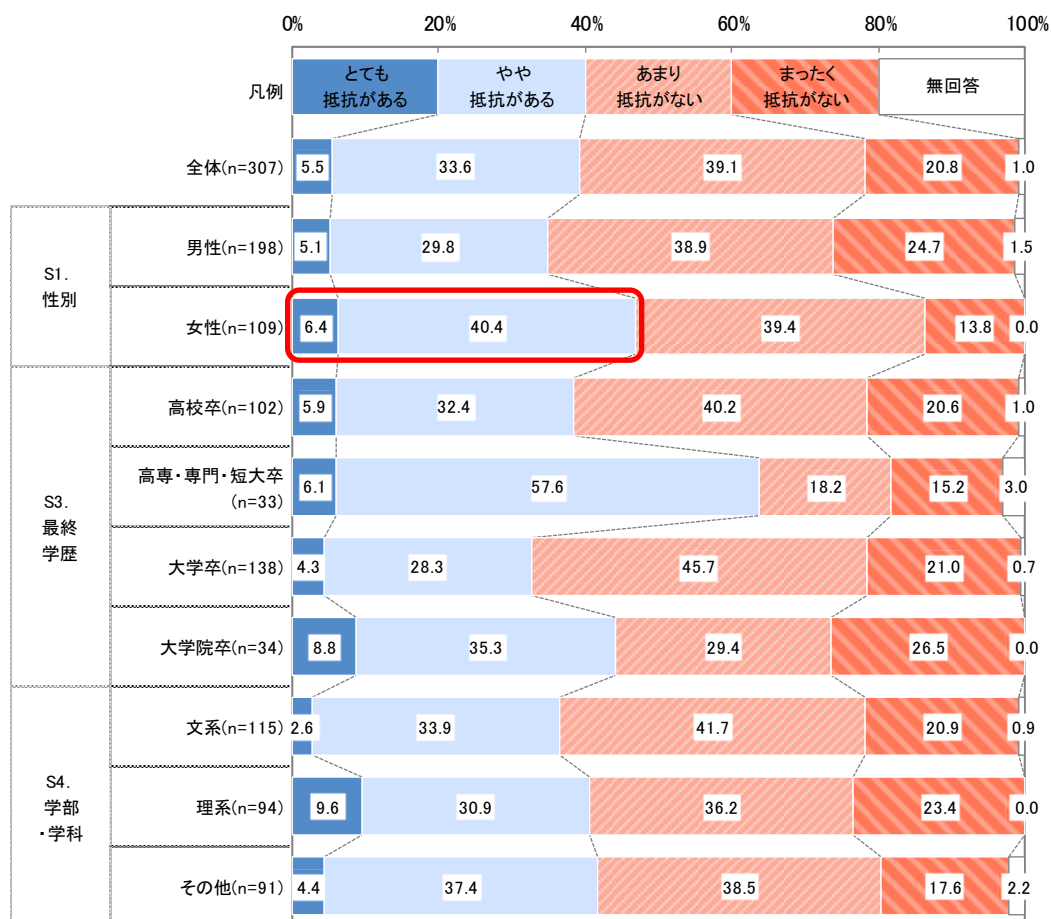


Q17.抵抗なくできる事柄について:(5) 困ったときに周囲に相談・連絡する (n=307)

(3-6) 上手くいかなかったことを報告する

全体では、上手くいかなかったことを報告することに【抵抗がある】が39.1%（「とても抵抗がある」(5.5%)+「やや抵抗がある」(33.6%)を合算）で、【抵抗がない】が59.9%（「まったく抵抗がない」(20.8%)+「あまり抵抗がない」(39.1%)を合算）であった。

属性別でみると、性別では『女性』が『男性』に比べて【抵抗がある】と回答する割合が高い。

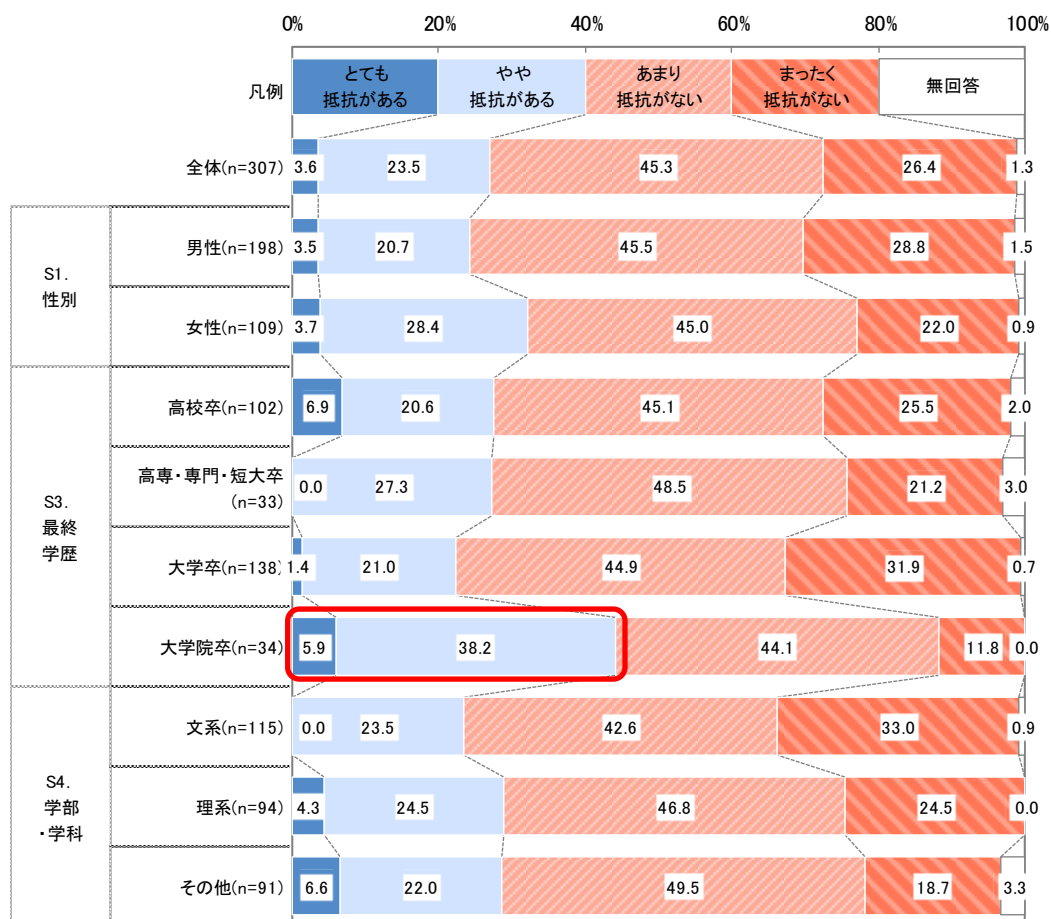


Q17.抵抗なくできる事柄について:(6) 上手くいかなかったことを報告する (n=307)

(3-7) 周囲に協力を依頼する

全体では、周囲に協力を依頼することに【抵抗がない】が71.7%（「まったく抵抗がない」(26.4%)+「あまり抵抗がない」(45.3%)を合算）で【抵抗がある】が27.1%（「とても抵抗がある」(3.6%)+「やや抵抗がある」(23.5%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『大学院卒』において【抵抗がある】と回答する割合が高くなっている。

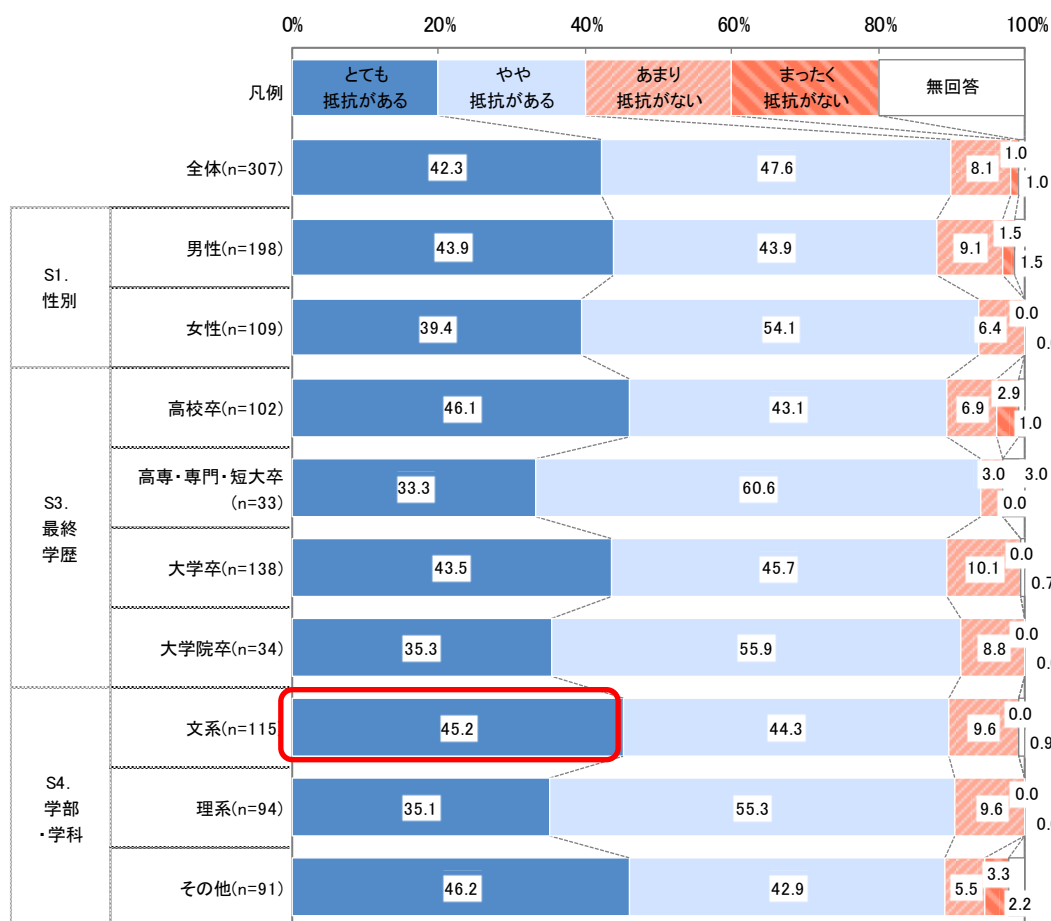


Q17.抵抗なくできる事柄について:(7) 周囲に協力を依頼する (n=307)

(3-8) 指示が曖昧なまま作業をする

全体では、指示が曖昧なまま作業することに【抵抗がある】が 89.9%（「とても抵抗がある」(42.3%)+「やや抵抗がある」(47.6%)を合算）であった。

属性別でみると、学部・学科では、『文系』の方が『理系』に比べて「とても抵抗がある」を挙げる割合が高い。

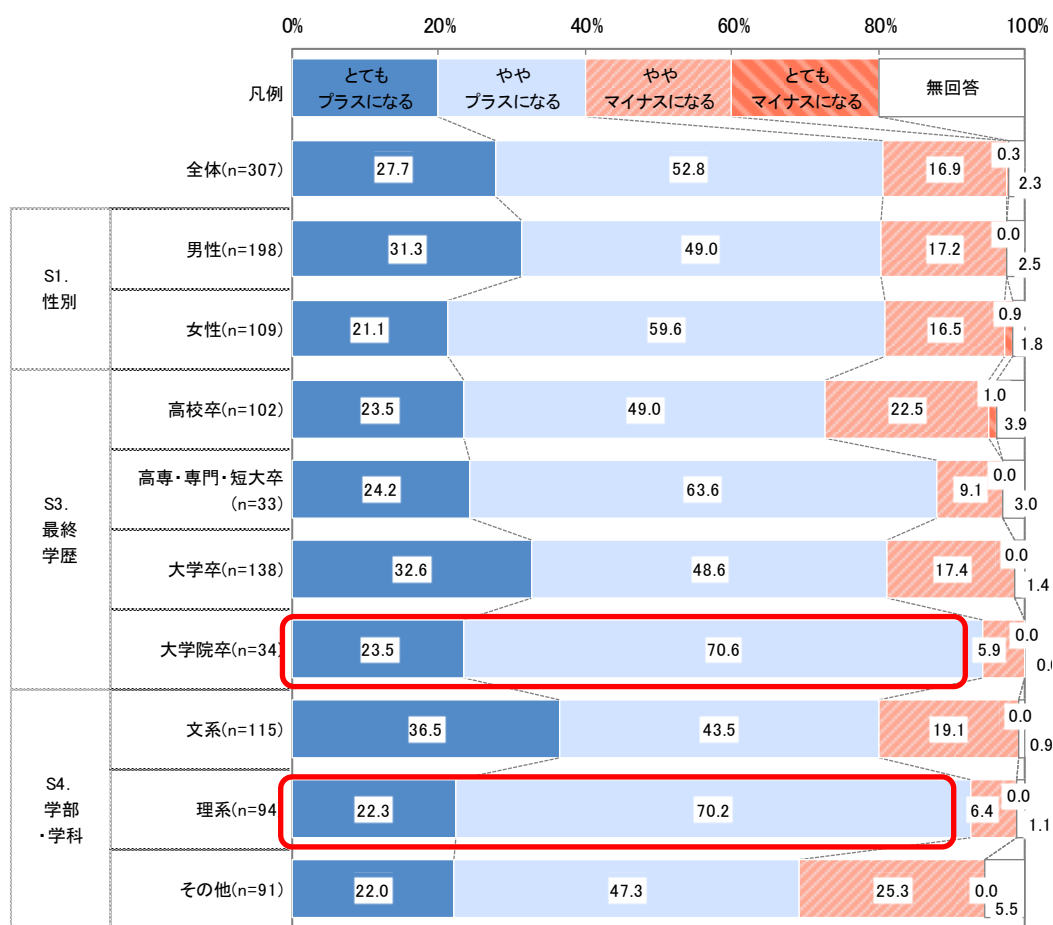


Q17. 抵抗なくできる事柄について: (8) 指示が曖昧なまま作業をする (n=307)

(4) AIをはじめとするデジタル技術の進化が職業人生にどのような影響を与えるか

全体では、AIをはじめとするデジタル技術の進化が職業人生にどのような影響を与えるかについて【プラスになる】が80.5%（「とてもプラスになる」(27.7%)+「ややプラスになる」(52.8%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『大学院卒』では【プラスになる】と回答する割合が高い。また学部・学科では、『理系』の方が『文系』に比べて【プラスになる】と回答する割合が高い。

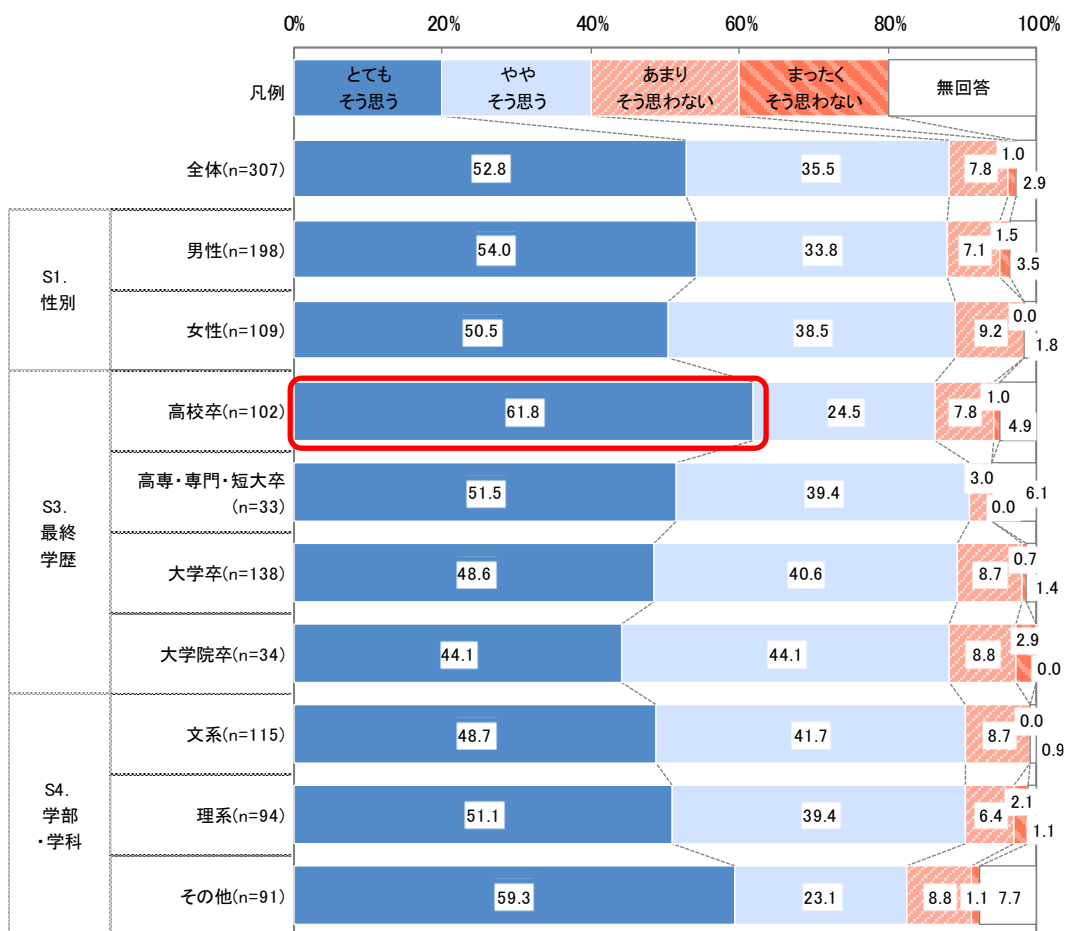


Q18.AIをはじめとするデジタル技術の進化は、あなたご自身のこれからの職業人生にとって、どのように影響すると思いますか。
(1つだけ選択) (n=307)

(5) 就業した会社が30年先も存続しているか

全体では、就業した会社が30年先も存続しているかについて【**そう思う**】が88.3%（「とてもそう思う」(52.8%)+「ややそう思う」(35.5%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『**高校卒**』で「とてもそう思う」を挙げる割合が高い。



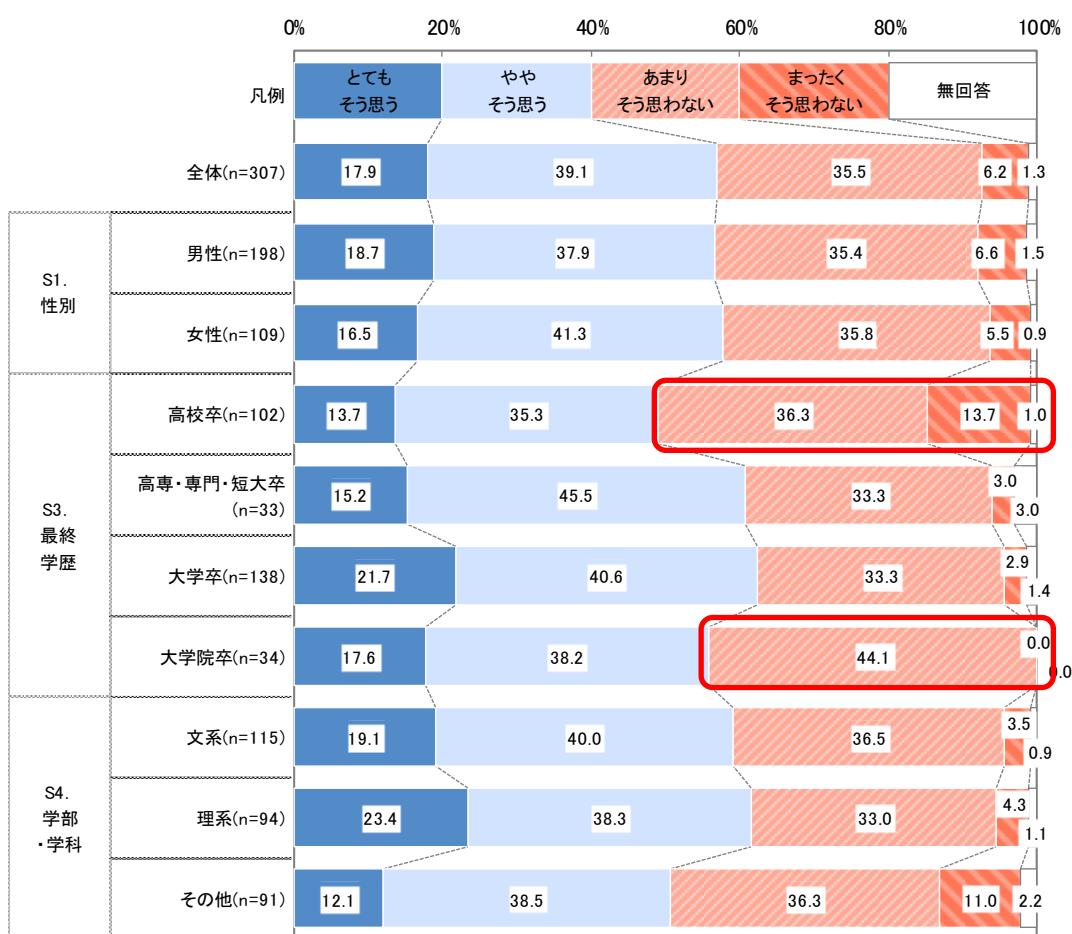
Q19.あなたが就職した会社は、30年先も存続していると思いますか。(1つだけ選択) (n=307)

(6) 転職を考えるシチュエーション

(6-1) キャリアアップ・自己成長の限界を感じたとき

全体では、キャリアアップ・自己成長の限界を感じたときに【**そう思う**】が57.0%（「とてもそう思う」(17.9%)+「ややそう思う」(39.1%)を合算）で、【**そう思わない**】が41.7%（「まったくそう思わない」(6.2%)+「あまりそう思わない」(35.5%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『高校卒』『大学院卒』で【**そう思わない**】と回答する割合が高い。

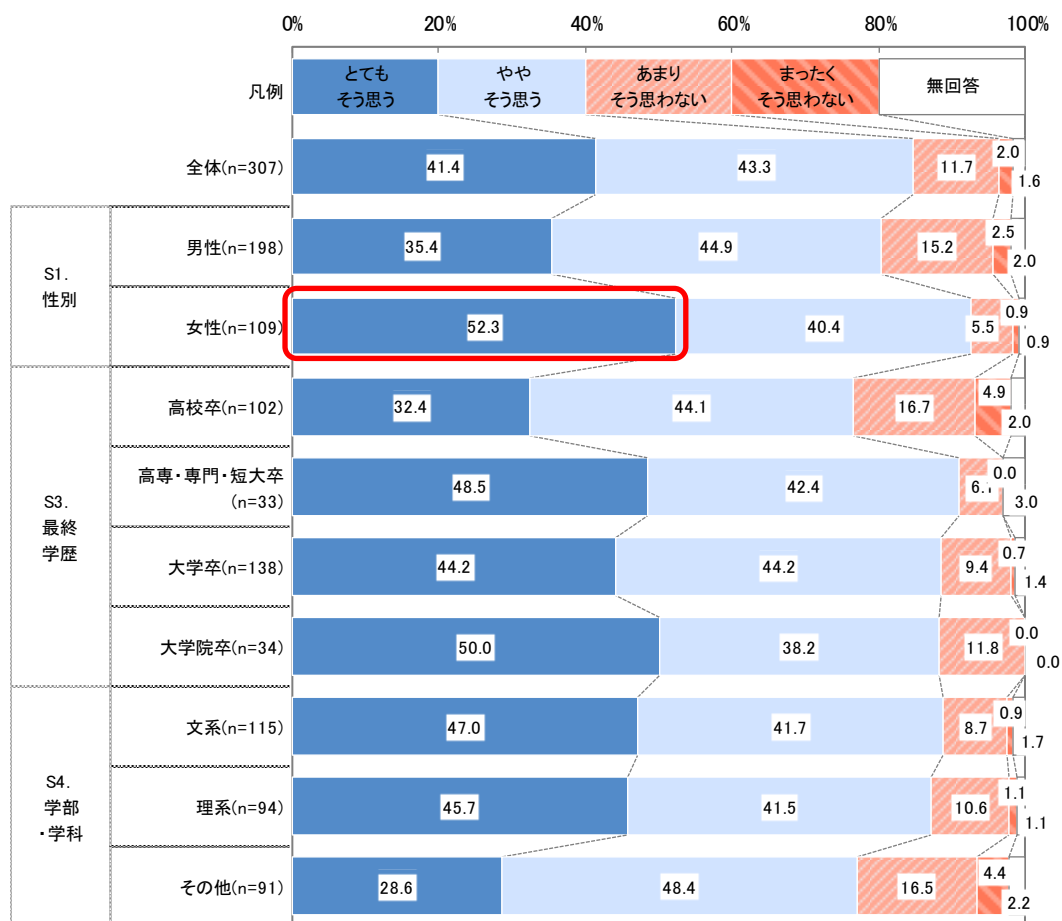


Q20.転職を考えるシチュエーションについて:(1) キャリアアップ・自己成長の限界を感じたとき (n=307)

(6-2) 職場の人間関係が悪いとき

全体では、職場の人間関係が悪いときに【**そう思う**】が 84.7%（「とてもそう思う」(41.4%)+「ややそう思う」(43.3%)を合算）であった。

属性別でみると、性別では、『女性』が『男性』に比べて「とてもそう思う」を挙げる割合が高い。

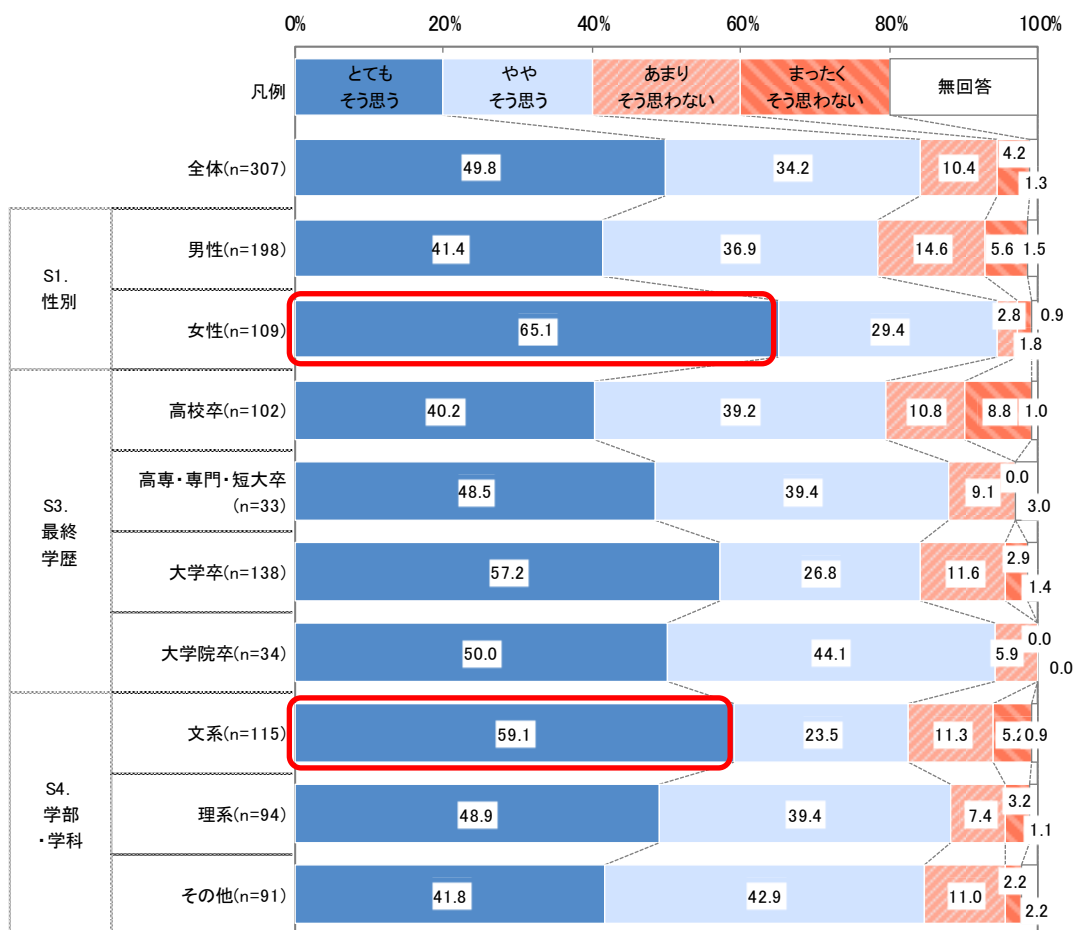


Q20. 転職を考えるシチュエーションについて: (2) 職場の人間関係が悪いとき (n=307)

(6-3) パワハラやセクハラにあったとき

全体では、パワハラやセクハラにあったときに【**そう思う**】が 84.0%（「とてもそう思う」(49.8%)+「ややそう思う」(34.2%)を合算）であった。

属性別でみると、性別では、『女性』が『男性』に比べて「とてもそう思う」を挙げる割合が高い。学部・学科では、『文系』の方が『理系』に比べて「とてもそう思う」を挙げる割合が高い。

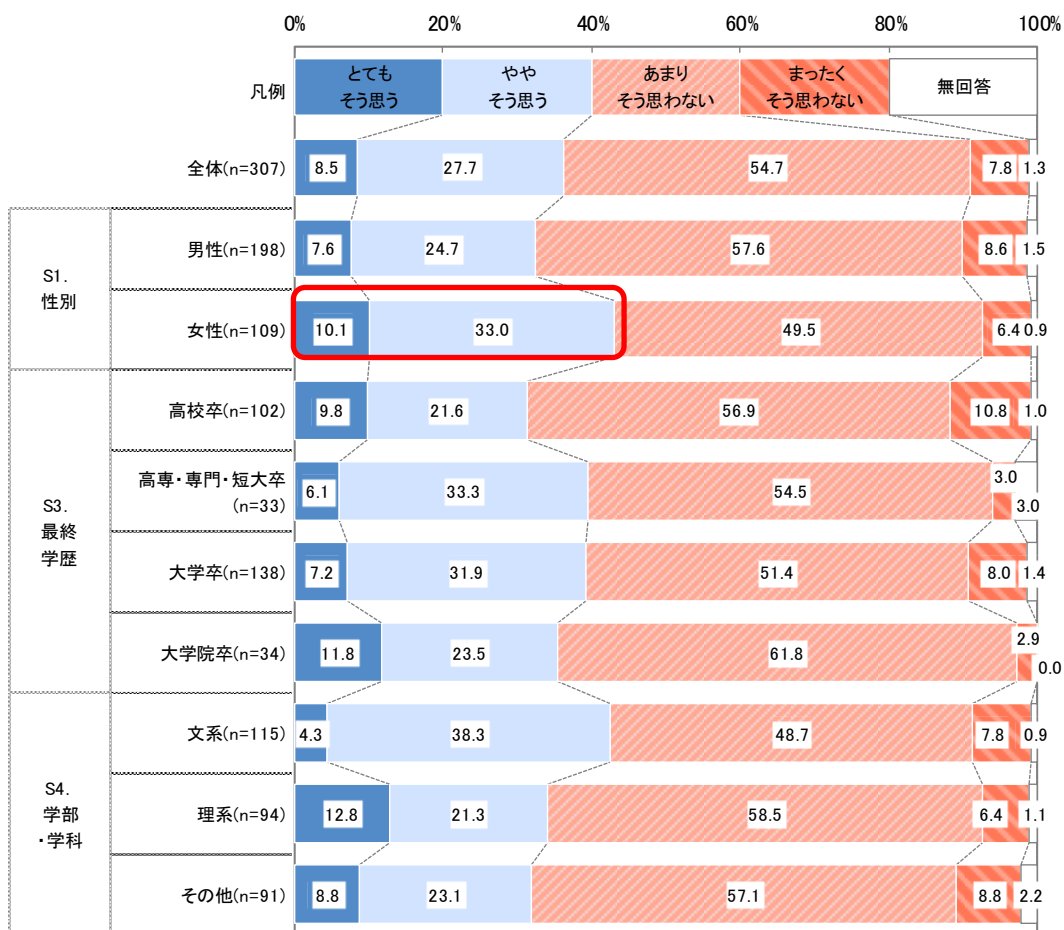


Q20. 転職を考えるシチュエーションについて:(3) パワハラやセクハラにあったとき (n=307)

(6-4) やりたいと思っていた業務が出来なかったとき

全体では、やりたいと思っていた業務が出来なかったときに【**そう思う**】が36.2%（「とてもそう思う」(8.5%)+「ややそう思う」(27.7%)を合算）で、【**そう思わない**】が62.5%（「まったくそう思わない」(7.8%)+「あまりそう思わない」(54.7%)を合算）であった。

属性別でみると、性別では『女性』が『男性』に比べて【**そう思う**】と回答する割合が高い。

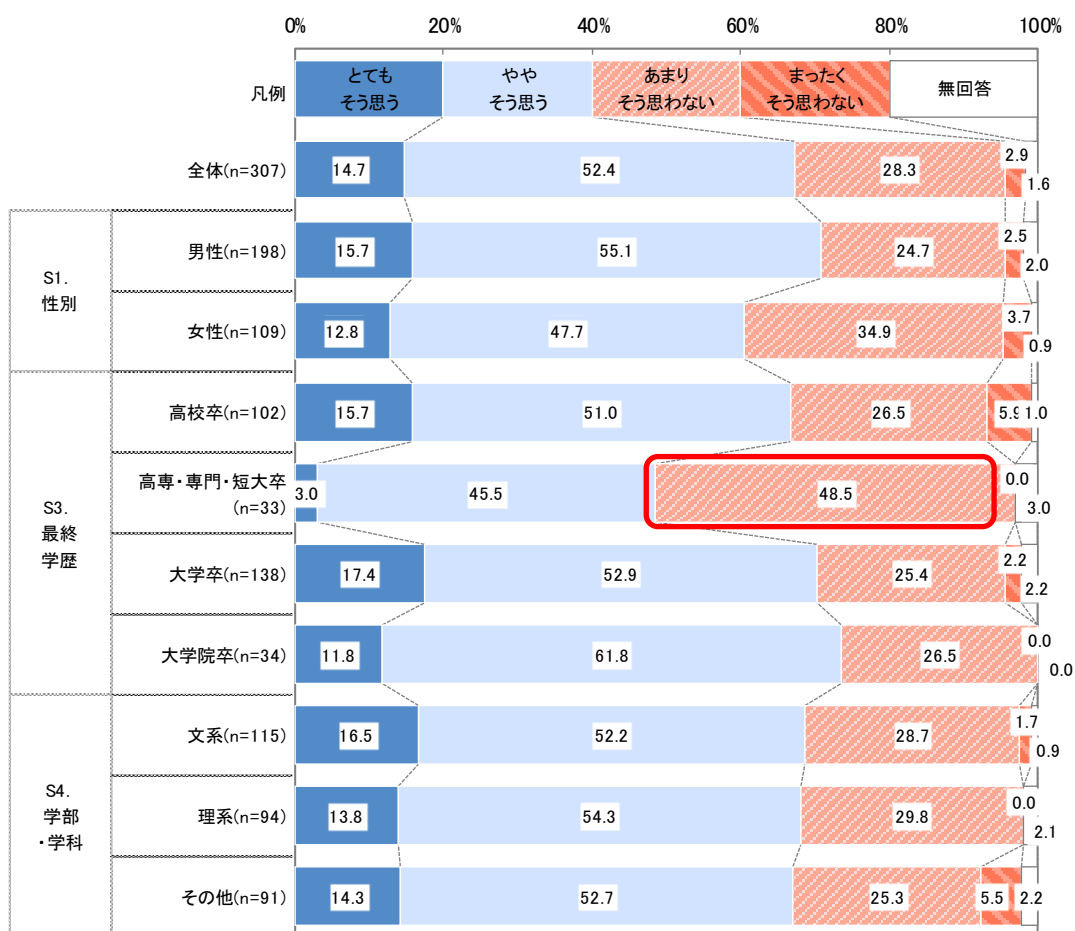


Q20. 転職を考えるシチュエーションについて：(4) やりたいと思っていた業務が出来なかったとき (n=307)

(6-5) 昇給が見込めないとき

全体では、昇給が見込めないときに【**そう思う**】が67.1%（「とてもそう思う」(14.7%)+「ややそう思う」(52.4%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では『高専・専門・短大』が【**そう思わない**】と回答する割合が高い。

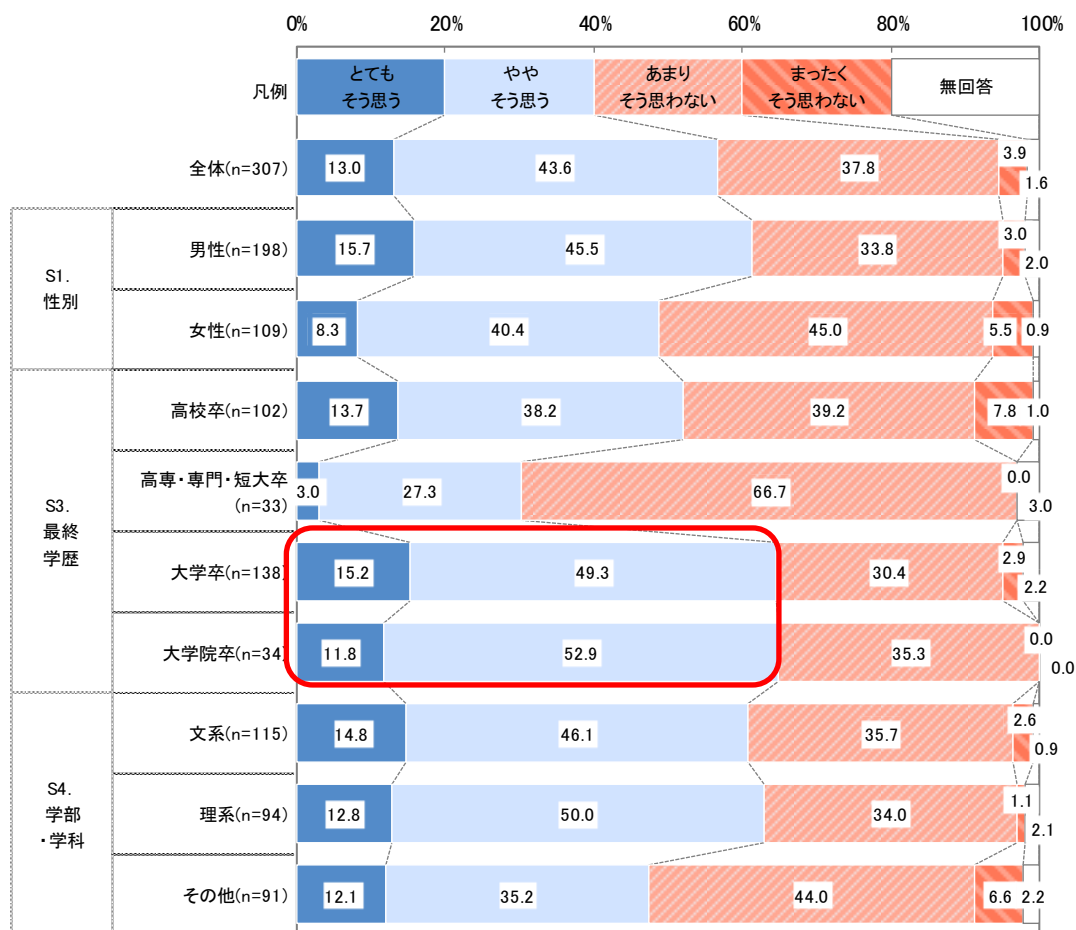


Q20.転職を考えるシチュエーションについて:(5) 昇給が見込めないとき (n=307)

(6-6) 昇進が見込めないとき

全体では、昇進が見込めないときに【**そう思う**】が 56.6%（「とてもそう思う」(13.0%)+「ややそう思う」(43.6%)を合算）で、【**そう思わない**】が 41.7%（「まったくそう思わない」(37.8%)+「あまりそう思わない」(3.9%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『大学卒』『大学院卒』で【**そう思う**】と回答する割合が高い。

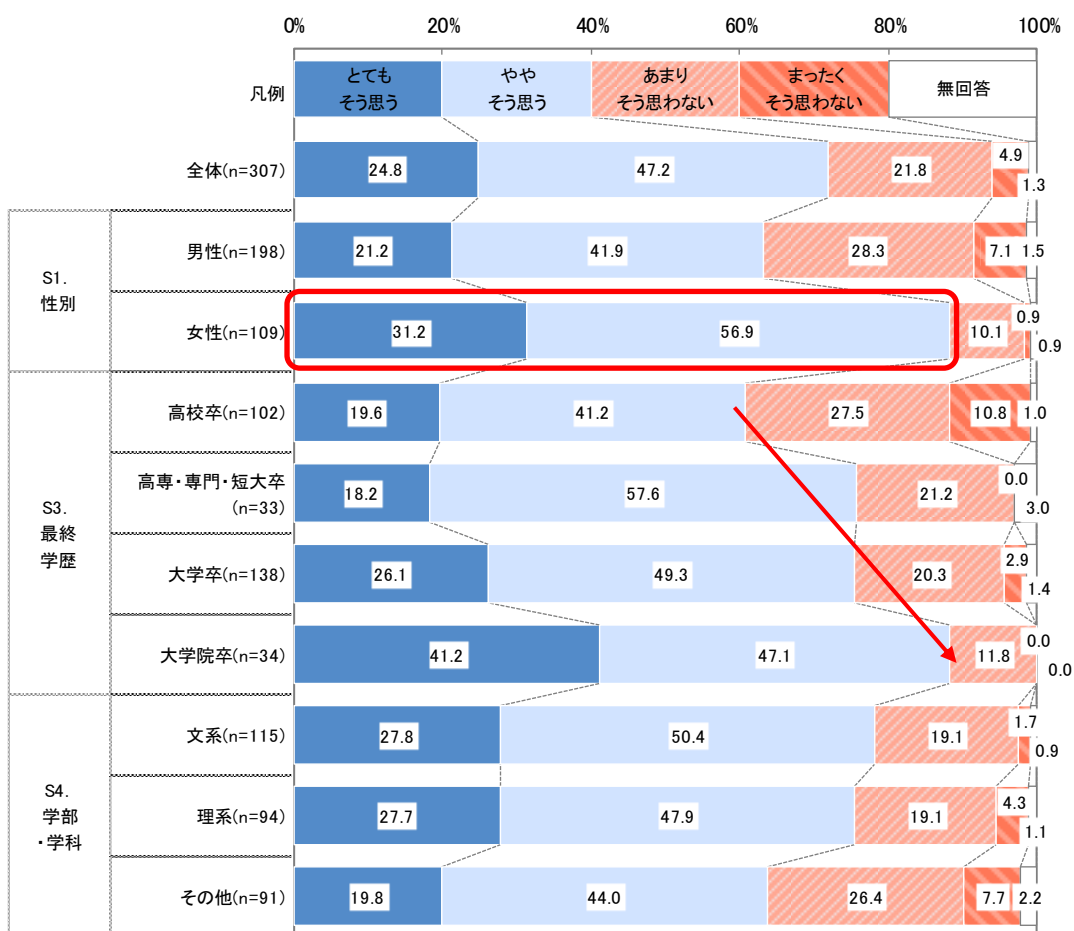


Q20. 転職を考えるシチュエーションについて:(6) 昇進が見込めないとき (n=307)

(6-7) 社風や企業文化が自分に合わないと感じたとき

全体では、社風や企業文化が自分に合わないと感じたときに【そう思う】が72.0%（「とてもそう思う」(24.8%)+「ややそう思う」(47.2%)を合算）であった。

属性別でみると、性別では『女性』が『男性』に比べて【そう思う】と回答する割合が高い。また最終学歴では、学歴が高くなるにつれ【そう思う】と回答する割合が高い。

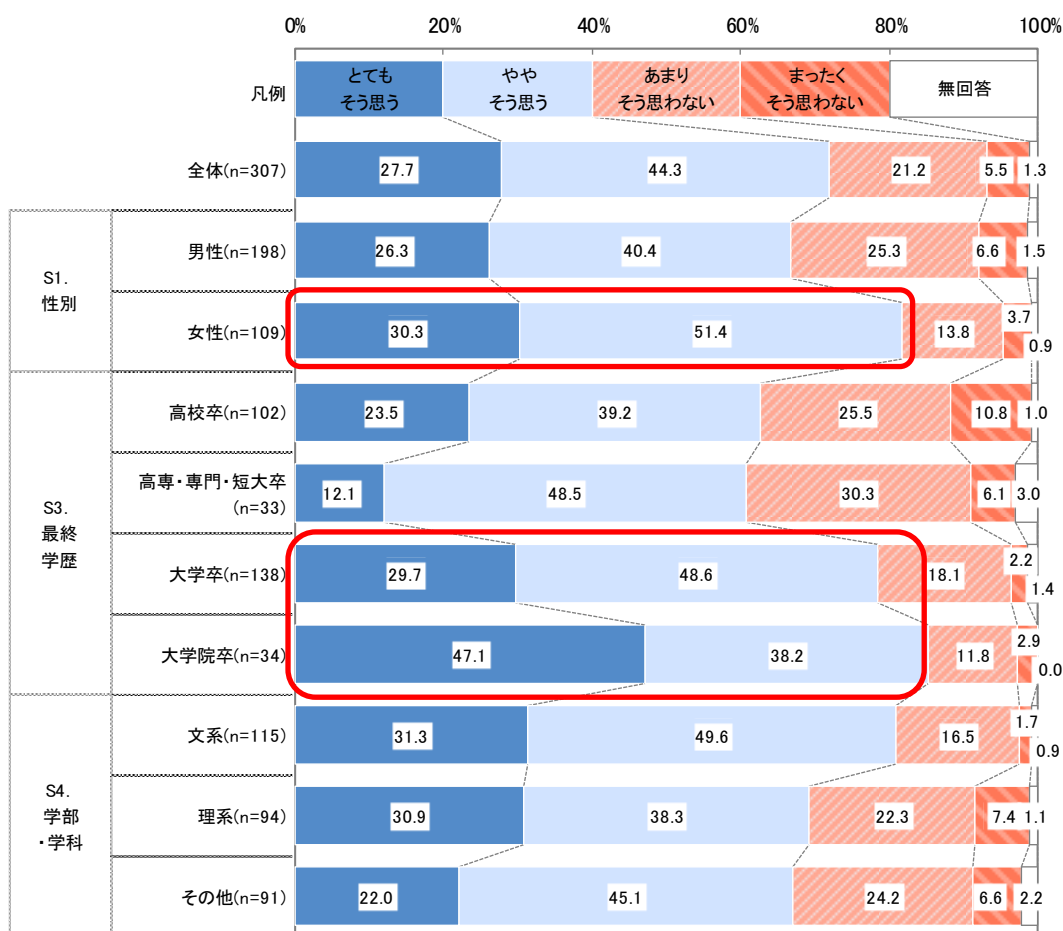


Q20.転職を考えるシチュエーションについて:(7) 社風や企業文化が自分に合わないと感じたとき (n=307)

(6-8) 会社の将来性が見込めなくなったとき

全体では、会社の将来性が見込めなくなったときに【**そう思う**】が72.0%（「とてもそう思う」(27.7%)+「ややそう思う」(44.3%)を合算）であった。

属性別でみると、性別では『女性』が『男性』に比べて【**そう思う**】と回答する割合が高い。また最終学歴では、『大学卒』『大学院卒』で【**そう思う**】と回答する割合が高い。

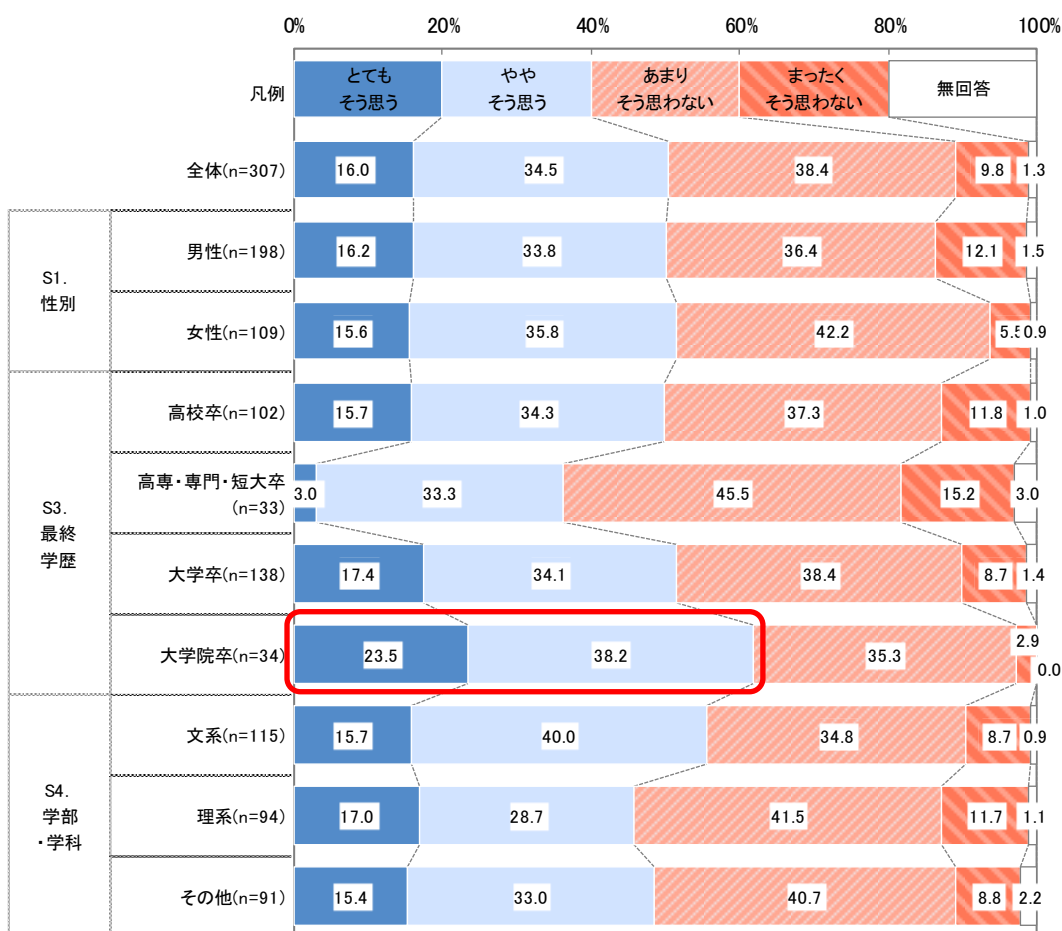


Q20.転職を考えるシチュエーションについて:(8) 会社の将来性が見込めなくなったとき (n=307)

(6-9) 会社が社会の役に立っていないと感じるとき

全体では、会社が社会の役に立っていないと感じるときに【**そう思う**】が50.5%（「とてもそう思う」(16.0%)+「ややそう思う」(34.5%)を合算）で、【**そう思わない**】が48.2%（「まったくそう思わない」(9.8%)+「あまりそう思わない」(38.4%)を合算）であった。

属性別でみると、最終学歴では、『大学院卒』で【**そう思う**】と回答する割合が高い。



Q20.転職を考えるシチュエーションについて:(9) 会社が社会の役に立っていないと感じるとき (n=307)

(7) 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何か

全体では、「新」(30人)「挑」(28人)「学」(18人)が上位に挙げられている。

属性別で見ると、『男性』では「新」「挑」「学」が、『女性』では「挑」「新」「不」がTOP3となっている。

| | 男性 | 女性 | 全体 |
|----|-----|-----|-----|
| 合計 | 183 | 101 | 284 |
| 新 | 18 | 12 | 30 |
| 挑 | 13 | 15 | 28 |
| 学 | 14 | 4 | 18 |
| 進 | 12 | 2 | 14 |
| 努 | 6 | 5 | 11 |
| 気 | 6 | 1 | 7 |
| 頑 | 4 | 2 | 6 |
| 生 | 4 | 2 | 6 |
| 不 | 0 | 6 | 6 |
| 楽 | 2 | 3 | 5 |
| 成 | 5 | 0 | 5 |
| 一 | 1 | 3 | 4 |
| 改 | 2 | 2 | 4 |
| 明 | 2 | 2 | 4 |
| 慣 | 3 | 0 | 3 |
| 行 | 2 | 1 | 3 |
| 初 | 2 | 1 | 3 |
| 心 | 2 | 1 | 3 |
| 知 | 1 | 2 | 3 |
| 転 | 3 | 0 | 3 |
| 怖 | 1 | 2 | 3 |
| 迷 | 3 | 0 | 3 |

| |
|----|
| 1位 |
| 2位 |
| 3位 |

Q21. 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何ですか。

漢字1文字ご記入ください。

※3人以上から回答があったものを抜粋

就職活動から入社するまでの意識について伺います。

Q1. あなたは会社を選ぶ際に、どこから情報を収集していましたか。

(あてはまるものを全て選択)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 企業の公式ホームページ | 9. 口コミサイト |
| 2. 会社説明会 | 10. キャリアセンター |
| 3. 企業パンフレット | 11. 学校の教員 |
| 4. テレビ | 12. 友達 |
| 5. 新聞 | 13. 家族 |
| 6. 企業情報誌 | 14. 就活を経験した在学中の先輩 |
| 7. SNS | 15. 社会人になっている先輩 |
| 8. 就職・転職サイト | 16. その他 () |

Q2. あなたは会社を選ぶ際に、どこからの情報を信頼していましたか。

(上位3つを選択)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 企業の公式ホームページ | 9. 口コミサイト |
| 2. 会社説明会 | 10. キャリアセンター |
| 3. 企業パンフレット | 11. 学校の教員 |
| 4. テレビ | 12. 友達 |
| 5. 新聞 | 13. 家族 |
| 6. 企業情報誌 | 14. 就活を経験した在学中の先輩 |
| 7. SNS | 15. 社会人になっている先輩 |
| 8. 就職・転職サイト | 16. その他 () |

Q3. 就職活動でアピールした自分の強みは何ですか。(3つまで選択)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 語学力 | 10. チャレンジ精神 |
| 2. IT スキル | 11. 主体性 |
| 3. ビジネスマナー | 12. 傾聴力 |
| 4. 業務上必要な専門知識・技術 | 13. ストレス耐性 |
| 5. 企画力 | 14. 論理的思考力 |
| 6. コミュニケーション力 | 15. 素直さ |
| 7. 交渉力 | 16. セルフマネジメント |
| 8. リーダーシップ | 17. 学習能力(他者や経験から学ぶ力) |
| 9. 協調性 | 18. その他 () |

Q4. あなたが就職先として今の会社を選ぶ決め手になったことは何ですか。

(3つまで選択)

あなた自身の仕事・働くことへの考えを伺います。

Q5. あなたの仕事・働き方に対する考えは、AとBのどちらに近いですか。

(各項目1つずつ選択)

- | | |
|-----|--|
| 5-1 | A) 一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい B) いろいろな業務を経験し、仕事の幅を広げたい |
| 5-2 | A) 定年まで一つの会社に勤めたい B) 機会があれば転職・独立したい |
| 5-3 | A) 副業・兼業をやってみたい B) 副業・兼業をやりたくない |
| 5-4 | A) プライベートを優先したい B) 仕事を優先したい |

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. Aに近い | 3. どちらかというともBに近い |
| 2. どちらかというともAに近い | 4. Bに近い |

Q6. あなたが働きたい職場は、AとBのどちらに近いですか。(各項目1つだけ選択)

- | | |
|-----|--|
| 6-1 | A) 個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場 B) 競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場 |
| 6-2 | A) チームワークを重視する職場 B) 個人の裁量に任せられる職場 |
| 6-3 | A) 仕事以外のことも相談できる職場 B) 個人的なことにはあまり触れない職場 |
| 6-4 | A) 働いた仕事の「量」で評価される職場 B) 働いた仕事の「質」で評価される職場 |

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. Aに近い | 3. どちらかというともBに近い |
| 2. どちらかというともAに近い | 4. Bに近い |

Q7. あなたの全般的なコミュニケーションの取り方は、AとBのどちらに近いですか。
(各項目1つだけ選択)

- | | |
|-----|---|
| 7-1 | A) 本音を率直に言う B) 相手に気を遣って言葉を選ぶ |
| 7-2 | A) 気心の知れた人と深く付き合う B) 広く様々な人と関わりをもつ |
| 7-3 | A) メールやチャットツールなどを使って連絡する B) 電話や対面で直接話をする |

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. Aに近い | 3. どちらかというともBに近い |
| 2. どちらかというともAに近い | 4. Bに近い |

Q8. あなた自身の働く目的は何ですか。お金を得ること以外でお答えください。
(3つまで選択)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 仕事を通じてやりがいや充実感を得ること | 7. お客様の役に立つこと |
| 2. 社会の役に立つこと | 8. 会社の役に立つこと |
| 3. 周囲に認められ、地位を得ること | 9. 親を安心させるため |
| 4. 自分の能力を高めること | 10. その他 () |
| 5. いろいろな人に出会うこと | |
| 6. 仕事を通じて新しいことにチャレンジすること | |

Q9. あなたは、働いている会社が社会の役に立っているかどうか、どの程度重要だと思いますか。(1つだけ選択)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. とても重要である | 3. あまり重要ではない |
| 2. やや重要である | 4. まったく重要ではない |

Q10. あなたが働くときの服装として、ビジネススーツではなく、カジュアルな服装で働けることは重要だと思いますか。(1つだけ選択)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. とても重要である | 3. あまり重要ではない |
| 2. やや重要である | 4. まったく重要ではない |

Q11. あなたが働くときに、在宅勤務やシェアオフィスなどリモートな環境で働けることは重要だと思いますか。(1つだけ選択)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. とても重要である | 3. あまり重要ではない |
| 2. やや重要である | 4. まったく重要ではない |

社会人としての生活について伺います。

Q12. これから仕事をしていく上で、どのようなことに不安がありますか。

(3つまで選択)

1. 上司・同僚など職場の人とうまくやっていけるか
2. 仕事に対する現在の自分の能力・スキル
3. ビジネスマナーや常識
4. 学生時代の専門分野を仕事に活かせるかどうか
5. 残業時間の量
6. 会社の雰囲気（企業文化等）になじめるかどうか
7. 転勤や人事異動
8. 基本的な仕事の進め方
9. 社外の人との人脈を築けるかどうか
10. 生活リズムの変化についていけるかどうか
11. やりたい仕事ができるかどうか
12. 仕事での失敗やミス
13. 今後、自分が成長していけるかどうか
14. その他 ()

Q13. これから仕事をしていく上で、強化したいと思う点（能力・スキル・資質）は何ですか。(3つまで選択)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 語学力 | 10. チャレンジ精神 |
| 2. IT スキル | 11. 主体性 |
| 3. ビジネスマナー | 12. 傾聴力 |
| 4. 業務上必要な専門知識・技術 | 13. ストレス耐性 |
| 5. 企画力 | 14. 論理的思考力 |
| 6. コミュニケーション力 | 15. 素直さ |
| 7. 交渉力 | 16. セルフマネジメント |
| 8. リーダーシップ | 17. 学習能力（他者や経験から学ぶ力） |
| 9. 協調性 | 18. その他 () |

Q14. あなたが理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか。(3つまで選択)

1. 仕事について丁寧な指導をする上司・先輩
2. 部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩
3. 部下の意見・要望に対し、動いてくれる上司・先輩
4. 仕事を任せて見守る上司・先輩
5. 仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩
6. 言動が一致している上司・先輩
7. 仕事の結果に対する情熱を持っている上司・先輩
8. リスクを恐れずチャレンジする上司・先輩
9. 仕事で成果を上げ、周囲から信頼されている上司・先輩
10. 場合によっては叱ってくれる上司・先輩
11. プライベートな相談にも応じてくれる上司・先輩
12. 仕事だけでなく、プライベートも大事にする上司・先輩
13. その他 ()

あなた自身のキャリア形成や将来について伺います。

Q15. あなたは現時点において、将来のキャリアイメージを描いていますか。

(1つだけ選択)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 明確に描いている | 3. あまり描いていない |
| 2. だいたい描いている | 4. まったく描いていない |

Q16. 仕事に必要な能力やスキルを身に付けることの責任はだれにあると思いますか。

(1つだけ選択)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 会社の責任である | 3. どちらかと言えば、個人の責任である |
| 2. どちらかと言えば、会社の責任である | 4. 個人の責任である |

Q17. あなたにとって、下記に挙げた事柄は抵抗なくできますか。

(各項目1つずつ選択)

- | | |
|------|---------------------|
| 17-1 | 知らない人・取引先に電話をかける |
| 17-2 | 初対面の人と雑談をする |
| 17-3 | 会議や打ち合わせで自分の考えを発言する |
| 17-4 | 飛び込み営業 |
| 17-5 | 困ったときに周囲に相談・連絡する |
| 17-6 | 上手くいかなかったことを報告する |
| 17-7 | 周囲に協力を依頼する |
| 17-8 | 指示が曖昧なまま作業をする |

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても抵抗がある | 3. あまり抵抗がない |
| 2. やや抵抗がある | 4. まったく抵抗がない |

Q18. AIをはじめとするデジタル技術の進化は、あなたご自身のこれからの職業人生にとって、どのように影響すると思いますか。(1つだけ選択)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とてもプラスになる | 3. ややマイナスになる |
| 2. ややプラスになる | 4. とてもマイナスになる |

Q19. あなたが就職した会社は、30年先も存続していると思いますか。(1つだけ選択)

1. とてもそう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. まったくそう思わない

Q20. 以下のシチュエーションに遭遇した際に、どの程度転職を考えるといますか。

(各項目1つずつ選択)

- | | |
|------|--------------------------------|
| 20-1 | キャリアアップ・自己成長の限界を感じたとき |
| 20-2 | 職場の人間関係が悪いとき |
| 20-3 | パワハラやセクハラにあったとき |
| 20-4 | やりたいと思っていた業務が出来なかったとき（部署異動含めて） |
| 20-5 | 昇給が見込めないとき |
| 20-6 | 昇進が見込めないとき |
| 20-7 | 社風や企業文化が自分に合わないと感じたとき |
| 20-8 | 会社の将来性が見込めなくなったとき |
| 20-9 | 会社が社会の役に立っていないと感じるとき |

- | | |
|------------|---------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. まったくそう思わない |

Q21. 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何ですか。

漢字1文字ご記入ください。